

第六十二回
帝國議會
貴族院

關稅定率法中改正法律案特別委員會議事速記録第二號

昭和七年六月十二日(日曜日)午前十時十五分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 只今ヨリ昨日

ニ引續キマシテ委員會ヲ開キマス、第一ニ遠洋漁業獎勵法ノ方カラ御審議ヲ願ヒタイト思ヒマス、政府ノ說明ハ既ニ昨日終ッテ居リマスルカラ、此機會ニ於テ質疑ノオアリノ御方ハ御試ミヲ願ヒタイト思ヒマス

○子爵片桐貞夫君 チョット私、數字ニ互ル

カモ知レマセヌガ、チョット伺ッテ見タイト思ヒマス、今回補助獎勵……補助サレルニ付テ噸數ヲ、六十噸ヲ百噸ニセラレタト云フコトハ魚族ガ段々遠クナルシ、且ツ水産業ノ發展ガ……餘程進歩シテ來タニ付テ、其漁業ノ距離ガ遠クナツタ爲ニセラレルノカト思ハレマスガ、何處ラ邊マデノ範圍デ當局トシテハ御考ニナッテ居ラレマスカ、ソレカラ現在六十噸位ノ漁船デドノ位ノ程度マデ行カレテ居ルノカ、モット之ヲ百噸ニセラルレバ、近イ所ノ漁船ハドウ云フ風ニナリマスカ、小サイ漁船デスナ、近海漁船デス、ソレ等ノ關係ヲチョット伺ッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 此六十噸ヲ百噸

第四部第七類 關稅定率法中改正法律案特別委員會議事速記録第二號 昭和七年六月十二日

ニ改メマスノハ所謂大型漁船デゴザイマシテ、此法律ニハ二種類アル譯デアリマスガ、普通ノ漁船ト大型漁船トデアリマス、大型漁船ノ方ガ補助セラレル率ガ少シ好クナッテ居リマスデス、其大型漁船ノ最小限度ガ只今六十噸ニナッテ居リマスガ、ソレヲ百噸ニ致スノデゴザイマス、大型漁船ノ理想トシテハ二百噸級以上ヲ理想トシテ居ルノデゴザイマスガ、今日ノ現狀デハ一足飛ビニ二百噸ニハ行ケマセヌノデ、從來補助率ヲ變ヘル限度ヲ六十噸トシテ居リマシタノデゴザイマス、ソレヲ今度百噸ニ改メルノデゴザイマスガ、是ハ御配リヲ致シテ居リマス參考書ノ、一番終リニ圖面ガ附イテ居リマスガ、説明及簡單ナル理由ト云フ風ニ書イテ、最後ノ第一圖、第二圖トゴザイマシガ、第二圖ヲ御覽ヲ戴キマス、赤イノガ詰リ極ク沿岸デヤッテ居リマス五十噸以下ノ漁船デアリマス、此沿岸ノ方ハ今餘地ガ餘リゴザイマセヌ、五十噸以上ノハ桃色ノデゴザイマス、今後將來ニ於テ期待イタシマスノハ大型ノモノデアリマシテ、詰リ此青イノデ書イテアルヤウナ邊マデ行クコトガ出來ルヤウニ、進メテ行キタイト云フ意

味ニナリマス、サウシテ船ノ大キイノニナリマス、場合ニ依ッテハ魚ヲ捕ッテ内地ナラ内地ニ歸ッテ來テ初メテ賣ルト云フコトデナク、船ノ中ニ罐詰工場等ヲ設備イタシマシテ、船ノ中デ罐詰ニスルコトガ出來ルヤウニナル、現ニ北洋デハ蟹工船ノ如キガ出來テ居リマシテ、蟹デハ北洋ノ方デハサウ云フヤウニヤッテ居リマス、南方ノ方ハ鮪ニ付キマシテモ、鮪ノ罐詰ヲ製造スルコトガ出來ルヤウニ存ジテ居ル次第デアリマス、其意味デ今日相當ニ遠洋漁業ノ發達シテ參リマシタ今日ニ於キマシテハ、所謂大型漁船ト普通漁船ト率ヲ變ヘテヤル、補助率ヲ良ク致シマス分ハ、六十噸ノヲ百噸マデ引上ゲテ差支ナイト考ヘタ次第デアリマ

○子爵片桐貞夫君 現在六十噸位ノ噸數デ

ハ、サウ遠クハ行カナイノデゴザイマスガ、ソレ以上ニ大キナ船ニシナクテハ漁業ガ出來ナイヤウニナッテ居ルノカ、今ノ御話ニ依リマス工船式ニヤル意味ニ於テ補助セラ

ル、ダラウト思ヒマスガ、ソレニ依リマス現在「カムチャッカ」其他ノ方面ニ蟹工船ノ大キナモノガ出デ居リマスガ、ソレ等ノ大

キナ船ト云フモノハ、ドノ位現在補助セラレテ居リマスガ、現在……價格デスネ、豫算ヲ見マスト大型漁船ノ獎勵ニ關スル經費ハ餘計ナイカト思ヒマス、今後サウ致シマスト是ガ出マシテ一箇年ドノ位ノ船ガ出來ル御見込デアルカ、ソレヲ伺ヒタイ、ソレカラシテ此圖デ見マス「スマトラ」カラ「ジャバ」ノ南海岸ノ方ガ入ッテ居リマセヌガ、私聞キ及ビマス所ニ依レバ「スマトラ」「ジャバ」ノ西南海岸ハ大分鮪ニ良イ所デアルヤウニ聞キマス、又印度ノズット南ノ方ニ餘程良イ所ガアルヤウニ聞イテ居リマス、是等ハ所謂サウ云フ大型漁船ノ獎勵ノ範圍ニ入ラナイノデゴザイマセウカ、南方漁業ヲ所謂工船式ニシテヤルト云フコトニ付テ、今度ノ追加豫算ニ南方漁場調査費ト云フモノガ幾ラカ出デ居リマシタガ、現在サウ云フヤウナコトニ付テハヤッテ居ラレナイノカ、是ガ出來タ場合ニハ今度ノ調査ニ依ッテ來年度カラ斯ウ云フコトヲ尙ホ進メテ御ヤリニナラウト云フノカ、ソレヲ伺ッテ置キタイ

○政府委員(戸田保忠君) 御答ヘ致シマス、六十噸程度ノモノデゴザイマス、今日デ

ハ特ニ率ヲ良クシテ獎勵シナイデモ相當出
來テ居リマスノデ、先程申上ゲマシタヤウ
ニ補助率ヲ特ニ高クスル必要ヲ感ジナイ
次第デゴザイマス、相當大キイモノニ付テ
ハ矢張り補助率ヲ高クスル必要ガアリマス
ノデ、其程度ヲ高メマシタ……噸數ノ程度
ヲ高メマシタ次第デゴザイマス、ソレカラ
豫算ノ御尋ガゴザイマシタガ、豫算ノ方ハ
年々、最近デハ色々財政上ノ都合デ二艘分
ヅ、ノ補助金ガ最近兩三年ハ組マレテ居リ
マス、本年度、七年度ハ是ガ形ニ於キマシ
テハ年々新規要求スル形ニナツテ居リマス、
年々其豫算ヲ取ツテ行クコトニナツテ居リマ
ス、併シ最近ハ經費ノ節約等ノ關係デ七年
度ハ一艘分モアリマセヌデアリマシタガ、
今度追加豫算デ前年度ト同ジク二艘分ヲ載
クコトニ致シタノデゴザイマス、豫算ノ關
係デ……理想ト致シマシテハ豫算ガ許セバ
私共ノ計畫トシテハモウ少シ隻數ガ多イ方
ガ宜イト思ヒマスガ、是ハ色々財政上ノ都
合等デ今デハ最近二艘分ヅツト云フ程度ニ
ナツテ居ル次第デアリマス、從來ノ成績ノ方
ハ表ヲ矢張り參考書ヲ御手許ニ差上ゲタト
存ジマスガ、是ハ大型漁船ト兩方ノ區別ガ
或ハ明瞭ニ書イテアリマセヌカモ知レマセ
ヌガ、或計畫數ノ約二割ヲ補助イタシマ

スレバ、他ハ成績ガ良ケレバ自然ニ附イテ
來ルト云フ風ナ前提ノ下ニ、大正十四年ニ
此大型漁船ノ獎勵ヲ初メテ入レマシタ際ノ
豫算ノ組方ガ斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、
現在マデノ成績ヲ見マスト大體豫算デ補助
イタシマシタ數ト、所謂實際出來マシタ數
トヲ比較シテ見マスト、詰リ初メ大凡計畫
シマシテ、全體求ムル數ノ、獎勵スベキ數
ノ約二割ヲ補助シテ、後ハ自然ニ附イテ來
ルノデアラウト云フ考ヘ方ト略、一致シタ成
績ニナツテ居リマス、ソレカラモウ一ツ御話
シニナリマシタ「スマトラ」ノ海岸ノ點デアリ
マスガ、是ハ假リニ二千八百哩線ト云フモ
ノヲ玆ニ弧ニ書キマシテ、斯ウ云フ風ニ致
シマシタ爲ニ「スマトラ」ハ除外サレタ形ニ
ナツテ居リマスガ、御話ノ「スマトラ」ノ西海
岸ニ於キマシテモ良イ漁場ガアリマスノデ、
ソレヲ必シモ除外スルト云フ意味デハゴザ
イマセヌデ、是ハ「コンパス」デ斯ウ書キマ
スト凡ソ此程度ト云フ意味デ書キマシタノ
デアリマスガ、「スマトラ」ノ西海岸等ヘモ
行キ得ル譯デアリマシテ、強テ除外スルト
云フ必ズシモ意味デハナイノデアリマス、
ソレハ極ク大體ヲ弧ヲ書イテ見タト云フニ
過ギナイノデゴザイマス

レル工船式ノハ何々デゴザイマスカ
○政府委員(戸田保忠君) 御答ヘ致シマ
ス、本年度ノ追加豫算ニ出テ居リマスノハ、
大型漁船二隻分ハマダ舊規定ニ據ル譯デア
リマスガ、詰リ六十噸級以上ノ物二隻ヲ補
助スルト云フコトニナツテ居リマシテ、工船
式トカ非工船式トカ云フコトハ、規則ノ上
デハ別ニ書イテアリマセヌ次第デアリマ
ス
○子爵片桐貞央君 今マデノ一番大キイ船
ハ何噸位デゴザイマスカ
○政府委員(戸田保忠君) 約二百噸程度デ
ゴザイマス、百九十噸噸デゴザイマス
○子爵片桐貞央君 サウ致シマスト蟹工船
式ノハ二百噸位ノ船デ宜イノデゴザイマス
カ、詰リサウ云フ南方ノ漁場ニ工船式ノモ
ノヲ使用スルトスレバ、二百噸位ノ船デ宜
イノデアリマスカ、モットズット大キイ、千
噸位ノ大キイ船ニナルノデハナイカト思ヒ
マス
○政府委員(戸田保忠君) 蟹工船ハ此規定
ニ依リマスト二百噸云々ト云フノトハ違ヒ
マスノデアリマス
○子爵片桐貞央君 今伺ヒマスノハ南方ノ
漁場ニ工船式ヲ使用スレバ、船ガ大キクナ
ル傾向ガアルノデヤナイカト思ヒマスガ、「フ

イッシュミットル」ヲ造ルトカ、色々ノ關係
上、續詰ヲ造ルニシロ、サウ致シマスト船
ガズット大キクナルト思ヒマスガ、ソレニ付
テドウ御考ニナルカト云フコトヲ伺ヒマス
ノデゴザイマス
○政府委員(戸田保忠君) 令御尋ネニナリ
マシタズット大キクナリマス工船ノ母船ニ
ナリマス、極ク大キイ物ニナリマスモ、其
方ハ是ハ相關聯スルノデハアリマスケレド
モ、其補助トカ、サウ云フ風ナ點ニナリマス
ト別ニ考ヘル必要ガアラウカト考ヘテ居リ
マス、今度ノ改正ニ依リマシテ直ニ……法
律ノ方デハ噸數以上ニナツテ居リマスカラ
差支ナイ譯デアリマスガ、豫算ノ方ニナリ
マスト現在ノ豫算トハ又別ニ是ハ改メテ考
ヘナケレバナラスコト、思ヒマス、母船ノ
方ハ極ク大キクナリマス
○子爵片桐貞央君 サウ云フ母船ノ補助ヲ
爲サル御考ガナイカト云フコトヲ實ハ御伺
ヒシタイノデアリマス
○政府委員(戸田保忠君) 工船漁業ニ付キ
マシテハ腹案ヲ實ハ有ツテ居リマスガ、豫算
トシテハ所謂此大型漁船ノ百噸級以上ト云
フ、所謂大型漁船トハ又更ニ一段、總テノ
經理關係ナドモ違ヒマスカラ別ニ考ヘテ
居リマス、マダ提案ト云フ所ニ至ツテ居リ

マセヌ、ソレト南方漁場調査費ヲ先程御尋ガアリマシタガ、アノ調査ノ結果ニ依リマシテソレガ現ハレルト云フコトニナルカト存ジマス、若シ補助金デモスルト云フコトニナリマスレバ……、併シアノ結果ト致シマシテ、補助金等ガ無ク民間ノ方デ、アレハ經營調査的ノ大キイ調査デゴザイマスカラ、民間ノ方デ自然ニ起レバ宜シイ、或ハ若干ノ補助等ヲ必要トスルト云フ見込ヲ持チマスレバ、其時ニ或ハ豫算等ヲ提案ヲスルト云フ工合ニナルカモ知レマセヌ、マア其前提トシテノ調査ニナルノデアリマス

○子爵片桐貞央君 サウ致シマス、此遠洋漁業獎勵法ト云フモノハ、今マデハ六十噸以上何噸マデヲ限度トシテ考ヘラレタノデゴザイマス、大型漁船ト云フト詰リ母船デアッテモ亦漁船デアラウト思ヒマス、工船ミタヤウナモノハ一番低イ所モアリマスケレドモ、大キイ所ハ制限ガナイデヤナイカト思ヒマスガ、今ノ御話ニ依ルト二百噸位ヲ御見込ニナルヤウニ伺ッテ居リマスガ、サウスルト今後此法案ト云フモノハ最小ハ百噸デアッテ、ソレ以上ハ何處マデヲ補助サレル御考デアリマスカ

○政府委員(戸田保忠君) 二百噸程度ノモノガ今マデ豫算トスウ「ヒット」スルト云ヒマス

スカ、其關係カラ二百噸程度ノモノニ今ナッテ居リマス、上ノ方ハ實ハ制限ヲ設ケテハ居リマセヌノデアリマスガ、是ハ實際ノ經營ノ狀況ニ依リマシテ自ラ限度ガアル次第デアリマス、工船ノ母船ニナリマストズツト程度ガ違ッテ大キクナリマスノデゴザイマスガ、其工船ガ率キテ行キマス漁船ニナリマス二百噸程度、三百噸ト云フ風ノモノモ澤山アリ得ル譯ニナリマス、工船ノ母船トナルモノハ極ク大キイモノデアリマスカラ、是ダケハ別ニ考ヘテ居リマス、工船ガ率キテ行ク場合ニハ「トロール」船、例ヘバ千五百噸ナリ、或ハ五千噸ナリ、場所ト經營ノ仕方ニ依ッテ違ヒマスガ、極ク大キナ船ガアリマシテ、ソレガ率キテ行クノニ或ハ數隻ノ二百噸級ノモノヲ率キテ行クト云フ場合モアリ得ルノデアリマス

○子爵片桐貞央君 サウ致シマス、此大型漁船獎勵法ト云フト、蟹工船ノ如キモノハ含マナイデ、小サイ母船ニ連レテ行カレル程度ノ大型ノ範圍ニ止メルト、斯ウ考ヘテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(戸田保忠君) 此法律デノ獎勵範圍ハ約五百噸級位マデニシテ居ル次第デアリマシテ、本當ノ大キイ工船ノ母船トナルモノニナリマス、最大ノモノハ一萬噸

級位ニナルヤウデゴザイマスカラ、サウ云フモノハ別ニ考ヘル積リデゴザイマス

○子爵片桐貞央君 サウ致シマス、大型ト云フモノハ百噸カラ二百噸ノ程度ト斯ウ考ヘテ宜シウデゴザイマスカ

○政府委員(戸田保忠君) 此處デ所謂大型漁船ハ其程度ニ御考ヘ願ッテ宜イト思ヒマス

○森平兵衛君 大體此獎勵法ノ改正ニ依ッテ獎勵ノ金額ガドノ位殖エルノデアリマスカ、又此獎勵法ノ何ニ依リマスルト、從來ハ一噸ニ付テ幾ラト云フコトノ獎勵金ヲ出シテ居、タモノガ、今度ハ評價額ト云フコトニナッタノデアリマス、其改正ノ理由ヲ一ツ承ハリタイ

○政府委員(戸田保忠君) 御答ヘ致シマスガ、此豫算ノ關係ニ於キマシテハ、何レハ年度ノ豫算ノ際ニハ御願ヲ致スヤウニナルカト存ジマスガ、七年度ノ豫算ト致シマシテハ、財政上ノ都合等ニ依リマシテ此法改正ノ直接ノ結果トシテノ豫算ハ、別ニ提案ハ實ハ致シテ居リマセヌノデアリマス、此度御審議ヲ願フヤウニ至リマシタノハ、此法律ノ效力ノ期間ヲ延長シナクチャナラヌト云フコトガ目下ノ急ニ迫ッテ居ルノデアリマスカラ、ソレニ伴ッテ改正スベキ點ヲ二三

改正イタシマシタヤウナ次第デアリマス、從ヒマシテマダ現實ニ豫算ノ提案ヲ致シテ居リマセヌ爲ニ、私共ノ水産當局ノ腹案トシテノ計畫等ハゴザイマス、ケレドモ、マダ政府ト致シマシテドウ云フ風ニ願フカト云フコトヲ申上ゲルノニハ、少シ大藏省トノマダ話合ガ出來テ居ル譯デゴザイマセヌカラ、申上ゲ兼ネル次第デアリマス、效力ガ此七年度一杯デ法律ガナクナルコト、ナリマス爲ニ、ソレヲ繋グコトガ第一ニナリマシテ、其機會ニ他ノ點モ改正スルコトニ致シタ譯デアリマス、今ノ御話ノアリマシタ補助金ノヤリ方ヲ變ヘマス點ハ、今迄ハ船體ニ付キマシテモ或ハ鋼製デアリマス、木製デアリマス、トカ色ニ區別シマシテ、細カク規定シテ居リマシタノデアリマスガ、今日ノ狀況デハサウ云フ風ニ細分スル必要ガ餘リアリマセヌノデ、寧ロ評價額ヲ百分ノ十五以內ト云フ風ニ一律ニ單純化シテ差支ナイト考ヘマシタノデ、サウ云フ風ニ變ヘマシタ次第デアリマス、實際ノ豫算ヲ運用シテ行ク上カラハ餘リ大差ノナイ見込デアリマス、之ガ爲ニ特ニ豫算ニ變更ヲ及ボス必要ハ認メマセヌ次第デアリマス、ソレカラ大型漁船ノ今ノ六十噸カラ百噸ニ改メタ點ニ付キマシテモ、先程片桐子爵ニ申上ゲ

マシタヤウナ意味デアリマスノデ、其爲ニ豫算ノ變動等ハ別ニ必要ガナイ見込デ居リマス次第デアリマス、私共ノ理想的ニ考ヘマス獎勵ノ結果デハ、總隻數約千五百艘位ヲ十五箇年間ニ増シタイト云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、是ハ獎勵金ノ豫算等ト相關聯イタシマスノデアリマスカラ、只今其方ノ豫算ヲ提出イタシテ居リマセヌノデゴザイマスカラ、必然的ニハ御考ヲ戴ク譯ニ行カナイト思ヒマス

○森平兵衛君 ソレデハ現在ノ船舶ノ數量デサヘアレバ豫算ニ増減ハ來サナイ、此法律ノ改正ニ依^レテ……斯ウ解釋シテ宜シイノデアリマスカ

○政府委員(戸田保忠君) 此改正ニ依リマシテ、此際ト致シマシテハ豫算ニ別ニ増減ヲ來シテ居リマセヌノデゴザイマス、唯此法律ヲ徹底シテ行キマス上ニ於キマシテ、先程申上ゲマシタヤウニ、財政ノ都合ガ許シマスレバ、大型漁船補助ノ隻數等ガ近來一年ニ二隻ニ過ギマセヌノデアリマスガ、モウ少シ増スコトガ出來レバ非常ニ好イト考ヘテ居リマスガ、マダ其處迄ハ行^テテ居リマセヌノデ、此追加豫算ニモ今度計上イタシマシタノハ矢張り二隻デアリマス、民間ノ市ノ要求ト致シマシテハ實ハ年々十數艘

ノ補助申請額等ガゴザイマシテ、査定等ニハ困ル位ニ申請ガ實ハア^ッテ居リマス、財政ノ許ス範圍ニ於テハ他日増シテ戴キタイト云フ考ヘハ有^テテ居リマスガ、マダ是ガ豫算トシテノ御協賛ヲ願フト云フコトニハマダナ^ッテ居リマセヌ

○森平兵衛君 豫算ノ項目サヘ見レバ分ルノデアリマスガ、現在昭和七年度成立豫算ニ於テ何シテ居ル補助金ノ金額ハ幾ラアリマスカ

○政府委員(戸田保忠君) 只今ノ豫算デハ昭和六年度ガ二十三萬三千六百四十九圓ニナ^ッテ居リマス、是ハ人ノ費用其他遠洋漁業獎勵費等ニ關聯シタ費用デアリマス、昭和七年度ガ十五萬五千六百十五圓ニナ^ッテ居リマシテ、是ハ先程申上ゲマシタヤウニ、大型漁船ダケハ年々豫算ヲ要求シテ行ク形ニ從來ナ^ッテ居リマス爲ニ、大型漁船ガ一部減^ッテ居ル爲ニ昭和七年度ハ少イノデアリマス、ソレデ今度追加豫算デ更ニ六萬四千八百七十七圓ヲ要求イタシテ居リマシテ、略ボ六年七年ガ同額ニナリマス次第デアリマス、約二十三萬程度ノ獎勵費デヤ^ッテ居ル次第デアリマス

○男爵斯波忠三郎君 只今ノ森君ノ御質問ニ關聯シテデアリマスガ、此獎勵金ノ交付

ノ仕方デゴザイマスガ、昨日カラノ御説明ニ依^ッテ伺ヒマスト、現行法デハ船體ノ鋼製ノ場合ハ六十圓デアルトカ、木製ノ場合ハ幾ラ、蒸汽機關ヲ用キタ場合ハ幾ラト云フ風ニ區分ガ出來テ居ルノガ、今度ハソレヲ單純化シテ、船舶ノ評價ノ何分ノ一ト云フ風ニスルト云フ御説明デアリマスガ、サウ致シマスト云フト、船サヘ造レバ、漁船サヘ造レバ、其評價額ノ百分ノ十五以內ダケハ吳レルト云フノデ、其内容ニ關係シナイト云フコトニナルト、果シテソレデ獎勵ノ目的ヲ達スルデセウカドウデセウカ、チヨット妙ニ考ヘラレナイデセウカ、從來ハ發動機船ヲ獎勵スルト云フヤウナ考ヘカラ、斯ウ云フ風ノ内容デ獎勵金ノ高ガ定^テテ居^ッタダラウト思フノデアリマスガ、今度ハ船サヘ造レバ、船ノ評價額ノ一割五分以內出シテモ宜イト云フコトニナリマスト、其間ニ運動ガ起^ッタリ何カ變ナコトガ起リヤシナイカ、私ハ今日マダ此參考書ヲ頂戴シタダケデ、スッカリ讀^ンデ居マセヌカラ全般ニ互^ニテ讀^ンデ居リマセヌカラ、此質問ガ當^ッテ居ルカ當^ッテ居ラヌカ分リマセヌガ、ドウモサウ云フ風ナ氣ガ致シマスガ……

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ斯ウ云フ風ニナルノデアリマス、五條ニ「主務大臣ハ遠洋漁船検査規程ニ適合シタル日本船舶ヲ新造シ」云々トナ^ッテ居リマシテ、其範圍デ只今仰セニナリマシタヤウナ色ミナ標準ニ依^ッテ細分シテヤ^ッテ居ルノデアリマス、只今御懸念ノ點ハ遠洋漁船検査規程ト云フモノニ適合シナケレバイカスト云フコトニナ^ッテ居ルノデ、其懸念ハナイ積リデアリマス、從來ヨリ「ルーズ」ニナルト云フヤウナコトハナイ積リデアリマス、唯補助ヲ出シマス率ノ分類ノ仕方ハ、今迄ハ非常ニ細カクナ^ッテ居リマシタノヲ、單純ニ致シタト云フニ過ギナイノデアリマス

○男爵斯波忠三郎君 成程御尤モカ知レマセヌガ、遠洋漁船検査規程ト云フノハ、是ハ漁船ノ構造ガ帆船デアルトカト云フヤウナコトカラ起^ッテ居ルモノダラウト思フノデアリマス、一般船舶規程ト同ジヤウナコトト思ヒマスガ、私ノ言フノハ船舶ノ改善トカ改良トカ云フモノヲヤル場合ニハ、舊式ノヤリ方ノモノデヤ何モ獎勵スル必要ハナイ、此遠洋漁業獎勵法ガ出來タ時代ニハ、發動機船ヲ獎勵スルト云フ爲ニ、發動機船ニ對シテハ殊ニ多ク獎勵金ヲ出シタト云フヤウナコトガ趣旨ニナ^ッテ居ルダラウト思フノデアリマス、現在デモ發動機船ノ中デモ進歩シタ發動機船ヲ造^ッテ、或ハ無線電信ノ

設備ヲスルト云フヤウナモノニ對シテハ、獎勵金ヲ澤山出スト云フノガマア至當デヤナイカト思フノデアリマスガ、検査規程ト云フノハ是ハ漁船ノ検査規程ハ一般船舶ノ検査規程ト同ジヤウニ、或ハ漁業ニ堪ヘルトカ堪ヘナイトカ、安全不安全ト云フヤウナ點、船デ言ヘバ構造ノ強弱ト云フヤウナモノデ、此設備ノ改良ト進歩ト云フヤウナコトハ少シ違フノデアリマセスカ

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ御覽ヲ戴キマシタ……一、二、三、四、五號トナッテ居リマシテ、色ニ詳細ニナッテ居リマスノデ、其御質問ガアリマシタ次第ト存ジマス、初メノ一、二、三此三ツヲ今單純化シテ……木製、銅製ト分ケテ居リマシタ次第デアリマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ相當ノ將來遠洋ニ、遠クヘ何ヲシマスノニハ海難ト云フヤウナ點カラ申シマシテ木製ハ餘リ感心イタシマセヌノデ、實際ノ問題トシテハ相當大キイモノハ將來ハ銅製ニ段々持テ行ク必要ガアラウト存ジマス、左様ナ關係モアリマスシ、又馬力、蒸汽機關ノ每一馬力デ幾ラト云フ風ニ決メテ居タノガ、ソレハ全體トシテ見テ評價額ノ何分ト云フ風ニスレバ、今日ノ實際ノ現狀デハ差支ナイヤウニ、大體ニ於テ漁船ノ方ハ、機關ヲ

實際用キテ居ル方ノ關係カラ、此明治三十八年ニ改正ヲ致シマス際ニ丁度仰セニナッタヤウナ意味ガ必要デアリマシテ、斯ウ云フ詳細ナ規程ヲ設ケラレタ、今日ノ狀態デハソレ程ノ必要ハナイヤウナ現狀ニナッテ居リマスノデ、單純ニ致シマシタ次第デアリマス、此四五ノ點ハ是ハ此度ハ改正ヲ致シマシテ保藏設備、無線電信裝置、無線電話裝置、副漁具ノ外ニ最近ノ現狀ニ於テ必要トスルモノガ他ニアリマスノデ、活魚槽ノ設備、方向探知機、音響測深機、サウ云フ風ナ新シク加ヘルベキモノガアリマスノデ、ソレハ命令デ加除出來ルヤウニ致シマシテ、四五ノ方ハ命令ノ方ヘ讓ツタコトニナル譯ナノデアリマス、又時勢ノ進運ニ依リマシテ色々新ニ案出サレル設備等モゴザイマセウシ、設備ニ付テハ法律デ固定シテ置クコトハ實際ニ少シ適シナイ點ガアリマスノデ、先程ノヤウニ新ニ附加ヘルモノ、

將來モ附加ヘル必要ヲ生ズルモノ、從來ハ補助シテ居リマシテモ、將來却テ、相當ニ獎勵ノ補助金ヲ出ス必要モナイカラ、却テ新シイモノニシタ方ガ宜イト云フコトガ起リマスノデ、今言ツテ保藏設備、無線電信ノ裝置、副漁具ト云フヤウナ、是ハ創ル意思ハ無論ゴザイマセヌガ、更ニ活魚槽ノ設備、方向探知機、音響測深機ト云フヤウナモノヲ加ヘテ多少新ニ附加ヘラスル時ノ便宜ノ爲ニ命令ニ讓ルコトニシタ次第デアリマス、實際ノ運用トシテハ御尋ニ預ツタヤウナ點ノ、弊害等ガ起ラナイヤウニヤッテ行ケル積リデ居リマス

○男爵斯波忠三郎君 成程、昨日衆議院ノ速記録ヲ讀ンデ見タンデスガ、御説明ニナッタ時モソレト同ジコトヲ、此文句ノ通りニ仰シヤッテ居ラレルノデアルガ「獎勵金ヲ下付シ得ル設備ノ種類ハ科學及漁業ノ進歩ニ伴ヒ」云々ト云フヤウナコトガ衆議院速記録ニ書イテアル、之ニ相當スルコトヲ御述ベニナッタノデアラウト思ヒマスガ、是ハ命令デ以テ斯ウ云フヤウナ新シイ科學ノ進歩ニ伴フヤウナ設備ト云フコトヲ行ヒ得ルデセウカ、私ハ矢張りサウ言ツタモノハ獎勵金ヲ下付スルト云フコトデナイト云フト、漁業家ノ如キハ中々實行シテ呉レヌデヤナイカト云フ懸念ガアリマス、是ハ私餘リ極端カモ知レマセヌガ、日本ノ漁業、漁船ノ發達ハ何ト云フテモ遠洋漁業獎勵法デ發動機ヲ附ケタ船ハ幾ラヤルト云フ風ニ獎勵シタナレバコソ、サウ云フヤウナ發達ヲシタノガラウト思ヒマス、單ニ命令デ以テ科學ノ進歩ニ伴フヤウナ新規ノ設備ト

云フヤウナコトハ、是マデハ日本ノ漁船ハ外國ニ率先シテ新シイコトヲヤッテ居ルヤウナ次第デアリマスカラ、ソレガ爲ニ非常ニ漁業ハ進歩シタノデアリマス、獎勵金ヲヤル範圍カラ外ニ於テ命令デ以テヤラウト云フヤウナコトデ旨ク行クデセウカ

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ斯ウ云フ關係デゴザイマス、命令デ唯命ズルト云フ意味デハゴザイマセヌノデ、詰リ法律カラ命令ノ方ヘ讓ツテ、農林省令デ設備ノ種類ハ規定イタシマシテ、加除ヲ適當ニ出來ルヤウニト云フ意味デゴザイマス、サウシテ其範圍内デ獎勵金ヲ出スト云フヤウニ致シマスノデ、法律ニ其設備ノ名前ヲ掲ゲテ置キマス、先程申上ゲマシタヤウニ、新シイ設備デ必要ノモノニ補助金ガアレナイデ困ル場合ガアリマスカラ、サウ云フ場合ノコトヲ考慮シテ、農林省令デ規定スルト云フ意味デアリマス

○男爵斯波忠三郎君 モウ一ツ先程懸念トシテ伺ツタノデアリマスガ、船舶ノ評價額ノ何分ノ一以内、何割以内ト云フヤウナコトデアリマス、運動ト云フヤウナモノガ起ル弊害ハナイデセウカ

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ只今ハ規定ノ噸數ト馬力デヤッテ居リマシテ、ソレヲ

綜合シタ結果ハ矢張船舶評價額ト基礎ハ違

ヒマススケレドモ、結論ハ同ジ譯ニナリマス

ノデ、其點ハ矢張同様ニナリマス次第デア

リマス、御懸念ガ若シアリト致シマスレバ

同ジニナル譯デアリマシテ、唯船舶評價額ト

云フ標準デヤリマスカ、馬力若クハ噸數デ

ヤリマスカト云フ點ニナリマス、唯其評價

ノ仕方ヲ無理ナ評價ヲ致シマスレバ別デア

リマスガ……

○男爵斯波忠三郎君 ソレナンド

○政府委員(戸田保忠君) 其點ハ、今日デ

ハ唯私共ノ方トシマシテハ、申請ガアリマ

シテモ其申請ノ通りニハ決シテヤリマセ

ヌ、其御心配ハナイト思ヒマス

○男爵斯波忠三郎君 評價ト云フノハナン

デスカ、主務省デ……水産局デヤリマスカ

○政府委員(戸田保忠君) コチラデ査定イ

タシマスノデゴザイマス

○侯爵徳川義親君 此問題ニ付キマシテ、

現在デハ南洋ニ於ケル漁業權ト云ヒマス

カ、漁業ト云フモノガ大體大部分邦人ノ手

ニ歸シテ居ルヤウニ思ヒマスガ、南洋方面

ニ於ケル邦人ノ此改正ニ依ッテ受ケル利益

ハドンナモノデゴザイマセウカ、南洋ニ於

ケル邦人ノ漁船ノ數ト云ッタヤウナモノヲ

御調べニナッタモノガアルデゴザイマセウ

カ

○政府委員(戸田保忠君) 邦人ガ南洋ニ

行ッテ南洋デ根據地ヲ持ッテ漁業ヲシテ居リ

マスノハ「ボルネオ」ソレカラ「セレベス」等

ニ若干ゴザイマス、此本來南洋ノ漁業ト申

シマシテモ三種類アル譯ニナリマス、南方

若クハ南洋漁業ト申シマスカ、詰リ根據地

ヲ南洋ニ持ッテ、サウシテ其根據地ヲ本トシ

テ其附近デ漁業ヲシマス場合、ソレカラ内

地カラ行キマシテ、或ル程度ノ沖合マデ行ッ

テ漁業ヲ致シマス場合ト、ソレカラ先程モ

申上ゲマシタヤウニ、極ク大キナ工船ヲ持ッ

テ行キマシテ公海デ漁業ヲ致シマス場合

ト、三ツニ分ケラル譯ニナリマス、此遠洋

漁業ノ獎勵法ニ依ッテノ效果ノ方ハ、内地ノ

船ガ沖合ニ行ッテヤリマスカ、或ハ公海デ

相當遠距離マデ行ッテヤリマスカト云フ方

ニ、役立ツ譯ニ直接ニハナリマス譯デアリ

マス

○稻畑勝太郎君 比表ニ依リマスト薄紅ト

ソレカラ青トノ範圍ガアリマスガ、青ニ屬

シマスト、「ビルマ」、馬來半島、「ニューギ

ニア」「カムサッカ」ノ方マデ「コンパス」ガ引

イテゴザイマスガ、殊ニ南洋方面デハ漁業

權ノ此國際間ノ約束トカ了解トカ云フモノ

ガ成立ッテアルノデスカ、是ハ自由ニ此「コ

ンパス」ノ範圍ダケハ船舶ガ行ッテ自由ニ漁
業ノ出來ルモノデゴザイマスガ、ソレヲ伺
ヒタイト思ヒマス

○政府委員(戸田保忠君) 唯今モチヨット

申上ゲマシタヤウニ、漁業ノ業態ガ分カレ

ル譯ニナリマス、「ボルネオ」ナラ「ボルネ

オ」、「セレベス」ナラ「セレベス」ニ根據地

ヲ置キマシテ、其港カラ船ヲ出シマスト云

フコトニナリマス、其地方ノ地方官憲ト

ノ了解ガ殊ニ必要ニナリマス、其ノ方ノヤ

リ方デヤッテ居ルノガ今二「ゴザイマスガ、

是ハ其地方ノ沿岸ノ土民トノ關係ガアリマ

スデ、相當サウ云フ點ヲ考慮シナケレバ

ナラス點ガゴザイマス、モウ一ツハ先程申

上ゲマシタヤウニ、日本カラ相當大キナ船

デ公海デ漁業ヲスル場合デゴザイマス、ソ

レハ餘リ沿岸ノ近クマデ行キマシテ、向フ

ノ土民ノ漁業狀態ヲ脅カスコトデアレバ問

題ニナリマスガ、相當程度ノ大キイ船デ公

海デヤリマシテモ、鯖ナドハ餘程獵ガアリ

マスノデゴザイマスカラシテ、サウ云フ問

題ノ起ラナイ所デ、大キイ船デ沖デヤル

コトガ出來マスレバ、國際問題ハ起ラナイ

ノデアリマス、現ニ北洋方面デモ露領デヤッ

テ居リマスノト、露領ニ近イ公海デヤッテ居

ル蟹工船トハ餘程「トラブル」ノ狀態ガ違ッテ

居ルヤウナ狀況デゴザイマスノデ、根據地

ノ漁業モ必要デゴザイマスガ、大キイ遠洋

漁業ノ船ノ獎勵ノ方ハ、公海デヤルコトノ

出來ルモノモ獎勵スルコトヲ主眼トシテ居

ルヤウナ譯デゴザイマス、根據地漁業トシ

テノモノモ相當程度ノモノハ含ミ得ルコト

ニナリマスガ、唯今申上ゲタヤウニ二種類

ニ分ケテアルノデアリマス、其種類ニ依テ

國際的ノ問題ノ「トラブル」ガ非常ニ違ッテ

參ル譯デアリマス

○稻畑勝太郎君 百噸以上ノ船デアルト、

此「コンパス」以内ハ自由ニ漁業ガ出來ル譯

ニナリマスガ、第二表ノ……

○政府委員(戸田保忠君) 此二千八百湊ト

云フノハ一番遠イ方面デアリマス、遠イ方

面ニナリマス百噸程度デハ餘程無理デア

リマス、モット大キイモノガ要ルノデアリマ

ス

○稻畑勝太郎君 二千八百湊以内ハ

○政府委員(戸田保忠君) 二千八百湊ニナ

リマスレバ、二百噸、三百噸、四百噸ト云

フ大キイ船ガ宜イノデゴザイマス、唯島傳ヒ

ニ例ハ臺灣ノ南ノ方カラ島傳ヒニ行クノ

デアリマスレバ百噸デモ宜イト思ヒマス

ガ、サウデナイト百噸級デハ小サイト思ヒ

マス、島傳ヒニ或根據地ヲ置イテ行キマス

場合ハ別デゴザイマスガ、サウデナク参リ
マス場合ニハ、大キイ船デ冷蔵ノ設備ナン
カガ完全シテ居リマセヌトイケマセヌ、從ッ
テ小サイ船デハサウ云フ設備ガ十分ニ出來
ナイ譯ニナリマス

○稻畑勝太郎君 大キイ船デ、島傳ヒニ行
カズシテ漁業ガ出來ルト云フ船ガ相當ニ出
來テ居リマスカ

○政府委員(戸田保忠君) 唯今ノ所デハ約
二百噸近イ所ノモノガ出來テ居ル程度ニ過
ギマセヌ

○稻畑勝太郎君 二百噸以上ノ大船ハ何艘
位アリマスカ

○政府委員(戸田保忠君) 百噸級以上ノモ
ノハ四五十艘アルノデアリマス、約二百噸
近イモノハ一二艘シカマダ出來テ居リマセ
ヌ、私共デ考ヘマスノデハ、此右ノ方ニ亞
米利加ノ方ノガ書イテアリマスガ、亞米利
加ノ方デハ最近ニ「メーフラワー」號ト云
フ五百噸ノモノヲ造リマシテ、二千八百湊
ノ所ニ出漁シテヤッテ居ルヤウデアリマス、
日本ニ於キマシテモ斯ウ云フ良好ナ市場ヲ
持ッテ居ルノデアリマスカラ、サウ云フ風ナ
モノモ出來ルコトヲ實ハ希ッテ居ル次第デ
アリマス

○稻畑勝太郎君 サウ云フ二百噸以上五百

噸ト云フヤウナ船ヲ、モウチット獎勵スル御
考ハアルノデスカ、唯僅ニ二艘位デハ甚ダ
心細イ

○政府委員(戸田保忠君) 私共ノ考トシテ
ハサウシタイ考デ居ルノデゴザイマス、先
程申上ゲマシタヤウニ豫算ガ今ノ所ソコマ
デ伴ッテ居リマセヌガ、事情ガ許セバサウ云
フ所マデ行キタイト云フ心持デ居ル次第デ
アリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 外ニ御質疑ハ
ゴザイマセヌデゴザイマスカ

○男爵斯波忠三郎君 私チヨット此際、直接
此法案トハ關係ハゴザイマセヌケレドモ
伺ッテ見タイ、ソレハ漁船ノ検査ニ關スルコ
トデアリマス、是ハ從來水産局ノ方デハ農
林省ノ方デヤルノガ至當ダト言ヒ、遞信省
ノ方デハ船舶ノ立場カラ遞信省ノ方デヤル
ノガ至當ダト言ッテ、大分何ト言ヒマスカ、
議論ガアッタヤウニ記憶シテ居ルノデスカ、
斯ウ云フコトヲイツマデヤッテ居、テモ切リ
ノ付カヌコトデアリマス、漁船モ矢張り相
當ノ検査ヲドコカデ統一シテヤッテ、而シテ
ソレガ登録サレテ居ルモノデナイト云フ
ト、誠ニ資金ノ運用其他ニ付テ便宜デナイ
ヤウニ考ヘテ居リマスガ、漁船ノ検査ト云
フコトニ付テ其後兩省ノ間ニ話ガ纏ッテ居

リマスカ、ソレニ付テ伺ッテ見タイト思ヒマ
ス

○政府委員(戸田保忠君) 御話ノ通り從來

兩省ノ間デ色ミ研究イタシテ居リマスガ、
最近ニ遞信省ノ方デモ船舶安全法ナドノ提
案ノ意思ヲ持ッテ居リマシテ、マダ議會ニ出
ルマデニ至リマセヌガ、或ル程度ノ成案ガ
出來テ居ル、ソレニ付テ實ハ私ノ省モ相談
ヲ受ケテ居リマシテ、其原案等ニモ數年前
トハ違ヒマシテ、相當農林省ノ意見モ實ハ
取入レラレテ居ルヤウナ次第デアリマス、
マダ愈、ト云フ所マデ行キマセヌカラハッ
キリシタコトハ申上ゲ兼ねマスガ、大體ニ
於テ遠カラズ協定ガ出來得ル見込デ居リマ
ス

○子爵片桐貞央君 先程工船ノコトニ付テ
伺ヒマシタガ、是ハサウスルト遠洋漁業ノ
方ト別ノ取扱ニナッテ居ル譯デアリマスガ、
サウスルト何デスカ別ニ二十七萬圓トカ幾
ラトカ云フモノガ豫算ニゴザイマシタガ、
工船ノ獎勵費トカ何トカハ其方デ行クノデ
スカ

○政府委員(戸田保忠君) 此工船ニ付キマ
シテハ、是ハマダ實ハ腹案デアリマスガ、
此南方漁業調査ノ結果ニ依リマスレバ、或
ハ各種ノ工船等ニ付テ相當新ラシイモノヲ

進メルコトガ出來ル時期ガ來ルノデヤナイ
カト考ヘテ居リマス、ソコデ特ニ法律ハ要
ラナイト思ヒマスガ、詰リ若シ之ヲ獎勵ス
ル必要ガ起リマシタ際ニハ、マア色々方法
ガアルト思ヒマスガ、一ツノ方法トシテハ
補助金ナラ補助金、獎勵金ナラ獎勵金ノ豫
算ヲ組ミ得ル場合ガ來レバ、各種ノ工船ニ
付テノ獎勵ガシテ行ケルノデハナイカト今
ノ所デハ考ヘテ居リマス、ソレデモウーツ
只今御話ノアリマシタ豫算ノ方ノハ、詰リ
アレハ工船バカリデハアリマセヌデ漁撈ノ
設備、陸上ノ設備、兩方含シテ居リマスガ、
今度ノ追加豫算デ願ヒマシタノニハ一ツア
リマス、其中ニ工船モ含シテ居ルノデアリ
マス、是ハ工船ノミノ獎勵トハ少シク違ヒ
マス、漁撈ヲ主トシテノ豫算デアリマス工
船モ入ッテ居リマス、ソレカラ陸上ノ方ノ設
備ノ獎勵モ入ッテ居リマス、左様ナ次第デア
リマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 外ニ御質疑ハ
ゴザイマセヌカ……ゴザイマセヌケレバ討
論ニ移リタイト思ヒマス、此際ニ何カ御意
見ノアル方ハ御發言ヲ願ヒタイト思ヒマ
ス、別ニ御意見ガナケレバ本案ニ對シテ決
ヲ取リタイト思ヒマスガ、原案可決ト認メ
テ差支ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ本案

ハ可決ト決定イタシマシタ、ソレデハ次ニ
關稅法ノ問題ニ移リマス、審議ノ便宜ノ上
カラ兩案ヲ一括シテ議題ニ供シマスデゴザ
イマスカラ、兩案ヲ通ジテノ御質疑ヲ爲サ
ルヤウナ風ニ願ヒタイト思ヒマス

○森平兵衛君 ドナタカ質問ノ通告ガゴザ

イマスカ

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ドナタモゴザ

イマセヌ

○森平兵衛君 ソレデハ私カラ御願イタシ

マス、今日ハ大藏大臣ハ御見エニナラヌデス
ケレドモ、堀切政務次官ガ居ラレマスカラ、
堀切政務次官カラ御答辯ヲ煩ハシ得マスレ
バ結構デゴザイマス、此度御提出ニナリマ
シタ關稅改正、竝ニ輸入稅ノ從量稅率ニ關
スル法律案ハ、誠ニ我ガ國家ノ産業ニ對シテ
ハ重大ナル關係ヲ有シテ居ルモノデアリマ
シテ、殊ニ此經濟難局トモ申スベキ時期ニ
於キマシテ、本法案ヲ此短期ノ臨時議會ニ
御提出ニナツタノデアリマスガ、私ハ其趣旨
ヲ諒解スルニ苦シムノデアリマス、昨日御
說明ノ中ニモアリ、又本會議ニ於テモ大藏
大臣ヨリ御説明ガアリマシタノデアリマス
ガ、關稅ノ改正ト申シマスルト、前段ニモ

申シマシタ通り産業ニ餘程重大ノ關係ヲ及
ボス、ノミナラズ、國民生活ニモ非常ニ關
係ヲ持ツテ居ルノデアリマスカラ、此短期
ノ臨時議會ニ御提出ニナリマセズニ、來ル
ベキ通常議會ニ御提出ニナツテモ遅クハナ
イカト思フノデアリマス、又私等ガ考ヘマ
ス所ニ依リマスルト、此五箇月ヤ六箇月ノ
間ノ非常ニ急ヲ要スルト云フヤウニモ考ヘ
ラレヌノデアリマスガ、何カ故ニスノ如キ
重大ナル法案ヲ此短期ノ議會ニ御提出ニナ
タノデアアルカ、之ヲ第一ニ承リタイト思
ヒマス、又政府ニ於キマシテハ、御說明ノ
中ニハ爲替ノ關係ニ依ル爲ニ、從量稅ノ分
ヲ三割五歩ノ増徴ヲシタト云フコトノ御說
明モアツタノデアリマスガ、然ラバ此爲替
ト云フモノハ今日ニ於テ安定シテ居ルカト
申シマスレバ、決シテ安定シテ居ルモノデナ
イ、既ニ或ル一部ノ政黨デハ、平價ヲ五分
ノ一ニ切下ゲタラドウダト云フヤウナ議論
モアリマスレバ、今日ノ三二三弗ト云フ
爲替ガ安定シタトモ見ラレナイ、サウ云フ
見地カラ申シマシテモ、今日ニ於テ此從量
稅ヲ二割五分増スト云フコトハ時期デナイ
ト云フ議論モ立ツノデアリマスガ、又爲替
ガ安定シテ居ラヌノミナラズ、對外ノ經濟
事情ト云フモノモ、誠ニ是モ不安定デアリ

マス、殆ド世界中ノ金ノ半數以上ヲ保有シ
テ居ル亞米利加ニ於テスラ、金本位ヲ離脱
セヌケレバナラヌト云フヤウナ噂モアルヤ
ウナコトデモアリマスルシ、サウスレバ世界
的ノ經濟ノ動亂ト云フモノガ、今安定シテ
居ラヌト云フヤウニ存ゼラレルコトガアリ
マスニ拘ラズ、其際ニ於テ、而モ短期間ニ
於テ斯ノ如キ重大ナル法案ヲ御提出ニナ
タ理由……、私ハ衆議院ノ速記録、又委員
會ノ何ナリヲ拜見ヲ致シマシテ、成ルベク私
ハ斯ウ云フ御質問ヲ申上ゲズニ了解ヲ致シ
タイト思フデ居タノデアリマスルガ、ドウ
モ其點ニ付キマシテ御質問モアツタヤウニ
思ヒマスガ、政府ノ御答辯ガ私ヲシテ十分
ナル了解ヲスルニ苦シマシタモノデアリマ
スカラ、茲ニ第一トシテ其コトノ理由ヲ承
リタイ

○政府委員(堀切善兵衛君) 森サンノ御質

問ニ對シテ一應御答辯申上ゲマシテ、尙ホ
不十分デゴザイマシタナラバ重ネテ御尋ネ
ヲ願ヒマス、今回ノ關稅改正ノ趣旨ハ、成
程産業及ビ國民生活ノ上ニ非常ニ重大關係
ヲ持ツト云フ御意見ハ、全然私共モ御同感
デアリマス、ソレ故ニ私共ハ是非此改正案
ヲ出サナケレバナラヌトス様ニ感じテ居リ
マス、近來世界ヲ通ジテ物價ガ非常ニ下落

シテ參リマシテ、何處ノ國デモ之ガ爲ニ非
常ニ苦シデ居ルノデアリマス、國民生活ノ
點カラ申シマスルト云フト、今日ハ世界何
處ノ國ニモ物資ガ足りナイデ困テ居ルト
云フ國ハ殆ド無イ、唯何ヲ拵ヘテモ生産ガ
引合ハヌト云フヤウナコトデ、非常ニ是ハ
苦シデ居ルノデアリマス、是等ノ點ヲ考ヘ
マスルト云フト、日本ニ於ケル有ラユル
産業ニ從事スル者モ、其産業ヲ經營シテ、
ドウニカ斯ウニカ採算ガ取レテ、ヤッテ行
ケルヤウニ是ハシテヤラナケレバナラヌト
感じテ居リマス、ソレガ國民ノ生活ヲ私共
ハ救フ所以ノ途トス様ニ考ヘテ居リマス、
此意味カラ此改正案ヲ出シタノデアリマ
ス、徒ラニ外國カラ安ク入ッテ來ル、安ケレ
バ何デモ宜イト云フコトデ満足シテ居ル譯
ニハ參ラヌノデアリマス、假令多少ノ犠牲
ヲ拂ッテモ、國內デ生産スル者ガドウヤラ
斯ウヤラヤッテ行ケルト云フ程度ニ致サナ
ケレバ、決シテ此國民ノ生活ハ安定スルモ
デハナイ、羅馬ノ亡ビタノハ羅馬ノ一番物
價ノ安イ時ニ亡ビタト云フコトヲ言フ學者
モアリマスヤウナ譯デ、ヤリ切レナクナル
ト何モヤラナイ、終ヒニハ外國ニ逃出シテ
シマフト云フヤウナ狀況ニ是ハ立至ルノデ
アリマス、産業振興、國民生活ヲ安定セシ

メナケレバナラヌト、斯ウ云フ趣旨デ出シマシタ、然ラバ何故之ヲ今出スカ、通常議會ニ出シテモ遅クハナイデヤナイカト云フ御尋モアリマシタガ、世界中左様ナ状態デアリ、又此最近世界何處ノ國ニモ其國ノ産業ヲ勃興セシムル爲ニ、非常ニ是ハ關稅ヲ引上ゲテ、世界中至ル所關稅ノ改正ヲ是ハ斷行イタシテ居ルノデアリマス、此間ニ立テ日本ハ餘程取殘サレテ居ルヤウナ形ガゴザイマスノデ、早ケレバ早イ程私共ハ此國內ノ産業ヲ窮地ヨリ救フ意味ニ於キマシテ、一日モ早ケレバ一日早イダケノ利益ガアルト左様ニ感ジマシテ、此臨時議會ニ通常議會ヲ待タズシテ提出シタ所以デアリマス、又爲替ハ成程安定シテ居リマセヌ、又亞米利加果シテドウ云フ態度ヲ取ルモノヤラ是等ノ點モ全ク今日ハ不明デアリマス、此爲替ノ安定ヲ待ツ譯ニモ參リマセヌ、又何時ニナッタラ世界中ノ此爲替ガ安定スルモノヤラ、左様ナ見當ヲ私共ハ今日付ケル譯ニモ參リマセヌ、其爲替ノ安定スルヲ待テ、而シテ關稅ノ改正ヲ實行スルヤウナコトデハ、モウ改正シナケレバナラヌト云フ大切ナ機會ヲ唯徒ラニ失ハシメテシマフノデヤナイカ、之ヲ恐レルノデアリマス、詰リ爲替ノ安定ハ前途豫測スルコトヲ得ナ

イ、其安定ヲ待テハ間ニ合ハナクナルカラ、今ニ於テ改正イタシタ方ガ宜シイ、斯様ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス、右御答申上ゲマス

○森平兵衛君 爲替ノ安定シテ居ラヌト云フコトハ、政府ニ於テ御認メニナッテ居ルヤウデアアル、果シテ然ラバ、若モ此爲替ガ二十五弗、或ハ二十弗ト云フヤウナコトニ下ガッタナレバ、モウ一遍此關稅、從量稅ト云フモノノ改正ヲ、政府ニ於テ爲サル御意思ガアルカ否ヤ、ソレカラモウ一ツハ只今ノ御説明ニ於テ、産業保護、國民生活安定ノ爲ニ、臨時議會ニ出サヌナラヌ、斯ウ云フ御説明デアリマスルガ、私ハソレデ十分ナル了解ガ行キ兼ねルノデアリマス、通常議會ト申セバ、先ヅ十二月ニ開イテ一月カラデアリマスガ、約六、七月ノ間ノコトデアリマスガ、其六七ヶ月ノ間ニ、此産業、日本ノ産業、或ハ極端ナ例カモ知レマセヌガ、其保護ヲ加ヘナカッタナレバ破壊シテシマフトカ、或ハ漸次衰退ニ向フト云フヤウナ政府ノ御見込デ、此六ヶ月乃至七ヶ月ガ待テナイト云フ、斯ウ云フ御見込デアリマスガ、其兩點ヲ御伺イタシマス

○政府委員(堀切善兵衛君) 爲替ガ盛ニ下ガッテ、或ハ二十弗、或ハ二十五弗ト云フヤウニ下ガッタ場合ニハ、更ニ又改正ヲシナクチャナラヌカト云フ御話デアリマスガ、左様ニ爲替ガ下ガルカ下ガラナイカハ中々豫斷出來マセヌ、ケレドモ萬一二十弗ニモ是ガ下ガッタト云フ場合ニハ、矢張り私共ハ是ハ改正イタシタ方ガ宜シイト、斯様ニ信ジテ居リマス、ソレカラ通常議會マデ、モウ六七ヶ月デアアルガ、ソレガ待テナイ理由ハドウカ、是ハ待テ待テナイコトモアリマセヌガ、先程申上ゲタヤウニ、一日早ケレバ、一日早イダケノ利益ガアルト、斯様ニ私共ハ信ズル次第デアリマス

○森平兵衛君 此輸入稅ノ從量稅率ト云フモノハ、何時オ決メニナッタモノデアリマスルカ分リマセヌガ、昨日本會議デ大河内子爵ノ御質問ニ對シテ、高橋大藏大臣ノ御答ニナッタモノハ、此輸入稅ヲ定メタノハ四十八九弗ノ爲替ノ時ヲ標準トシテ定メタ、斯ウ云フヤウニ御説明ニナッテ居リマスガ、此輸入稅ノ從量稅率ノ發布ニナリマシタ年ハ何年デアリマスガ、御尋イタシマス

○政府委員(堀切善兵衛君) 私ハ此輸入稅ヲ從量稅ト從價稅ニ分ケテ課稅イタシマシタノハ、日本デ是ハ關稅ヲ課スルコトガ始マツテ以來デヤナイカト、新様ニ考ヘテ居リマスルガ、昨日大藏大臣カラ四十八九弗ノ時ト申サレマシタノハ大正十五年、アノ時ノ一般……廣汎ニ此關稅ノ改正ヲ致シマシタ關係上、之ヲ指サレタモノト斯様ニ考ヘマス

○森平兵衛君 先ヅ此從量稅ニ付テ三割五分増徴ニナルト云フコトニナリマスルト、大體此從量稅ノ標準ハ、此從量稅ガ從價カラ割出シテ參ツタカノヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、唯無意味ニ從價ト從量ト云フコトニオ分ケニナッタモノデナクシテ、日本ノ内地ニ餘リ生産ノ出來ナイモノヲ保護ナサル目的デ從價ト從量ニオ分ケニナッテ、其從量稅ノ標準ト云フモノハ、從價カラ割出シテ來タモノノヤウニ思フノデアリマス、政府ハサウ云フコトニオ認メニナルノデアリマセウカ

○政府委員(堀切善兵衛君) 左様デアッタト考ヘマス

○森平兵衛君 私モ左様ニ考ヘルノデアリマスガ、果シテ從量稅ナルモノガ從價カラ割出シタ稅率ト致シマスレバ、今般百分ノ三十五トナサルト云フコトニナレバ、所謂三十五、三割五分増稅ニナルノデアリマス、既ニ從價ト云フコトヲ標準ト致シタナラバ、爲替ニ對シテハ既ニ三割以上、約三十二弗ト致シマシテモ、四割近クノ増稅ニナッテ居

ルノデアル、サウスレバ此三割五分、一方爲替ノ差額ヲ約四割ト致シマスレバ、七割五分乃至七割五分以内ト云フモノハ増徴ニナルト云フコトデアリマスルガ、政府ハサウ云フコトヲ御見込ニナルノデアリマスカ、又私ハ從量稅ヲ一般ニ一體ニ三割五分ヲ御上ゲニナルト云フコトハ、非常ニ私ハ何ト申シマスカ、御調査ノ粗漏……粗漏ト云フト語弊ガアリマスガ、十分デナイヤウニ考ヘルノデアリマス、此從量稅ノ中ニモ、内地ニ於テ全然出來ナイモノハ私ハアルヤウニ思フノデアリマスガ、サウ云フモノ迄モ此三割五分、約片方ニ三割五分ト致シマシテモ、七割ノ増徴ヲ爲サル、日本ノ産業ヲ保護スル關稅ト云フモノハ、收入ガ目的デナイ、必ズ内地ノ産業ヲ保護スルト云フコトヲ目的トシテ、大體ニ之ヲ御修正ニナルト云フ御趣旨ナラバ、日本内地ニ於テ餘リ出來ナイモノデアレバ、是ハ除外ナサルト云フコトガ、私ハ至當デアラウト思フ、今品目ヲ指定ヲ致シマセヌガ、輸入稅ヲ一律一體ニ三割五分上ゲルト云フコトガ、少シ私ハ腑ニ落チヌ點ガアルノデアリマス、其點ハ何故ニ一律一體ニ三割五分増徴セヌケレバナラヌ必要ガアルカ、此兩點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(堀切善兵衛君) 爲替ノ下落ノ

結果、輸入品ノ値ガ高クナツテ、從價稅ニ依ツテ、課稅シテ居ルモノガ、ソレダケ高ク稅ヲ拂ツテ居ルノハ御意見ノ通りデアリマス、併ナガラ從量稅ノ方ハ、輸入價格ガ高クナツタニ拘ラバ、從前ト同ジ率ニ依ツテ拂フノデアリマスカラ、此方ハ稅額ガ少シモ殖エテ居ナイノデアリマス、ソレデ此邊ノ均衡ヲ取ラシムル爲ニ、從量稅率ニ關スル改正案ヲ今回出シタ次第デアリマス、然ラバ從量稅率ヲ掛ケテ居ルモノノ中ニハ、産業ノ保護ヲ目的トシテ掛ケタモノモアルガ、サウデナイモノモアルデヤナイカ、又日本ニハ少シモ產出シナイモノガ中ニ這入ツテ居ルデヤナイカ、是ハドウ云フ譯カト云フ第二段ノ御尋デアリマスガ、從量稅率ノ改正ノ主タル理由ハ、從價稅率トノ間ノ破レタル均衡ヲ回復セシムル、是ガ趣意デアリマスカラシテ、成程九百七十幾種ノ從量稅率ヲ掛ケテ居ルモノノ中ニハ、日本ニ產出シナイモノモアルガラウト思ヒマス、併シナガラ、即チ最初サウ云フモノニ課稅シタノハ、之ヲ保護スル意味ニアラズシテ、私ハ相當ノ收入ヲ得ルト云フコトデ從來掛ケテ居タモノガラウト思ヒマス、從テ從量稅率ニ關スル改正案ハ、單ニ保護ノ目的バカリデナク、最初設ケラレテ居タ此保護及ビ收入

ヲ得ルト云フ目的、此兩方ノ目的ニ適フ所

以ナリト考ヘル次第ゴザイマス
○森平兵衛君 只今ノ大藏次官ノ御説明ノ第一點ノ所ガ私ハマダ少シ了解シナイノデアリマスガ、前段ニ申上ゲマシタ通り、從量稅ナルモノハ矢張り從價カラ割出シタモノデアル、サウスレバ殆ド從價ト申シテ宜イ、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ同ジコトデアル、サウスレバ既ニ他ノ從價ト同ジク爲替ノ下落ニ依リマシテ、四十九弗以上ト云フモノガ三十二弗ニナレバ、ソレダケ關稅ヲ餘計拂ツテ居ルノデアル、ソレニ尙ホ此從量稅ト從價ノ均衡ヲ保タス爲ニ三割五分増徴ナサルト云フコトニナレバ、六割乃至七割ノ増稅ニナル、斯ウ申上ゲタノデアリマス、是ハ政府委員ノ只今ノ御答辯デハ、從量稅ト從價稅トノ均衡ヲ保タス爲ニ、從量稅ニ對シテハ不均衡デアルト云フ御説ガアリマシタガ、私ハ從量稅ナルモノハ從價稅カラ來タモノデアアル、標準ニナツタモノデアアルカ、殆ド從價ト云テモ宜イ、是ハ決シテ……今日ノ爲替ノ變動ニ於テ從價ト同様ノ影響ヲ受ケテ居ルモノデアアル、斯ウ私ハ考ヘルノデアリマス

○政府委員(堀切善兵衛君) 説明申上ゲタ

從量稅ヲ本トシテ、ソレカラ從價ヲ換算シマシタ點ハ御説ノ通りデアリマス、併ナガラ輸入品ノ方ハ高クナツテ來ル、高クナツテ來ルニ應ジテ從價稅ノ方ハ高クナツタト同ジ割合デ稅ヲ取りマスカラ、此方ハ増加イタシマスケレドモ、從量稅ノ方ハ左様ニハ參リマセヌ、一品ニ付テ或ハ一尺ニ付テ幾ラ、「ボン」ニ付テ幾ラト云フ極々稅ヲ掛ケテ參ルデアリマスカラ、輸入稅ノ價ガ高クナツデモ、之ガ爲ニ其稅額ガ殖エルト云フ關係ハ起ラヌノデアリマス、現ニ金禁止以來即チ昨年ノ十一月頃ト只今トヲ比較シテ見マスト、從量稅率ヲ掛ケテ居リマス物品ノ輸入總額、之ニ從量稅率デ取ラレル稅額ヲ比較シテ見マスト、十一月ニハ、〇・二二七ト云フ數字デアッタモノガ漸次是ガ減ツテ參リマシテ、本年ノ四月ニ參リマスト、一五三ト云フ風ニ是ハ減ツテ參ッタノデアリマス、是ハ丁度三割五六分減ツテ參ッテ來テ居ル、是ハ稅額ガ減ルノデアアリマセヌ、輸入總額ガ多クナツテ、輸入ノ代價ガ多クナツタニ拘ラズ、取りマス税金ハ同ジデスカラ、此歩合ガ段々減少シテ參ルノデアリマス、斯様ナ關係上カラ、輸入價額ガ騰ツデモ、取りマス從量稅ノ額ハ少シモ影響ヲ受ケナイト云フ缺點ガ茲ニハ存在スルノデア

點ガ不十分デアッタ爲カト考ヘマスガ、成程

リマス

○森平兵衛君 私ハ此御説明ハ從價ニ於テモ、總テノ物價ガ世界的ニ下ガッテ居ルカラ、矢張り私ハ減收ニナッテ來ナケレバナラヌカト思フノデアリマス、ソレハ後デドウカ御答辯ノ時分ニ、從價ノ方ハドウ云フコトニナッテ居ルカ御聞カセヲ願ヒタイト思ヒマス、モウ一ツ御伺ヒシタイノハ、私ハ此從價稅ノ三割五分ノ増稅ト云フモノガ、今日爲替ノ差ト云フコトデアリマスガ、是ガ濱口内閣ノ時分ニ金解禁ヲヤッタ、サウ云フ時分ニハ何等之ニ付テ變更モナク、又其以前ノ田中内閣ノ時分ニハ矢張り金禁止中デアリマシタ爲メ、爲替ガ不安定デ、既ニ其時分ニハ四十二弗、又都合ニ依レバ……前々ノ若槻内閣デアッタカト思フガ、三十四五弗ニモ爲替ガナッタコトモアル、左様ナ時ニハ何等政府ニ於テハ、之ニ對シテノ關稅ノ改正、或ハ輸入稅ノ從價稅率ニ對スル所ノ變更ガ無カッタデアリマス、單リ今回ニ限ッテ、モウ爲替ト云フモノガ直ラヌト云フ見込ノ爲ニ御上ゲニナッタモノカ、前ニハ何等之ニ付テハ「タツチ」ナサラズ今回ニ限ッテ御ヤリニナルト云フコトハ、我國トシテ到底爲替ノ回復ノ見込ガ無イト云フ政府ノ御斷定ニ依ッテ本案ノ御提出ヲ見タモノデ

アルカ、其點ヲ御伺ヒ致シマス

○政府委員(堀切善兵衛君) 今迄爲替ガ相當ニ下ガッタ際ニ何故改正ヲ行ハナカッタカト云フ點ニ付キマシテハ、只今大藏當局ト致シテ居リマスル私共ニハ、是ハ説明申上ゲル資格ガ無イノデアリマス、自ラ當時ノ政府當局ガ見ル所ヲ異ニシタ爲デハナカラウカト考ヘルノデアリマス、之ニ對シテ今回爲替ノ下落ハ更ニ大デアリマス、從來濱口内閣、田中内閣等ノ時代ニ於キマシテハ、成程相當ノ時期ニ於テ此回復ガ期シ得ラル、ト豫想シ得タ理由モ存在シタコトデアラウト私ハ考ヘマス、併ナガラ今日ノ狀況カラ申シマスルト、今後ハ元通りニ日本ノ爲替ガ回復スルコトハ容易デアルマイト、斯様ニ考ヘマス、決シテ回復シナイトハ是ハ斷定モ出來マセヌケレドモ、併ナガラ其回復ヲ豫想シ得ル其可能サハ、今迄ノ濱口内閣、田中内閣等ニ於テ考ヘマシタ當時今日トハ、非常ニ内外ノ經濟情勢ヲ異ニシテ居ルト云フコトヲ認メザルヲ得ナイト考ヘマス

○森平兵衛君 政府ニ於キマシテ此輸入稅率ノ改正ニ於テ、物價ガ高クナリ國民ノ負擔ガ増加スルト云フコトニハ御考ヘニナッテ居ルカドウカ、是ハ甚ダ抽象的ノ質問デアリマスガ、第一點ニ御尋ヲ致シマス、ソレト前刻御尋ヲシマシタ從價稅ノ其後ノ増收力或ハ減收ノ程度ヲ數字デ御示シヲ願ヒタイト存ジマス、ソレハ國內産業ノ保護ト云フコトデアリマスガ、私ハ關稅ノ増率ニ依ッテ……輸入稅ノ増率ニ依ッテ保護サレルモノモアリマセウ、併シ之ガ爲ニ加工ヲ致シテ輸出スルモノヲ、非常ニ輸出ヲ阻礙スルト云フヤウナモノモ中ニハ有ルヤウニ思フノデアリマス、サウ云フコトニ付テ政府ハ御調査ガ出來得テ居ルモノデアルカ、ドウカ、此關稅ノ改正、或ハ輸入稅ノ從價稅率ノ中ニ、加工シテ輸出スル物ニ付テハ戻稅或ハ獎勵金其他ノ方法デオヤリニナルモノガアリマセウ、アリマセウガ、概シテサウ云フモノニ付テハ輸出ヲ阻礙スルト云フコトハセヌモノデアルト御考ヘニナッテ居リマスカ、ドウカ第三點ハ内地ノ産業モ非常ニ不振デアリマス、總テ減產トカ、或ハ生産低減トカ、物ニ依リマシレバ價格ノ協定ト云フヤウナコトデ、非常ニ疲弊困憊ニ陥ッテ居ルト云フコトハ現實デアリマス、斯様ナ時ニ此保護ヲ加ヘラレ、之ガ爲ニ回復スルモノモアリマセウガ、前段ニ申上ゲマス通り、之ガ爲ニ輸出ヲ幾ラカ阻礙ヲシテモ、尙ホ以上ニ減產シナケレバナラヌト云

フヤウナ事業ガ、澤山ノ中デアリマスカラ無イトモ言ヘナイト思フノデアリマス、之ニ付テ若モサウ云フモノガアルトスレバ、政府ハ之ニ依ッテ何等カノ方法ニ依ッテ獎勵金トカ、或ハ戻稅トカ云フヤウナモノヲ別ニ爲サレル御考ガアリマスカ

○政府委員(堀切善兵衛君) 國民ノ負擔ヲ増加スルト考ヘナイカト云フ點ニ付キマシテハ、大體是ハ國民ノ負擔ニナラヌモノト申上ゲル譯ニハ參リマセヌ、是ハ一種ノ消費稅デアリマス、但シ此關稅ハ掛ケタ全部ガ日本國民ガ負擔スルモノト、左様ニ感ズル譯ニハ參リマセヌ、其一部分ハ外國ノ輸出業者ガ自ラ之ヲ負擔スルト云フモノモ必ズ中ニハアリ得ルノデアリマス、殊ニ一ツノ國ノ特產品デナク、種々ノ國カラ供給ヲ受ケ得ルト云フヤウナ物ニ付キマシテハ、是等ノ諸外國ノ間ニ競争モ起リマスカラ、掛カク關稅ノ全部ガ、日本日本人ガ負擔シナクチャナラヌモノト、左様ニ考ヘル譯ニハ參リマセヌ、併ナガラ無論ニハ消費稅デアリマスカラ、負擔ハ加ハルモノト考ヘマス、併ナガラ是ト同時ニ又考慮イタサナケレバナラヌノハ、一部分ノ其品物ヲ買フ者ハ負擔ヲ増加イタシマシテモ、其モノガ又他方カラ受ケルヤウナ利益モ必シモ無キニアラ

スト私共ハ考ヘテ居リマス、例ヘバ昨日大河内子爵ノ御質問ニ、鐵ニ稅ヲ掛ケテハ百姓ノ使フ鍋釜マデ増稅セラルル結果ニナルヂヤナイカト、成程其通りカト思ヒマスガ、併ナガラ其百姓ノ賣タ小麥ハ今度ハ矢張り稅ニ依テ保護セラレテ、拵タモノハ高イ價デ是ハ賣ルコトニナルノデアリマス、其鍋釜ノアノ損失ト、賣ル小麥ノ利益トハ、相殺スルヤウニナルノデアリマス、詰リ私共ハサウ云フ點カラ言ヒマス、共存共榮ト云フ精神ハ、矢張り此稅ノ中ニ含マレテ居ルモノト、斯様ニ考ヘマス、ソレカラ輸出ヲ阻碍スルヤウニ至リハセヌカ、原料ガ高クナツテ之ガ爲ニ輸出ヲ阻碍スルヤウニナリハセヌカト、斯ウ云フノデアリマス、又ハ原料品、例ヘバ棉花ノ如キハサウデアリマスルガ、斯ウ云フモノニ付キマシテハ、稅ハ掛ケテ居リマセヌ、又原料品ニ多少稅ヲ掛ケマシテモ、産業ノ合理化其他ノ方法ニ依リ、或ハ能率ノ増進、經營ノ改善ト云フヤウナコトニ依リテ、多少ノ稅額位ハ生産費ノ中ニ之ヲ「アプソート」シテシマフ、吸收シテシマフコトガ出來ル、殊ニ諸外國トノ間ノ競争ガ盛ニナリマシタ場合ニ、生産費ノ中ニ之ヲ吸收シテシマフ作用ガ有力ニ働イテ參ルト考ヘマスルカラシ

テ、必シモ輸出ヲ阻碍スルモノトハ考ヘマセヌケレドモ、阻碍スル虞アルガ如キモノニ對シマシテハ、御説ノ如ク、戻稅ノ方法ヲ實行イタス考デアリマス、輸出獎勵金ヲ付スルヤ否ヤト云フコトニ付キマシテハ、只今ノ所デハ考ヘテハ居リマセヌ、又モウ一ツ之ガ爲ニ國內ノ生産ヲ制限スル必要ヲ生ズルモノガ無いダラウカト云フ點デゴザイマスルガ、私共ハ制限デナク、今迄外國ノ競争品ニ押潰サレテ、サウシテ休止ノ狀態ニ陥テ居ル、ソレデ限産ノ已ムヲ得ザルモノガ甚ダ多イ、歐洲戰争後ニ、各地ニ起リマシタ事業、製造工場等ガ殆ド今日雨曝シニナツテ居ルモノガ全國至ル所ニ非常ニ多イノデアリマス、斯ウナツテ失業者モ非常ニ増加シ、良ク行テ居ル所デモ勞銀ヲ引下ゲ、或ハ限産ノ已ムヲ得ザル狀況ニナツタノデアリマスガ、此關稅ノ保護ニ依ツテ、多少ナリトモ在來ノ壓迫ヲ防グコトガ出來マシタナラバ、限産シタルモノモ、却テ私ハ之ヲ回復ニ進ム端緒ニモナリハセヌカ、斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス、尙モウ一ツノ統計ノ點ニ付キマシテハ、主稅局長ヨリ御答ヲ申上ゲル次第デアリマス

○政府委員(中島鐵平君) 只今森サンノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、森サンノ御尋ノ要點ハ、從量稅ノ方ハ負擔稅率ガ下ガツテ居ルガ、從價稅ノ方ハドウ云フ結果ニナツテ居ルカト云フ御尋デアリマシタガ、其御質問ガ出マス前ニ、物價ノ問題若クハ只今ノ關稅定率法ノ大體ノ基礎ニナツテ居リマス、大正十五年ノ稅法改正ノ御話モ出マシタノデゴザイマスカラシテ、此場合ニ直接ノ御答ニハナリマセヌ點モ御參考ノ爲ニ申述ベテ見タイト思ヒマス先刻堀切委員ノ御答ニナリマシタヤウニ、只今ノ關稅定率法ハ、御承知ノ通り大正十五年ニ一般改正ヲ致シマシタガ、其後色々改正ガアリマシテ、必シモ十五年ノ關稅ノ改正其儘ガ今日殘テ居ルノデアリマセヌ、例ヘバ御承知ノ通り砂糖ノ關稅ノ如キハ、其後大改正ガアリマシテ、其他私カラ申述ベルマデモナク、色々ナ改正ガアリマシテ、七十何品カニ互ニテ改正ヲ見テ居ルノデアリマス、極ク大體論ト致シマシテハ、無論大正十五年ノ關稅定率法ノ改正ニ依リマシタ稅率ガ、今日マデ維持サレテ居リマス、其前ニ、モウ一ツ週テ見マス、關稅定率法ノ十五年ノ改正ニ於キマシテモ、四十四年ニ改正ニナリマシタ稅率ヲ大部分其儘繼承シテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ今日ノ結果カラ見マスルト、一般ノ改正ト申シマスレバ、何

時モ大正十五年ト申シマスケレドモ、個々ノ品目ニ付キマス、只今申上マスヤウニ砂糖ノ如キ大キイモノモ其後ノ改正ニナツテ居ルノデアリマスカラシテ、一概ニハ申セマセヌト思ヒマス、ソレカラ先刻ノ大體稅率ト云フモノハ、從價ヲ標準ニシテ從量稅率ハ生レテ居ルノデハナイカ、是ハ御承知ノ通り又理論上申シマスレバ、無論從價稅ト云フモノハ宜イニ決テ居リマスケレドモ、御承知ノヤウニ色々ナ事由ニ依リマシテ、世界多クノ國ニ於キマシテハ、殊ニ歐羅巴諸國ニ於キマシテハ、從量稅率ヲ主義トシテ居リマス、獨逸ノ如キハ殆ド從價稅ハナイト言テ宜イ位ニ、戰争前デモ只今デモ大體ニ於テ基礎率ハサウナツテ居ルト思ヒマスルガ、我國ニ於キマシテモ、從量稅率ヲ採用イタシテ居ルノデアリマスルガ、從量稅率ヲ編出ス上ニ於キマシテ、無論從價ト云フモノヲ見マスガ、是又原則的ニヤルノデアリマシテ、或ル特殊ノモノニ付キマシテハ必ズシモ從價率ヲ割出シテヤツテ居ナイノデアリマシテ、殊ニ例ヘバ、只今ノ小麥ノ關係ノ如キモノニ致シマシテモ、是ハ御承知ノ通り議院デ修正ニナリマシテ、アレハ正確ナコトヲ記憶致シマセヌガ、大正十五年ノ當時ハ確カ百斤七十七錢ダッタ

ト思ヒマス、ソレヲ議院デ百斤一圓五十錢
ト云フコトニ改正ニナリマシタ、サウ云フ
場合ニ於テハ必ズシモ從價率ニ幾割ニナル
カ幾割ニシタ、從價二割ニナルカラ一圓五
十錢ニナリ得ルト云フヤウナ必ズシモ趣意
デハナカッタラウト思ヒマス、デアリマカス
ラシテ大體ノ原則ト致シマシテハ、從量稅
ヲ盛リマスル上ニ於テ、從價ヲ標準ニシテ
ヤリマスケレドモ、全部ノ品物が必ズシモ
サウデハナイノデアリマス、此點ハ無論森
サンモ御心得ノコトダラウト思ヒマスガ、
御參考ノ爲ニ申上マシテ、次ニ從量稅ト從
價稅ノ負擔ト云フコトヲ御説明イタシテ見
タイト思フガ、御承知ノ通り大正十五年關
稅改正ハ大正十一年ノ下半年カラ大正十
二年ノ上半期ニ至リマス所ノ其當時ノ輸入
平均額ヲ見マシテ、只今森サンノ仰セノヤ
ウニ從價ト云フモノヲ……從價率ヲ大體見
マシテ、ソレカラ割出マシテ從價稅デ幾割
居ルモノモアリマスルシ、又從量稅ニ換算
イタシテ二割トカ三割ト云フヤウナコトヲ
目標ニシテ百斤幾ラ、毎百個幾ラ、每一個
幾ラト云フ風ニナッテ居ルモノモアリマス、
大正十五年ノ時ハ是ハ震災ノ直後デモアリ
マスルシ、色々事情ガアッタト思ヒマスガ、
三四年前ニ是モ矢張り爲替ノ安定ト云フコ

トガ多分頭ノ中ニアッタラウト思ヒマス、大
正十一年ノ下半年カラ大正十二年上半期ノ
其一年間ノ輸入貨物ノ平均額ヲ各品目ニ付
キマシテ、稅率ガ大體ニ於テ原則的ニ割出
サレテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ
週テ今日カラ大正十二年當時ノ十一年ノ下
半期カラ十二年ノ上半期ノ數字ハ持ッテ居
リマセヌガ、大正十二年當時ノ從價稅率ノ
負擔稅率ト從量稅ニカカッテ居ル負擔稅
率ヲ見テ見マス、從量稅率ノ方ハ一割一
分二厘ト云フコトニナッテ居リマス、從價稅
率ノ方ハ一割二分四厘ト云フコトニナッテ居
リマス、大體ニ於テキマシテ從量稅率モ從價
稅率モ一割一二分ト云フコトニナッテ居ル
ノデアリマス、デアリマスカラ、只今申上
ゲマスカウニ、大正十一年下半年カラ十二
年上半期マデノ十五年當時ノ眞ニ基礎ト
ナッタ平均額ハ分リマセヌデゴザイマスガ、
恐ラクハ偶然カモ知レマセヌガ、大體一致
シテ居ッタト思フノデアリマス、亞米利加ア
タリノ關稅改正ノ時ニハ大體ノ平均ト云フ
モノヲ先ヅ押ヘテヤッテ居ルヤウナ場合モ
アルヤウニ承知シテ居リマスガ、十五年當
時ハ私ハ參加イタシテ居リマセヌデゴザイ
マシタカラ、ドウ云フコトニナッテ居リマス
カ存ジマセヌガ、結果カラ判斷シテ見マス

ト、大正十二年ノ從量稅ノ負擔稅率ト從價
稅率ノ負擔稅率トハ大體ニ於テ一致シテ居ル
ヤウナ實情ニナッテ居リマス、其後ノ事情ヲ
調べテ見マス、大正十三年ニ於テキマシテ
ハ從量稅率ノ負擔ハ一割一分三厘、僅カ一
厘上ッタニ過ギマセヌ、十四年ハ是ハ八分
ニナッテ居リマス、是ハ御承知ノ通り震災
直後ノ事情デ經濟界ノ色々變動ノ時代デ
アリマスカラ、斯ウ云フ數字ヲ現ハシテ
居ルノダラウト思ヒマスケレドモ、斯ウ
云フノガアリマスカラ、多分十五年ハ十一
年ノ下半年カラ十二年ノ上半期マデノ平均
ヲ取ッタノデアラウト思ヒマス、然ラバ十五
年自體ハドウデアッタカト申シマスルト、從
量稅率ノ方ハ一割二分五厘、ソレニ對シマ
シテ從價稅率ノ方ハ大正十二年ハ先刻申上
ゲマスカウニ一割二分四厘トナッテ居リマ
スガ、大正十五年ニハ既ニ二割九厘ト云フ
數字ヲ現ハシテ居ル從量稅率ハ一割二分五
厘ニ對シテ二割九厘、斯ウ云フコトニナッテ
居ル、大正十五年、即チ政府ガ一般改正ノ
法案ヲ提出イタシマシタ其時ノ年ハ、是ハ
從量稅ガ一割二分五厘デアルニ拘ラズ從價
稅ハ二割九厘ト云フコトニナッテ居ルノデ
アリマス、併シ基礎ニナッタノハ十一年當
時、是ハ十二年ニ致シマス、一割一分九

厘ニ對シマシテ一割二分四厘ト云フコトニ
ナッテ居リマス、而シテ其後ノ變遷ヲ從量稅
ト從價稅ニ付テ眺メテ見マスルト、從量稅
ノ方ハ御承知ノヤウニ、是ハ昨日斯波男爵
カラ本議場デ御話ノアッタヤウニ、物價ノ變
動ヲ受ケタモノト見ナケレバナリマセヌ
ガ、昭和二年ニハ一割二分八厘、昭和三年
ニハ一割三分四厘ニナッテ居リマス、昭和五
年ニ行キマシテハ一割四分三厘ト云フ
コトニ上ボッテ居リマス、昭和六年ハ、即チ
昨年ハ、是ハ十二月十三日以後ノ數字ヲ含
メテ申上ゲマスルト、一割九分ト云フモノ
ニナッテ居ルノデアリマス、是ハ即チ金ノ解
禁ニ依ッテ日本ノ物價ガ低落イタシマシタ
結果、先刻堀切委員カラ御説明致シマシタ
ヤウニ、從量稅ト云フモノガ固定シテ其稅
金ガ動キマセヌ結果、物價ガ低落シタニモ
拘ラズ負擔稅率ハ逆ニ上ッテ居ルト云フコ
トヲ示シテ居ルモノダラウト思ヒマス、昭
和六年、昨年ノ十一月一箇月ダケ取ッテ申シ
マスレバ、先刻堀切委員カラ御説明申上ゲ
マシタヤウニ、二割二分七厘ト云フヤウニ
高クナッテ居リマス、從量稅ノ方ガ……、即
チ大正十五年一般改正當時ヲ若シ百ト見マ
シタナラバ、昨年ノ十一月ハ是ハ二百位ニ
ナッテ居リマシテ、此意味ニ於テキマシテハ確

カニ從量稅率ノ負擔ハ既ニ頂點ニ達シテ居ルト云フヤウナ恰好ニナッテ居ルノデアリマス、之ニ反シマシテ從價稅ノ方ハ、先刻申上ゲマシタヤウニ十五年ニ二割九厘ト云フ率ガ順次ニ下ッテ參リマシテ、昭和二年ニ二割四厘、昭和三年ニハ是ハ又元ニ復活イタシテ二割九厘ト云フコトニナッテ居リマスガ、昭和四年ハ一割八分九厘、五年ハ一割七分六厘、斯ウ云フ恰好ニ段々下ッテ參リマシタ、此從價稅ノ方ハ實ハ其物ガ變リマセヌケレバ、今迄參ッテ居ル品物ノ内容ガ變リマセヌケレバ、實ハ其負擔ト云フモノハ從價稅デアリマスカラシテ、是ハ「フラクチュエート」スルト云フコトハ、實ハ負擔稅率其モノトシテハ大シテ意味ハナイトモ言ヘルノデヤナイカト思ヒマス、但シ從價稅ト從量稅トノ比較ヲ致シマス上ニ於キマシテ、事實上是ハ上ッテ居ルトカ、下ッテ居ルトカ云フコトハ、相當考慮ヲ要スルト云フコトニナルダラウト思ヒマス、極ク最近ノ實情ヲ申上ゲマスト云フト、昨年ノ十一月ガ金ノ再禁止直前デアリマスカラ、其當時ノ稅率ヲ申上ゲマストレバ、此點ガ森サンノ直接ノ御尋ダッタト思ヒマスガ、從量稅率ガ二割二分七厘ト云フコトニナッテ居リマスノニ、從價稅率ノ方ハ一割九分六厘ト云フコトニナッテ

居リマス、サウシテ先刻堀切委員カラ御說明申上ゲマシタヤウニ、從量稅率ノ方ハ十二月ニハ二割二分四厘ニ下リマシテ、一月ニハ二割六厘、二月ニハ一割九分二厘、三月ニハ一割八分一厘、サウ致シマシテ三月カラ四月ニ掛ケテ非常ニ一度ニドット下リマシテ、一割五分三厘、斯ウ云フコトニ從量稅率ハ下ッテ居リマスノニ、從價稅率ノ方ハ昨年十一月ノ頃ハ二割二分七厘デアリマシタガ、十二月ガ二割二分一厘、此一月ガ二割、二月ガ一割八分五厘、斯ウ云フ風ニ大體二割近イ數字ハ表ハシテ居ルノデアリマス、デアリマスカラ想像シテ考ヘマスト、斯波男爵ノ御話ノヤウニ、關稅ヲ改正スルノニ物價ヲ見ナイノハイカンデヤナイカト、御尤ナ御說ト拜聽イタシマスガ、關稅ノ問題トシテハ無論内地ノ物價ヲ見ルコトハ當然デアラウト思ヒマスガ、直接此問題ノ關係ニ於キマシテハ、外國カラ這入ッテ參リマス品物ガドウ云フ風ニ平均額ト云フコトガ成ッテ居ルカト云フコトガダ一層直接ノ問題デハナイカト、斯ウ云フ風ニ私共考ヘテ居リマシテ、其頭デ從量稅率ノ負擔ヲ考ヘマスト、只今申上ゲマシタヤウニ、昨年ノ十一月頃二割二分七厘ト云フモノハ一割五分三厘ニ下ガルト云フコトハ、

是ハ確ニ輸入サレテ居ル所ノ外國カラ參リマスモノト、其差額即チ七分一厘カ七分四厘力差ガアリマスガ、此差ヲ表現イタシマス程度ニ其物ガ上ガッタト云フコトヲ示シテ居ルモノデハナナイカト思ヒマス、大體サウ云フ考デ居リマス、若シ私ノ説明ガ不十分ノ點ガアリマスレバ重ネテ御答ヘ致シマス

○森平兵衛君 後デ御差支ガアリマセナシタラ、只今主稅局長ノ「パーセンテイヂ」ダケヲ戴クコトヲ得マスレバ大變結構デアリマス、ソレトモウ一點抽象的ノ大體ノ何トシテ御尋ヲ致シマスガ、政府ニ於テハ、此政府デハアリマセン、前ノ政府デアリマシタガ、伸縮關稅ヲ御設ケニナリマサウナ意思ノアッタヤウナコトモ新聞デ拜見シタノデアリマス、堀切政務次官ハ前内閣カラ御出デデアリマスノデ、斯ウ云フコトガ大藏省ノ省議トシテ御考ヘニナッタコトガアルノデアリマスガ、隨分關稅ハ昨日モ私ハ豫算ノ總會デ申シマシタ通り、殆ド全世界ト申シテモ宜イト思ヒマスルガ、關稅ノ障壁ヲ設ケテ、自國ノ産業ヲ保護シテ自國ノ財政ヲ確立スルト云フコトニナッテ居ルコトハ明瞭ナ事實デアリマス、然ルニ日本ダケハ議會ノ協賛ヲ得ヌコトニハ關稅ノ改正

ガ出來ナイト云フコトニナレバ、殆ド議會ハ本年ハ是デ二回モ開カレテ居リマスガ、大抵八年ニ一回ノコトデアリマシテ、其間ヲ待ツト云フコトニ付テハ産業保護ト云フ上ニ於テモ頗ル遺憾ナ點ガアルカト思ハレルノデアリマス、斯ウ云フコトニ於テ伸縮關稅ト云フコトモ一面カラ考ヘレバ宜イコトト思ヒマスルガ、又弊害ノ點モ相當考ヘラレルコトデアリマスルガ、サウ云フコトニ付テ御調査ナリ又御考ヘニナッタコトガアルノデアルカ、ソレデ矢張り伸縮關稅ト云フモノハヤラヌ方ガ宜イト云フ考デ御實行ニナラナカッタモノデアリマスガ、御差支ノナイ程度ニ御答辯ヲ承ハルコトヲ得マスレバ仕合ニ考ヘマス

○政府委員(堀切善兵衛君) 伸縮關稅ノコトニ付キマシテハ當局ト致シマシテ調査モ研究モ致シマシタ、又諸外國等ノ例モ深く注意イタシテ居ッタノデアリマス、併シ諸外國中從來一番盛シニ實行シマシタノガ合衆國デシタガ、最近ニ於テハ合衆國モ之ヲ廢止シタイト云フヤウナ意思モ現レテ居リマス等ノコトモアリマスノデ、又我國ニ於テ之ヲ實行シタ場合ニハドウ云フ風ニナルカ、即チ餘リニ是ハ利害關係ノ方面カラノ運動ナド盛シニナッテ、ソレガ爲ニ弊害ヲ

生ズル端ニモナリハセヌカ、或ハ伸縮關稅ト申スモノ、縮ノ方ハ一向働カナイデ、伸ノ方バカリ之アルガ爲ニ働クヤウニナリハセヌカト云フヤウナコトヲ色々考ヘマシテ、結局尙ホ更ニ是ハ調査研究ヲ進メル方ガ宜カラウト云フ考ニ歸シタノデ、今回ハ之ヲ提案シナカッタ次第アリマス

○森平兵衛君 私マダアリマスルガ菅澤君カラ何カ關聯シタコトデノ御質問ダラウト思ヒマスガ、アルトノコトデスカラ、チョット私ハ控ヘマシテ午後ニ又質問ヲ……

○菅澤重雄君 私ハ此關稅問題ニ付テ大體ノ政府ノ方針ヲ聽キタイト思ヒマシタガ、隣ノ森サンカラ私ノ聽カント欲スル所ノモノヲ稍、聽カレマシテ、私モ多少了承イタシマシタガ、大體關稅ト云フモノハ、今ヤ各國ガ競ッテ關稅障壁ヲ設ケテヤッテ居ルノデスカラ、單リ日本ガ此世界ノ大勢ニ後レテ、サウシテ關稅ト云フモノニ何等無關心デ居ッタト云フコトハ甚ダ私ハ遺憾デアッタと思フ位デアリマシテ、森君トハ反對ニ此臨時議會ヲ開イテ此關稅問題ヲ出シテ、サウシテ時局ヲ救フト云フノガ當ヲ得タモノデハナイカ、斯ウ云フ賛成ノ意味ニ於テ質問シテ見タイト思フノデスガ、政府ハモット關稅ヲ世界ノ大勢ニ鑑ミテ廣汎ニ

互ッテ細密ナル調査ヲシテ、サウシテ更ニ次ノ議會ニ出ス意見ヲ持ッテ居ルカドウカ、大體此政府ノ方針ハ、收入ヲ得ルト云フコトト、産業ヲ保護スルト云フコトト、國債貸借ノ

平衡ヲスルト云フヤウナ意味ガ含マレテ居ルヤウデアリマスガ、其重點ハ何レニアルカ、私トシテハ内地ノ産業ヲ保護スルト云フモノモアル、又收入ヲ得ルト云フノモアル、色々アルト云フコトデアリマスルケレドモ、然ラバ三割五分ト云フモノヲ平均ニヤッテ其趣旨ガ徹底スルカト云フコトニナルト、一例ヲ上ゲテ見マスルト云フト、此小麥ノ如キモノハ、外國ノ這入ッテ來ル麥ト日本ノ麥ト比較スルト云フト非常ナ差ガアリマシテ、關稅ノミニ於テハ満足出來ナイヤウナ……私ハ此關稅ガ甚ダ物足ラヌヤウニモ考ヘテ居リマスノデ、産業保護デアルトスレバソレ等ノ點ニ付テモウ少シ政府ハ考慮シナケレバナラナカッタデハナイカ、斯ウ云フヤウナ考ヲ持チマスルノデ、大體政府ハ世界ノ大勢ニ鑑ミテ常道デナイカモ知レヌケレドモ、此場合ニ於テ關稅障壁ヲ設ケテ各國ト……遺憾ナガラサウ云フ意味ニ於テ各國ト平衡ヲ得ルヤウニ關稅ヲシナケレバナラヌト云フコトニ考ヘテ居ルナラバ、次回ニ於テモット廣汎ニ互ッテ關稅改正

ヲ出シテ貰ヒタイ、其御意思ガアルヤ否ヤ、ソレカラ小麥ノコトニ付テ例ヲ引イテ申セバ、英吉利ハ嘗テ小麥法案ト云フモノヲ設ケテ、一定ノ小麥價格ヲ政府ガ補償シテ、自國ノ産業ヲ保護シ、外國ニ金ノ流出ヲ防止スルト云フ所謂國際貸借ノ平衡ヲ得ルヤウナ意味ニ於テサウ云フヤウナ法案ヲ設ケテ保護シタノデアリマス、佛蘭西ニ於テハ外國ノ小麥ヲ入レナイト云フ法律ヲ設ケテ居リマシタガ、昨年不作デ止ムヲ得ズ一割五分外國ノ小麥ヲ入レルト云フ法律ヲ布イタ、斯ウ云フ迄ニ内地ノ産業ヲ保護シ若クハ國際貸借ノ平衡ヲ得ルヤウニ、金ノ流出ヲ防止スルト云フヤウナコトニ腐心シテ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマシタガ、是等ノコトニ付テ何カ政府ニ御調査ガアレバ、聽クコトヲ得レバ幸デアリマス

○政府委員(堀切善兵衛君) 世界ノ大勢ニ鑑ミ更ニ調査研究ヲ遂ゲテ次ノ臨時議會ニ更ニ此上ノ改正案ヲ出ス意思ガ政府ニナイカト云フ御尋デアリマスガ、左様ナ考ヲ持ッテ居ルノデアリマス、今回提出シマシタ是ダケノ調査デモ大體其他ノ關係當局ハ非常ニ是ハ勉強イタシマシタノデアリマス、併シ何分此急ナ場合デアリマシタカラ、是以上ノ提案ヲ致スダケノ準備ガ整ヒマセヌ

デ、取敢ヘズ是ダケ提出イタシタヤウナ次第デアリマスガ、尙ホ更ニ調査研究ヲ續ケテ次ノ議會ニ出シタイ考デ居リマス、ソレカラ小麥ノ點デゴザイマスルガ、是ハ此輸入稅ノ從量稅率ニ關スル法律案……品目名ヲ書イテ居リマス、是ハ三割五分ヨリ除外シテサウシテ別ニ稅ヲ盛ッテ臨ムノデアリマシテ、小麥ハ餘程是ハ高い稅率ヲ盛ッタノデアリマス、除外シテ居ル譯デハナイノデアリマスカラ左様御承知ヲ願ヒマス

○子爵井上匡四郎君 チョット材料ノコトニ付テ、早イ方ガ宜イダラウト思ヒマスカラ、政府ニ御願ヒシタイト思ヒマス、昨日堀切政務次官ノ御説明ノ中ニモ鉄鐵ノコトデアリマスルガ、鉄鐵ノ生産費ト輸入價格等ヲ考慮比較イタシマスと云フコトデゴザイマスガ、從テ商工省ノ方ニハ此生産費、輸入價格等ヲ御比較ニナッタ精細ナ材料ガオ有リニナルト思ヒマスカラ、材料ヲ頂戴イタシタイト思ヒマス、其上デ更ニ又足りナイ所ハ拜見イタシタ上デ請求イタシタイト思ヒマス

○政府委員(中島鐵平君) 今井上子爵カラノ御話ハ了承イタシマシタ、出來ルダケ至急ニ差上ゲタイト思ヒマス
○藤原銀次郎君 私ハ此度ノ關稅改正ニ依

リマシテ産業が大分ニ保護サレルト思ヒマス、其結果今日非常ニ行詰リテ居リマス失業
者ノ救済ト云フヤウナコトニ相當ノ效果ガ
アルト存ジマス、就キマシテハ此關稅改正
ノ結果、ドレダケ失業業者ノ救済ニナルカ、

例ヘバ鐵ニ是ダケノ稅ヲカケレバ是ダケノ
輸入ヲ防禦スル、何百万噸ノ輸入ヲ防禦ス
ル、サウスルト其結果、何百万人ノ失業者
ノ救済ニナル例ヘバ小麥ノ關稅ヲ是ダケカ
ケテ、之ガ爲ニ何十万石ノ小麥ノ輸入ヲ防
禦スルカラ、其結果農民ガ是ダケ職業ヲ得ル

「ミルク」ニ關稅ヲカケレバ何万頭ノ牛ガ殖エ
ルト云フヤウナコトヲ、商工及農林ノ各御
當局ノ方カラ、失業救済ノ意味ヲ盛々統計
ヲ御示シヲ願ヘレバ、此案ヲ審議スル上ニ
於テ非常ニ參考ニナラウカト思ヒマスガ、

御無理ナ難題ヲ申上ゲル意味デハアリマセ
ヌカラ、御調査ガ出來マシタナラバ願ヒタ
イト思ヒマス、又若シ更ニ、鐵ノ如キモノ
ハ直ニ御調査ガ出來ヤウト思ヒマスガ、之
ニ依ッテ熟練勞働者ガドノ救済サレテ、不
熟練勞働者ガ是ダケ救済サレルトカ、或ハ

直接ノ鐵工業ニ付テハ是ダケノ勞働者ガ救
済サレテ、之ニ間接ニ其運輸トカ、運搬
ダトカ、積込、積卸トカ云フヤウナ、サウ
云フ風ナ間接ノ勞働者ガドレダケ救済サレ

ルトカ云フヤウナ工合ニ、私共ノ了解ノ行
クヤウニ御調査ガ出來マスレバ、尙ホ仕合
セデアリマスガ、併ナガラ急場ノコトデア
リマスカラ強ヒテ、出來マセヌケレバ出來
ルダケノ範圍デ宜シウゴザイマス

○政府委員(堀切善兵衛君) 相談イタシマ
シテ出來ルダケ出スヤウニ致シマス
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 午前ハ是デ休
憩イタシマシテ、午後ハ一時半カラ開會イ
タシマス、ソレカラ十七號室ニ變更イタシ
マシタカラ、十七號室ニ御集リヲ願ヒマス

午後零時五分休憩
午後一時三十九分開會
○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ午前
ニ引續キマシテ開會ヲ致シマス
○男爵斯波忠三郎君 大藏御當局ニ伺ッテ

見タイノデアリマスガ今朝森平兵衛君カラ
三割五分ノ從價、從量稅ヲ増スト云フコト
ニ付テノ御質問ガアリ、御答ガアッタノデア
リマスガ、私餘程注意シテ拜聽シテ居タノ
デアリマスガ、ドウモマダ少シ腑ニ落チヌ

所ガアリマシテ、ドウカ一ツ誠ニ幼稚ナ質問
ヲ發スルノデアリマスガ、蒙ラ啓イテ戴キ
タイ、主稅局長モ後デ細カイ數字ヲ御示シ
ニナッタノデアリマスガ、私ハ其點ヲモウ少
シ簡單化シテ御話ヲ伺ッタ方ガ一番私ノヤ

ウナ素人ノ頭ニ這入リ宜イト思ヒマスカラ
御尋ネシテ見タイト思ヒマス、成程爲替相
場ノ變動ニ依ッテ從價稅率ト步調ヲ保爲ニ
ハ從量稅ヲ調節シナケレバナラヌト云フコ
トハ、是ハ成程一應其通りデアラウト思フ

ノデアリマスガ、調節スル一ツノ「ファク
ター」トシテハ一ツダケデハイケンイト思
フノデ、爲替相場ト云フ一ツノ「ファク
ター」ト、モウ一ツハ物價ノ變動、物價ノ指數

ト云フコトト、兩方ヲ綜合シテシナケレバ
ナラヌノデヤナイカト云フ意味デ昨日モ大
藏大臣ニ御尋ネシタノデアリマスガ、大藏
大臣モ御答ヘ遊バスノニ爲替相場ノ變動ト

其他ト云フコトデアッタノデアリマス、其他
ヲ考慮シテ取捨按配シタ結果ガ斯ウ云フコ
トデアリマス、實ハ先年關稅定率法ガ一般
ニ改正サレタ時ノコトヲ記憶ヲ辿ッテ見マ

スト云フト、其當時物價ノ指數ハ、勿論其
前後ニ互ッテ指數ニ付テ十分考慮サレテ加
味サレタノデアッタト思フノデアリマス、今
回モ必ヤサウサレタコトト思フノデ、昨日

コニ甲乙二ツノ品物ガアル、一ツハ、甲ハ
從價稅ヲ課シタ其物ガ假ニ一噸十圓スルモ
ノデアッテ、サウシテ從價稅トシテ一割ノ稅
率ヲ持ッタ、斯ウ假定シマス、乙ト云フ品物

ガモウ一ツアッテ、其物ノ價格ハ時價ハ矢張
リ甲ト同ジヤウニ十圓デアル、併シ便宜上
之ニ從量稅ヲ課シテ、一圓ノ從量稅ヲ課シ
テ、一噸ニ付テ從量稅ヲ課シタ、サウシテ

置ケバ、其當時ニ於テハ兩方トモ時價ガド
チラモ甲乙共ニ十圓デアルカラ、一割ノ稅、
從量トシテモ從價トシテモ一割、ソレデ均衡
ヲ保ッテ居ッタト斯ウ假定シマス、ソコデ今

度爲替ノコトハチヨット後ニ考ヘマシテ、全
ク爲替ノコトヲ考ヘマセヌデ物價ダケヲ考
ヘテ見マスト云フト、物價ガ甲ノ物ガ假ニ
二十圓ニナッタト假定シマスレバ、二圓ノ從

價稅ガ課セラレルコトニナルノデアリマス
ガ、即チ一割トシテ二圓ノ稅ガ取ラレルノ
デアリマスカラ、其一割ト云フモノニ付テ
ノ變リハ無論アル筈ハナイノデアリマス、

ニシカ當ラナイト斯ウ云フコトニナル、是ハ上ゲナケレバナラスト云フコトニナルデアリマセウ、物價が上ルト云フコトニナレバ……トコロガ其場合ニ物價が下ッタドウカ、十圓ノ物ガ五圓ニナッタ考ヘレバ、今度其逆デ從價稅ハ宜シウゴザイマス、從價デハ五十錢ニナルカラ……矢張り一割デアルカラ宜シウゴザイマス、併シ乙ハ從量稅デアルカラ、元ノ一圓ヂヤイケナイ、五十錢ニ下ゲナケレバナラスト、一割ト云フ步調ヲ保ツ爲ニハ一圓ノ物ヲ五十錢ニ下ゲナケレバナラスト、要スルニ物價が下レバ從量稅ノ方ハ下ゲナケレバナラストノデハナイカト思フノデアリマス、併シ茲ニモウ一ツ外ニ、其「ファクター」ノ外ニ、爲替相場ノ變動ト云フコトデアル、爲替相場ガ、今度ハ日本ノ爲替ガ下落シテ弗ガ上ッタ、サウスルトソレハドウ云フコトニナルカト云フト、ソレハ丁度其アベコベヲ考ヘナケレバナラスト、物價が上ッタ時ト同ジコトデアリマス、下ゲルノヂヤナシニ、上ゲナケレバナラスト思フノデス、ソレデ弗ノ爲替相場ノ上ッタノト、ソレカラ物價ノ下ッタノト同ジヤウナ割デ行ッテ居ルナラバ何モ變ヘヌデモ宜シイノデアリマス、從量稅ハ……トチラカ不變ノ場合ニ、物價が不變ナ場合ニ

弗ガ上ッタナラバ、ソレハ從量稅ハ増サナケレバナリマスマイ、物價が下ッタ場合ニ、弗相場ガ不變ナ場合、變ラナカッタ場合ニハ、從量稅ハ下ゲナケレバナラスト斯ウ云フ結果ニナルグラウト思ヒマス、ソレヲ兩方綜合シテ三割五分ト云フモノガ出ナケレバナラヌ筈ナンドス、ソコヲ御尋ネシタイノデアリマス、爲替相場ノ變動トソレカラ物價ノ指數トヲ綜合シテソレガ果シテ三割五分ト云フコトニナルノデアリマスカト云フコトヲ御尋ネシタイ、ソレニ付テハ物價ノ指數ヲ示スト云フコトガ必要ダラウト思フノデアリマス、物價ノ指數、是ハ關稅會議ニ於テ何時デモ必要ナ數字デアアルノデアリマシテ、我ミガ參考トシナケレバナラスト數字ナンデアリマスカラ、願ハクバ御示シニナル材料トシテ、一ツ從量稅デ三割五分デ、今度諸リ御提出ニナッタモノノ物價指數、現今ノ物價指數及其制定當時ノ指數ト云フヤウナモノハ、是ハ大藏省ニチヤントアル筈デス、ソレヲ一ツ示シテ戴キタイと思フノデアリマス

○政府委員(堀切善兵衛君) 大體私カラ御答ヘ申上ゲテ、尙ホ詳細ノ點ハ主稅局長カラ御答辯願フコトニ致シマス、爲替ノ關係其他ヲ考慮スルト云フ大臣ノ御答辯デゴザイマシタガ、其通りデアリマシテ、爲替ノ關係カラ申シマシテモ、三割五分ト是ハハッキリ決マッテ居ル譯デハアリマセヌノデ、爲替ニ致シマシテモ、外割ト内割トデハ大變ナ違ヒデ、外割カラ申シテ五割四分程度デ、内割カラ申シテ三割五六分ト云フコトニナッテ居リマス、是ハ「ドル」ニ對シテデアリマス、其他「フラン」或ハ「マルク」等ニ較ベマシテモ、或ハ是ヨリモ少シ餘計此爲替ガ下ッテ居ルヤウナ狀況ニナッテ居リマス、一面「ポンド」ニ致シマシテハ外割デ一割五分……一割六七分ト云フヤウナ程度ニ居リマスノデ、彼此レ對數觀察ノ上ニ於テ三割五分位ニ致シタラドウカト斯様ニ考ヘマシタ譯デアリマス、物價ノ方ノ關係ハドウナルカト申シマスレバ爲替ガ下ガリマシテ、輸入品ノ値ガ騰貴イタシマスガ、爲替ノ下ガッタト同ジ割合ニ輸入品ハ騰貴イタスモノデハアリマセヌケレドモ、大體カラ申シマストサウシテ長キ期間ヲ取ッテ考ヘマースルト、矢張り此爲替ニ左右セラルル形勢ヲ持ッテ參ルノデアリマス、今回ノ改正ニ際シマシテ約三十品位ノ輸入品ノ騰貴歩合ヲ調べテ見マシタ所、矢張り是ハ三割六七分ノ騰貴ヲ平均イタシマシテ致シテ居ルヤウナコトニナリマシタノデ、是モ初マリノ中ハ

騰貴歩合モ少ナカッタノデゴザイマスガ、最近ニ至ルニ從ッテ騰貴歩合ガ上ガッテ參リマス、是ハ即チ長イ期間ヲ取ッテ見ルト云フト、矢張り此爲替ノ下落ニ輸入品ノ物價ハ大體引摺ラレテ行クヤウナ形勢ニナッテ居ルト考ヘラレマス、上ガル時ニハ從量稅率ヲ上ゲテ變更スルノモ當然ダラウト云フ御説デゴザリマシタガ、其通りト私共考ヘマースルノデ、昨年末ノ金輸出再禁止、是以來爲替ガ俄ニ非常ニ下落イタシマシテ、是ガ爲ニ從量稅、從價稅ノ權衡ガ破レルヤウニナリマシタ、此權衡ヲ回復スル爲ニ即チ金解禁後ノ經濟界ノ實情ヨリ主トシテ考慮イタシマシタガ爲ニ、此權衡ヲ保ツ爲ニ從量稅ヲ引上ゲル、斯ウ云フ方針ニ出タ次第デアリマス、左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵斯波忠三郎君 只今私ノ申シ方ガ惡カッタカ存ジマセヌガ、私ノ尋ネタコトニマダ的確ニ當ッテ居ラスヤウデアリマス、物價ノ指數ガ現行ノ關稅ヲ制定サレタ當時ヨリカ上ガッテ居ルヤウニ承ッタノデアリマシタガ、上ッテ居ルト云フ筈ハナイノデアリマス、上ガッテ居ルト云フヤウナ御答ノヤウニ……

○政府委員(堀切善兵衛君) 十五年ニ比ベマスト今日ハ物價ノ程度ハ大體ニ上ガッテ

ハ居リマセス、私ノ申上ゲタノハ昨年ノ金再禁止後爲替ガ下ガリ從テ輸入品ノ物價ハ大分高クナツテ參ツタ、斯様ニ申上ゲマシタノデ、此例ハバ金再禁止後爲替ガ非常ニ動搖シ經濟界ニ非常ナ變動ヲ起シタ、從テソコカラ關稅改正ト從量稅ニ關スル稅率ノ變更ト云フコトガ出發シテ居リマスカラ、再禁止後爲替ガ下ガリ物價ガ上ガッタト云フ際ニ於キマシテハ從量稅率ヲ上ゲル、ソレデ一割バカリガ至當デアルト斯様ナ次第デアリマス

○男爵斯波忠三郎君 ソレハ分リマス、私ハソコヲ御尋ネシタノデハナイノデ、現行稅率ヲ制定シタ大正十五年ト今日ト、物價ノ指數ハドウカト云ヘバ下ガッテ居ルト見込ンデ居リマス、下ガッテ居レバこそ私ハ先程申上ゲタ如ク一方ニ於テ爲替ノ關係カラ物價ガ上ガッタカラ、從價稅ト權衡ヲ保ツ爲ニ從量稅ヲ上ゲルノハ結構デアアル、併ナガラ物價ノ指數ガ下ッテ居ルカラ一方ニソレヲ落サナケレバナラス、其關係ガドウカト云フコトヲ御尋ネシタ、制定當時ニ於テ物價ノ指數ハ關稅ヲ盛ル上ニ於テ、非常ニ大キナ「ファクター」デ研究シテ居ッタケレドモ、今回モ必ヤ關稅調查會其他ニ於テ、ソレ等ガ提出サレタコトト思ヒマスガ、ソレ

デ願ハクハ今上ゲヤウト云フモノノ現今ノ物價ノ指數及ビ制定當時ノ物價ノ指數ノ御調ガアル譯ナンデアリマスカラ、ソレヲ拜見シタイ、斯ウ申上ゲタノデアリマス

○政府委員(堀切善兵衛君) 尙ホ一言申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、物價ノ關係カラバカリ申シマスト云フト、物價ガ非常ニ下落イタシテ、是ガ爲ニ生産者ガ成立タナクナツテ、産業ヲ破産ニ頻スルヤウナ狀態ニナリマスルト云フト、寧ロ是ハ保護ヲ加ヘテ成立ッテ行クヤウニシナクチャナラヌト云フ御議論ニナルノデアリマスルカラ、此保護稅ノ方カラ申シマスト云フト、物價ガ安クナツテ迎モ是ハヤリ切レヌト云フ際ニハ、寧ロ是ハ稅ヲ上ゲナクチャナラヌト云フ傾向ノ方ガ餘計有力ニ働イテ來ルノデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、成程十五年ニ較ベマスト云フト、物價ハ非常ニ今ノ所安クナツテ居リマス、此數字ニ付キマシテハ私今持ッテ居リマセヌカラ、主稅局ノ方カラ申上ゲルコトニ致シマス

○男爵斯波忠三郎君 後デ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) チョット御相談イタシマスガ、商工大臣ガ幸ニ見エテ居リマスノデ、明日又豫算總會ナンカノ方デ御

差支ガ生ジヤシナイカト、實ハ私ハ心配シテ居リマス、此機會ニ商工大臣ヲ中心トシタ御質問ヲ爲サツタ方ガ便宜ヂヤナイカト思ヒマスガ、サウ云フコトニシテ一ツ願ヒタイト思ヒマス

○菅澤重雄君 小麥ノコトニ付テ質問イタシタイト思ヒマスガ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 小麥ノコトハ農林省ノ局長ガチョット見エテ居リマセヌノデスカラ、モウ暫ク御待チニナツタラ如何デゴザイマセウカ

○菅澤重雄君 デヤ宜シウゴザイマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデヤドウ

ゾ商工大臣ヲ中心ト致シマシテ御質疑ヲ成ルベク此際御試ミヲ願ヒタイト思ヒマス

○藤原銀次郎君 商工省ノ御當局カラ承リタイト思ヒマスガ、日本ノ製鐵所ノ能力ト云フモノハドウ位ゴザイマシテ、サウシテ又今日其中デ働イテ居リマスモノハドウ位アツテ、生産制限其他ノ爲ニ即チ製鐵工業ガ引合ハナイ爲ニ休轉シテ居ル能力ハドウ位アリマスカ、ソレヲ承リタイノデアリマス

○政府委員(福田庸雄君) 御答ヘ致シマス、日本ノ製鐵能力ハ大正十五年ノ製鐵業獎勵法改正以來一層増加イタシマシテ、只今デハ朝鮮滿洲ヲ加ヘテ申シマスト、極ク

概數デゴザイマスガ、能力ノ合計ガ約二百十二万噸バカリニナリマス、是ハ一番小サイ爐デ申シマシテ百七十噸、ソレ以上ノ爐ヲ申シマシタノデ、今日ノ狀態ニ於キマシテモ、相當經濟的ニ稼行シ得ル爐ヲ標準トシテ、ソレダケノ能力ニナルノデゴザイマス、只今此中デ働イテ居リマス爐ノ能力ハ約百三四十万噸デゴザイマシテ、休ンデ居ル爐ガ八十万噸位ニナリマス、働イテ居ル爐ノ數ハ十三基、休ンデ居ル爐ノ數ハ九基デゴザイマス

○菅澤重雄君 此製鐵ノ問題デ少シ伺ヒタイノデゴザイマスガ、色々書イタ物ヲ我々ノ手許ニ當業者カラ廻ッテ來テ居ル所ノモノヲ見ルト贊否ニ甚ダ迷フヤウナコトヲ書イテアリマス、元來此印度ノ製鐵ナルモノガ極度ニ日本ニ「ダンピング」ニ行ッテ下ゲテ來タト云フコトガ此原因デハナイカト思ヒマスガ、ソレ等ノ點ニ付テ詳シク其内容ヲお話ナサツタラ私ハ其コトガ、原因ヤ何カ明瞭ニ分ルダラウト思フ、唯單ニ此數字デ現シタ内地ノ數字ガ幾ラデアツテ、外國ノモノガ、印度ノ製鐵ノ一番廉イモノガ是程ト云フコトダケデ、從來ノ獎勵金ノ外ニ關稅ヲ引上ゲテ十圓ト云フ差額ノアルモノダケ保護ヲ與ヘルト云フヤウナ風ニバカリ書イ

テアルノデナク、其内容ノ……印度ノ鉄鐵
ガ非常ニ下、タカラスウ云フ結果ニナツタノ
デ、若シ又印度ガ上ゲテ行、タラドウ云フコ
トニナルカト云フコトノ、能ク其内容ヲ御
説明ガ出来レバ伺ヒタイ

○政府委員(福田庸雄君) 御答へ申上ゲマ
ス、大體御承知ノ通り内地ノ鉄鐵ノ相場ハ
印度鉄ノ輸入價格ト相俟、テ上下イタシマ
スノデ、茲ニ内地ノ鉄鐵市價ノ變動ノ模様
ヲ大體最近ニ二三年ニ互、テ御説明申上ゲ
テ見タイト思ヒマス、鉄鐵ノ市價ハ此鉄鐵
ノ共同販賣組合デ賣出シテ居リマス大量取
引ノ値段ハ、此昭和四年ノ初頭ニ於テハ四
十五圓デゴザイマシタ、デ昭和四年全體ヲ
平均イタシマシテモ尙ホ四十四圓、斯ウ云
フ相場ヲ保、テ居、タノデゴザイマス、ソレ
ガ此輸入鉄ノ下落、輸入鉄ノ相場ノ下落、
詰リ印度鉄ノ競争、又其競争ニ應ズル爲ノ
内地鉄ノ値下ゲ、斯ウ云フコトカラ致シマ
シテ段々低落イタシマシテ、昭和五年ノ初
ニ於キマシテハ其値段ガ四十圓ヲ維持シテ
居リマシタノガ、昭和五年ノ末期ニ至リマ
スト三十五圓、平均イタシマシテ昭和五年
ハ三十六圓、前年ニ比シテ一噸ニ付テ十圓
ノ開キヲ生ジテ居リマス、又昭和五年ト昭
和六年ト比較イタシマスト、昭和六年ノ初

頭ニ於キマシテハ三十圓臺ノ値ヲ維持シテ
居、タノデゴザイマスガ、昨年ノ暮ニ於キマ
シテハ色々爲替相場ノ變動等ニ依リマシテ
非常ニ下落イタシマシタ、二十三圓幾ラト
云フヤウナ數字ニナリマシタ、昭和六年ノ
平均ガ二十七圓ト斯ウ云フ數字ニナ、テ居
リマス、ソレカラ昭和七年ニ至リマシテ、
金輸出禁止ノ影響モゴザイマシテ、稍、相場
ヲ回復イタシマシタガ、尙ホ最近ニ於キマ
シテモ二十五圓、斯ウ云フ相場ニナ、テ居
リマス、ソコデ此鉄鐵ノ關稅ヲ考ヘマス際
ニ、一體印度鉄ノ輸入價格ヲ幾何ニ見テ宜
イカ、斯ウ云フ問題ニ付キマシテ、先ヅ此
昭和七年ノ一月カラ三月マデノ印度鉄ノ輸
入沖著價格ノ平均ニ陸揚諸費用ヲ加ヘタル
數字ヲ加算イタシマシテ、オ手許ニ差上ゲ
テアル數字ノ通り印度鉄ガ日本内地ニ入、
テ來テ幾ラニナルカト申シマスト、一月カ
ラ三月マデヲ平均イタシマシタ數字ガ二十
五圓四十三錢、斯ウ云フコトニナリマス、
ソコデ此二十五圓四十三錢ノ數字ガ果シテ
當ヲ得テ居ルカドウカ、斯ウ云フコトニ付
キマシテハ、私共色々ナ材料ニ依リマシテ、
實際ノ取引デハドウ云フ風ニ行ハレテ居ル
カト云フコトヲ調べマシテ、現ニ昨年ノ春
頃ノ取引ニ於キマシテモ、印度ノ「カルカ

タ」ニ於ケル積出値段、ソレガ二十四「ルー
ビー」、斯ウ云フコトニナ、テ居リマスシ、
其後ニ於ケル相當多量ノ取引モ矢張り二十
四「ルービー」ト云フヤウナ所ヲ基礎ニシテ
行ハレテ居ルト云フ事實ヲ確メマシタノデ、
ソレカラ又最近ニ於キマシテモ之ヲ裏書ス
ル材料ガゴザイマスノデ、先ヅ「カルカツ
タ・エフ・オー・ビー」二十四「ルービー」ト云
フヤウナ所ガ正當デヤナイカ、斯ウ考ヘマ
シテ、ソレカラ推算イタシマシテモ本年ノ
一月カラ三月ノ輸入價格ノ平均ヲ取ルト云
フコトハ決シテ不當デナイ、斯ウ云フ結論
ニ達シマシテ此印度鉄ノ輸入値段ヲ推定
イタシタノデゴザイマス、只今申上ゲマシ
タヤウニ此昭和五年ハ昭和四年ヨリモ十圓
下、テ居ル、又昭和六年ハ五年ヨリモ十圓モ
下、テ居ルト云フ状態デゴザイマシテ、先程
チヨット申上ゲマシタヤウニ、大正十五年以
來ニ於キマシテモ内地ノ製鐵業者ハ非常ニ
其價格ノ……是ハ内地ノ三者ダケノ數字デ
ゴザイマスガ、内地及ビ朝鮮ニ於ケル三大
製鐵業者ノ數字ダケデゴザイマスケレド
モ、大正十五年以來ニ於テ既ニ一千二百万
圓以上ノ設備ノ改良、擴張ノ資金ヲ投ジマ
シテ、太イニ鉄鐵ノ自給自足ノ方策ヲ取ラ
ウト致シマシタノニモ拘ラズ、斯ノ如キ印度

鉄ノ競争ニ依ル値下リデ中ミ採算ガ取レナ
イト云フヤウナ状態ニ立至リマシタノデ、
ソコデ此大正十五年ニ於キマシテハ先ヅ現
在ノ關稅ニ對シテ平均四圓位ノ程度ノ獎勵
金ヲ與レテ置ケバ印度鉄ニ對抗ガ出來ルノ
デヤナイカト云フ風ニ考ヘテ居リマシタケ
レドモ、印度鉄ノ方デ非常ニ値下ラシテ參
リマシタノデ、勢ヒ斯ウ云フ結果ニナリマ
シタノデ、内地鉄ノ生産設備ノ大量擴張ノ
爲ニ内地ノ生産費モ非常ニ下リマシタケレ
ドモ、尙ホ印度鉄ノ著シイ値下ガリニ對抗
イタスコトガ出來マセヌノデ、有餘ル能力
ヲ備ヘナガラ四割以上ノ減産ヲ餘儀ナクサ
レテ居ルノミナラス六十萬噸ノ「ストック」マ
デ擁シテ非常ニ困、テ居ルト云フ状態デゴ
ザイマスカラ、只今内外ノ生産費ノ、市場
價格ノ開キヲ參酌イタシマシテ、此處ニ御
提案申上ゲタ程度ノ稅ヲ盛ルコトガ現下ノ
情勢ニ鑑ミマシテ最モ必要ナコトデナイカ
ト云フ考カラ致シマシテ、此程度ノ稅ヲ決
定イタシタノデゴザイマス

○菅澤重雄君 只今ノ説明デ稍、要領ヲ得
マシタガ、兎ニ角此内地ノ生産費ガ原料、
製造費、間接費ト云フモノデ二十八圓、サ
ウシテ後ハ市場ノ運賃カラ、金利、固定資
本ノ利廻及ビ償却等、其計算ハ三十五圓ハ

十五錢之ヲ基準トシテ印度カラ來タ所ノ三十五圓ト對照シテ、詰リ十圓ニ當ルダケノ差額ヲ關稅ヲ引上ゲタ、斯ウ云フコトデアルト、是ハ消費者トカ或ハ是ニ關係アルモノノコトヲ考慮シテ、此案ヲ出シタノデアアルカ、或ハ唯數字ノ根據トシテヤツモノデアアルカ、斯ウ云フコトヲ考ヘテ見ルト、何レニ方針ガアツカト云フコトヲ私ハ聞イテ居タ、ト云フノハ農村ノ今疲弊困憊シテ居ル狀況、及ビ小麥等ノ關稅引上ト對照スル一ツノ是ハ材料ニナルト私ハ考ヘタ、故ニ其點ヲハッキリ伺ッテ置キタイ、内地ノ生産費ノ一切ノ市場、運賃、金利、固定資本ノ利廻リ償却等迄モ計算シタ所ノモノヲ掲ゲテ、サウシテソレヲ基本トシテ、ソレニ對スル保護獎勵ノ意味ニ於テ關稅ヲ引上ゲタカ、斯ウ云フヤウニ承知シテ宜シイカドウカ

○政府委員(福田庸雄君) 此印度鉄ト日本

鉄ノ競爭力ノ差異ヲ見マスノニハ、印度鉄モ内地ノ消費市場ニ來タ所ノ値段ト、又内地ノ鉄鐵モ、内地ノ消費市場ニ來タ所ノ値段ト、其差異ヲ見ルト云フコトガ、正當デアルト考ヘマシテ、運賃其他ヲ加算シタノデゴザイマス、併シ只今御話ノ通り此鐵ノ値上ト云フヤウナコトニナリマスレバ、一

般ノ消費者ニモ相當ノ影響ヲ及シマスノデ、成ベク其影響ヲ緩和イタシマス爲ニ、現在與ヘテ居ル獎勵金ハ獎勵金其儘ト致シマシテ、尙足ラナイモノヲ最小限度ニ於テ、是ダケノ保護ノ必要ガアルト云フ見地カラ致シマシテ、新タニ増稅ノ基礎ヲ算出シタ譯デゴザイマス、ソコデ市場ノ運賃ト申シマスモノハ、矢張り市場ニ於テ競争スルト云フコトヲ前提ニシテ計算シタラ、ドウシテモ是ハ理論上加ヘナケレバナラヌ分子ダト思ッテ居リマス、ソレカラ金利、是モ矢張り生産費ヲ計算スルニ付キマシテハ、鉄鐵ヲ作ッテソレヲ賣出ス迄ニ、相當ノ運轉資金ガ入用デアリマシテ、ソレニ對シテ相當ノ金利ヲ見積ルト云フコトハ、是亦止ムヲ得ナイコトト存ジマス、ソレカラ固定資本ニ對スル利廻リデゴザイマスガ、是ハ先達以來色々御議論モゴザイマス通り、只今ノ製鐵業者ガ現實ニ投資致シテ居リマス數字ニ對シテ、其固定ノ資本ノ利廻リ見ルト云フコトハ是ハ避クベキコトダト考ヘマシテ、現實ニ此鉄鐵一噸ヲ作ルニ要スル設備費、詰リ現在ノ安イ値段デ、安イ原料ノ値段ヲ基礎ト致シマシテ、此鉄鐵設備ヲ新設スルト致シマシタナラバ、一體一噸當リニ幾ラノ資本ノ固定ヲ要スルカト云フコトヲ計算イ

タシマシテ、約一噸當リ五十圓デ出來ルダラウ、斯ウ云フ數字ヲ出シマシテ、ソレニ對シテ五分ノ利廻リヲ見タノデゴザイマス是ハ苟モ事業ヲヤル、斯ウ云フ以上ハ全然利益ガナイト云フコトヲ前提ニシテノ計算ハ出來ナイノデゴザイマスカラ、矢張り或程度ノ利廻リハ之ヲ見ナクチヤナライ、斯ウ云フ風ニ考ヘルノデアリマスガ、是ハ前述ノ固定資本ニ較ベマスレバ、此利廻ト云フモノハ非常ニ低下スル譯デゴザイマス、又實際問題カラ申シマス、假リニ四圓ノ稅ヲ引上ゲマシテモ、ソレダケ市場ノ價格ガ騰ルト云フコトニナリマスレバ、印度鉄トノ競争狀態ハ現在ト同ジコトニナリマスノデ、ソレ程ノ値上リハ無論出來マセヌ、ソレカラ又現ニ六十萬噸ノ「ストック」ヲ擁シテ居ル、是ハ殆ド民間ノ生産力一年間ノ生産額ニ匹敵スル數量デゴザイマスガ、斯ノ如キ莫大ノ「ストック」ヲ擁シテ居ル、而カモ消費工業モ不況ニアルト云フ狀態ニ於テ、値上ゲヲスルト云フコトモ事實上ハ甚ダ困難ナ問題ダト思ヒマスノデ、實際ニ於テハ印度鉄ガ新タニ課稅サレル關稅ノ大部分ヲ負擔シテ、サウシテ日本ニ對スル競争力ヲ非常ニ減殺イタシマシテ、詰リ印度鉄ノ輸入ヲ抑壓スルト云フ効果ガ主タル效果

デアリマシテ、消費者ニ及ボス影響ハ比較的輕微デ済ムノデヤナイカ、極ク輕微デ済ムンデヤナイカト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

○内藤久寛君 私ハ中島商工大臣ニ伺ッテ見タイト思フノデアリマスガ、衆議院ニ於テハ何カ此案ノ決議ニ條件ヲ附サレアルヤウニ承ハリマシタガ、又其節ニハ商工大臣カラハ何カ御聲明ニナッテ居ルヤウニ承ッテ居リマスガ、大體ノ要領デ宜シイノデアリマスガ、御話シ願ハレレバ大變仕合せデアルト思ヒマス

○國務大臣(男爵山島久萬吉君) 只今内藤君カラノ御尋ネデゴザイマスルガ、是ハ大體新聞紙上ニ報道イタサレテ居ル所ガ事實デゴザイマスガ、衆議院ノ本案委員會ハ段段御審議ノ結果、此案ヲ贊成イタシマスルニ付テ國務大臣トシテ或聲明ヲ要求サレマシタノデアリマス、其聲明案ノ意味ハ、現在本邦ニ於ケル製鐵業ノ徹底的整理及合理化ヲ圖リ、之ヲ合同ニ導キ、以テ生産費ノ低減ヲ期スルヤウニト云フコトデアリマタ、私ハ國務大臣ト致シマシテ此要求ノ意味ヲ聲明イタシマシタ次第デアリマス

○内藤久寛君 衆議院デ條件ヲ附ケタト云フノハドウ云フヤウナ意味ノ條件ヲ附ケタ

ノデアリマス

○國務大臣(男爵)島久萬吉君 條件ト申

シマシテモ詰リ此聲明ヲ要求サレタノデア
リマシテ、今申上ゲマシタ聲明ヲ致シマシ
タニ過ギナイノデアリマス要スルニ是ガ一
種ノ希望條件トナッタデアリマス

○稻畑勝太郎君 内藤君ノ質問ニ關聯シテ
チヨット大臣ニ質問ヲシタイノデスガ……

○委員長(伯爵)兒玉秀雄君 宜シウゴザイ
マス

○稻畑勝太郎君 今内藤君カラ御質問ニナ
リマシタ衆議院ニ於テ希望條件ヲ附ケ、又

大臣モソレニ聲明ヲ御出シニナツタ、私ハ固
ヨリ産業ノ合理化ニハ無論賛成スルモノデ
アリマス、合理化ノ結果或ハ合同モ必要
デ……其場合ニナレバ合同ト云フコトハ必
要デアラウト思ヒマスルガ、今日御質問申
シマスノハ少シ早計デアルカモ分ラヌノデ
アリマス、其場合ニ迫ッテ御質問ヲシテモ宜
カラウト思ヒマスルガ、ソレハ若シモ合同
サレレハ合同サレルト云フコトニナレバ一會
社ニ官有ノ製鐵所及ビ民有ノ製鐵所ガ合同
シテ一ツノモノニナルモノト思ヒマスガ、
サウ致シマスルト我國ノ化學工業ノ原料ト
云フモノハ今八幡ノ製鐵所……官有ノ製鐵
所カラ化學工業ノ原料トシテ公平ニ御分配

ニナッテ居ルノデアリマス、若シモ是ガ他ノ
組織ニ變ルト云フヤウナコトニナリマシタ
ナラバ、矢張り從來ノ習慣ト申シマスルカ
此八幡ノ製鐵所カラ民業ニ原料ヲ自由ニ支
給サレルト云フコトハ大臣ニ於テハ十分考
慮サレテ、新組織モ出來タ曉ニハ其點ハ十
分ニ御考慮ヲ願ヒタイと思フ、然ラザレバ
折角發達シタ所ナリ、發達ノ緒ニ就イテ居
ル所ノ化學工業ノ基礎ヲ危クスルヤウナ杞
憂ガアリハシナイカと思フデアリマスカ
ラ、此機會ニ於テ私ハ大臣ニ其希望ヲ述ベ
テ置ク次第デアリマス

○男爵赤松範一君 今、内藤サンノ御質問
ニ關聯シタコトデスガ……

○委員長(伯爵)兒玉秀雄君 赤松君宜シウ
ゴザイマス

○男爵赤松範一君 私ハ此機會ニ商工大臣
ニ一ツ伺ヒタイと思ヒマスノハ、商工大臣
ハ若槻内閣時代野ニ居ラレテ製鐵業ノ大合
同ニ付テ非常ニ御盡力ニナリマシタガ、不
幸ニシテ一頓挫ヲ來タシテ、其成立ヲ見ル
コトガ出來マセンデシタノハ誠ニ私ハ遺憾
ト思ヒマスガ、今日此商工省ノ大臣トシテ
内閣ニ列セラレタニ付テハ此製鐵業ノ大合
同ヲ如何ニ御進メニナルダケノ御決心ハ尙
ホ今日デモ御有リニナルコトト信ジテ居リ

マスガ、ソレニ付テ此關稅改正ノ斯克澤山
ノ種目ガアリマスガ、其中ノ最モ大キナ間
題トシテ居ルノハ鉄鐵ノ増稅デアル、先ヅ
第一ニ製鐵ノ大合同ヲ圖ッテ、生産原價ノ引
下ゲヲシテ、其上印度鉄鐵ナドノ壓迫ニ依
テ製鐵業ガ獨立シ得ナイト云フ場合ニ於
テ、初メテ此關稅ノ保護ヲ考慮シナケレバ
ナラスコトダト思ヒマス、其點ハ如何ニモ
前後シテ居ルヤウニ考ヘラレル、殊ニ是ハ
本會議デモ御質問ガアリマシタガ、此極メ
テ切迫シタ僅ナ時日ニ於テ、此重大ナ關稅
定率改正法ヲ議決スルト云フコトハ、如何ニ
モ我ミトシテ輕率ノヤウニ考ヘラレマス
ガ、ソレ等ノ邊ニ付テ商工大臣ハ如何御考
ヘデアリマスルカ、御意見ヲ此際伺ヒタイ
ト思ヒマス

○國務大臣(男爵)島久萬吉君 只今赤松
男爵ノ御尋デゴザイマスガ、是ハ昨日モ大
河内子爵ノ御尋ニ對シマシテ私カラ御答辯
申上ゲマシタ所ニ依ッテ、御答イタシマス
外ナイノデアリマスガ、今ノ製鐵業ガ只今
申上ゲル通りニ内容ノ整理ヲ遂ゲマシテ合
理化ヲ圖リ、或ハ之ヲ企業合同ニ導キマシ
テ、先以テ生産費ノ低減ヲ圖リマシタ後ニ
尙且自立ノ見込ガナイト云フ曉ニ於テ、初
メテ關稅引上其他ノ保護ニ依ルモ遲シトシ

ナイデハナイカト云フ御尋ハ誠ニ御正論ト
思ヒマス、私モ事情ガ許スナラバ其正當ノ
徑路ヲ辿ルベキモノト信ジテ居ル一人デア
リマスガ、何分現下ノ事情カラ申シマスル
ト、所謂印度鉄ノ脅威ト云フモノガ極メテ
深刻デゴザイマシテ、ソレガ爲メ滞貨ハ嵩
ミ事業ノ安定ヲ害シテ居ル現狀ニ即シマシ
テ、稍、本末ヲ誤ッテ居ル次第デハアルカ
トモ存ジマセヌガ、先ヅ現狀ノ打開ニ努メ
マシテ、然後ニ斯業ヲシテ徒ラニ國家ノ
恩典ニ世レシメズ、自分自ラノ内容整理ニ
依ッテ生産費ノ低減ヲ圖リ、國家的基礎工業
ト致シマシテ、自立ガ出來マスヤウニ導ク
外ハナイノデゴザイマスルガ、此事情ハ宜
シク御諒察ヲ願ヒタイノデアリマス

○子爵井上匡四郎君 私ハ此材料ニ付テ少
シ御質問シタイノデアリマス、只今頂戴シ
テ居リマス此生産費中ノ各項目ニ各社ト云
フノガアルノデアリマスガ、是ハ滿洲ノ製
鐵業ヲ含シテ意味ノ各社デアリマスカドウ
デアリマスガ、其他我ミガ反對ノ陳情書ヲ
受ケテ居ルノデアリマスガ、之ニ依リマス
ト云フト、製鐵所ノ生産費ハ二十二圓ト
云フコトガ出テ居リマスガ、是ハ政府ノ方
デ矢張り御認メニナリマスノデアリマスガ、
又我ミ迂闊ニシテ現在ノ對米爲替三十一二

第四部第七類 關稅定率法中改正法律案特別委員會議事速記第二號 昭和七年六月十二日

二二

弗ト云フモノハ「ルビー」ノドノ位ニ當ルカ
一向見當ガ付カナイノデアリマスガ、此配
付ヲ受ケタ表ノ中ノドノ邊ノ所ニ現在ノ相
場ガ當リテ居リマスガ、先ヅソレヲ伺ヒタイ

○政府委員(福田庸雄君) 御答ヘ申上ゲマ
ス、此生産費ノ基礎數字トナリマシタノハ、

滿洲ニ於ケル製鐵會社ノ生産費ハ含ンデ居
リマセヌ、内地及朝鮮ニ於ケル御承知ノ四
社ノ實蹟ヲ平均イタシタモノデゴザイマス、
ソレカラ滿鐵ノ鞍山站ノ製鐵所ノ生産費ノ
點デアリマスガ、是ハ或ハ拓務當局ノ御調
ノ方ガ最近ノ材料ニアルト思ヒマスルガ、
我々ノ方デ大體色ミ計算イタシマシタ所ニ
依リマス、只今ノ生産費ヲ基礎ニ致シマ
スレバ内地市場ニ持ッテ來タ場合ニ於キマ
シテハ、此御手許ニ差上ゲテ置キマシタ内
地及朝鮮ニ於ケル各社ノ生産費ニ市場迄ノ
運賃其他ヲ加ヘタモノト大體同ジヤウナ數
字ニナル、斯ウ云フ風ニ承知シテ居リマス、
ソレカラ第三ノ「ルビー」ノ換算ノコトデア
リマスルガ、是ハ最近ノ對米爲替及對英爲
替ノ關係カラ極マルノデゴザイマスルガ、
其時々ノ對米及英米間ノ爲替相場ノ關係ニ
依ッテ色ミ變動スルモノト思ヒマスガ、最
近ノ相場ニ於キマシテ百十五六「ルビー」或
ハ百二十「ルビー」、場合ニ依ッテハ百十五

六ヨリモモット下ニナツタコトモアリマス
ガ、大體最近ノ所デハ百十五六「ルビー」ト
心得テ居リマス

○男爵斯波忠三郎君 商工大臣ガ折角御出
席デアリマスカラ、商工大臣ニ質問ヲ致シ

マス、關稅ノ盛リ方ニ付キマシテノ大方針
ト申シマスガ、確力大正十五年ノ一般改正
ノ時、或ハ其以前デアッタカモ知レマセヌ
ガ、大方針トシテ一ツノ申合セト申シマス
カ、主義ガ定ッテ居リタヤウニ私ハ記憶シテ
居リマス、ト申シマスノハ、ドウ云フコト
デアルカト云フト、我國ノ工業政策ノ根本
義トシテ、内地ニ於テハ加工工業ヲ獎勵シ、
工業原料ノ乏シキ我國ニ於テハ、工業原料
ハ成ルベク外國ヨリ安ク之ヲ輸入スルガ爲
ニ低稅ヲ課スルコトニシ、半加工品ハ其中
間ノ稅率ヲ盛ルト云フヤウナ、所謂甲、乙、
丙ト確力三種位ニ分ケテ、甲ガ一番低稅デ、
五分カラ一割引ク、其次ノ乙ハ一割カラ
二割ヲ引ク、丙ハ二割カラ三割ヲ引クト云
タヤウナ風ニ、加工ノ程度ニ依ッテ關稅ノ切
盛ヲスルト云フコトガ大體ノ方針デアッタ
ト記憶イタシテ居リマスガ、現在モ矢張り
其方針ガ繼續サレテ居ルコトト考ヘマス、
ト申シマスルノハ、我が國ノ工業政策ガ左
樣アルベキ筈デアラカラデアラウト思フノ

デアリマス、ソコデ今回ソレガ矢張り現大
臣ノ御方針デアルヤ否ヤト云フコトヲ先ヅ
以テ伺ヒタイト存ジマスガ、無論サウデ御
アリニナルノダラウト思ヒマス、其方針デ

御ヤリニナッテ居ルコトト思ヒマス、ソレデ
今度ノ關稅改正ニ付キマシテモ、矢張りソ
レガ其主義ガ一貫シテ居ラナケレバナラヌ
ノデアラウト思ヒマス、從ッテ今度ノ稅率改
正ニ於テモ原料的ノモノハ工業的原料或ハ
食料品ノ如キモノハ低稅ヲ盛ルト云フ主義
ニナッテ居ルノダラウト思ヒマス、併シ一ツ
一ツ當ッテ見マスルト、何ダカ其主義、其方
針ニ合致シテ居ルモノモアリ、又合致セザ
ルモノモアルヤウニ思フノデアリマス、殊
ニ只今問題ニナッテ居リマス鐵鐵ノ如キハ、
是ハ先ヅ原料ノ近イモノデアリマスカラ、
此稅ヲ突如トシテ今マデ一圓六十七錢シカ
課カッテ居ナカッタモノガ、六圓幾ラト云フモ
ノヲ課スルト云フノハ、是ハマア特別ノ事
情ガアルカラデアラウト思フノデアリマ
ス、特別ノ事情トハ何ゾヤト言ヘバ、是ハ
重要工業デアッテ、日本ニハドウシテモ國防
上其他ノ關係カラ全減サセテハナラヌ工業
デアルガ故ニ、斯ウ云フ特別ナ保護ヲ、關
稅ノミナラズ、獎勵金マデ出シテサレテ居
ルノデアラウト思ヒマスソコデ是ガドウシ

テモ内地ニ於テ獨立シナケレバナラヌト云
フ上ニ於テ、日本ノ製鐵業ハ内地デ産スル
原料ニ依ッテ居ルノデアルカト云フト、サウ

デナイ、原料ハ全部現在ノ所ニ於テハ外國
カラ輸入シテ居ル、南洋カラ輸入ヲシテ居
ル、鑛石ヲ輸入シテ居ル、釜石ニ製鐵所ガ
設ケラレテ居リマスケレドモ、アレハ彼所
ニ設立シタ當時ニハ釜石ノ鐵ニ依ルト云フ
計畫デアッタノデアリマスガ、逆モサウハ
行カナイ、今デハ矢張り多數ノモノハ南洋
カラ輸入シテ居ルノダラウト思ヒマス、八
幡ノ製鐵所ハ勿論サウデアリマス、ソレデ
其原料トシテドウシテモ外國カラ輸入シナ
ケレバナラヌノデアリマスカラ、是ダケヲ
考ヘテ居リマスルト云フト、内地ノ製鐵業
ハ必ズシモ獨立ト云フ譯ニハ行カナイノデ
アリマス、原料ハ他所カラ貰ッテ居ルノデ
アリマス、併シ滿洲ニ於ケルノハドウカト
云フト、是ハ鑛石トシテハ南洋カラ來ルモ
ノト較ベマシテ、貧弱デアリマスケレドモ、
兎ニ角滿洲ノモノハ我が勢力範圍ニ産スル
鑛石ヲ用ヒテ居ル、ソレデ近頃今朝モ陳情
委員ガ來マシテ、書面ヲ持ッテ來タ物ヲ見
マスと云フト、内地ノ鐵鐵組合ト申シマス
カ、ソシナモノデアリマシタ、彼ノ陳情書
ヲ讀ンデ見マスと、内地デドウシテモ造ラ

ナケレバナラス、ソレガ我國ノ國策デア
ヤウニ書イテアリマス、内地ニ於テ造ラ
ケレバナラス、サウ云フコトニナリマス
ト、北海道ノ砂鐵カ或ハ東北ノ砂鐵ヲ工業
的ニ之ヲ原料トシテ用フルニ非ザレバ其説
ハ成立タヌ筈デアリマス、ソレデ商工大臣
ノ御考ヘテ承リタイノハ、矢張り我が國ノ
工業政策トシテハ、内地ニ於テハ近頃大ニ
發達シタル所ノ優秀ナル技術ニ依リ、高級
ナル加工品工業ヲ主トシテ内地ニ於テ起
シ、而シテ工業的原料ハ成ルベク安ク外國
ナリ、或ハ我が勢力範圍カラ輸入シテ、之
デ加工シテ、サウシテ良イ安イ品ヲ世界ノ
「マーケット」ニ出スト云フコトガ御趣意デ
ナケレバナラスト私ハ考ヘルノデアリマ
ス、其御趣意デアラナラバ、製鉄業ト云フ
ヤウナコトハ、殊ニ此時局ニ際シテ、モウ
少シク内地ト云フヤウナ狭イ範圍デナク、滿
蒙、朝鮮、及び内地ヲ含ンダ合理化ヲ考ヘ
テ戴ク、或ハ合同ヲ考ヘテ戴ク、或ハ原料
加工、其他ノ關係ニ於テ滿鮮内地ト云フモ
ノヲ一緒ニ包含シタル合理的ノ政策ヲ行ッ
テ戴クベキデハナイカト斯ウ考ヘルノデア
リマス、果シテソレデアラナラバ又此關稅
ノ盛リ方ノ如キモ大ニ考ヘベキコトデナイ
カト思フノデアリマシテ、其點ガ根本デア

ルカト存ジマスノデ、幸ニ商工大臣ガ御出
席ニナッテ居リマスカラ、御尋ネ致シタ譯デ
アリマス

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 只今斯波

男爵カラ段々ノ御尋ネガゴザイマシテ、私モ
亦成ルベク原料ハ之ヲ可及的安イ物ニ求
メ、其内地外國トヲ問ハズ、一般ニ日本ノ
工業資料ニ付テハ出來得ル限り廉價ノ原料
計算ニ依ル、而シテ内地ノ加工業ヲ助クル
爲ニハ原料ノ關係ニ於テハ國ノ内外ヲ問ハ
ズ、廣ク大局ノ打算カラ考ヘテ見ルベキモ
ノデアルト云フ點ニ付テハ、私モ原則トシ
テ洵ニ御同感デアリマス、唯製鉄業ノ場合
ニ於テハ如何ニモ極端ナ現狀デアリマシ
テ、只今ノ原則ハ之ヲ認メマス致シマシ
テモ、大體ノ上カラ申シマスルト云フト昨
日モ申上ゲマシタル通り、之ヲ原料ト、之
ヲ原料ト致シマスル加工業トノ關係ハ宜シ
ク共存共榮ノ觀念ヲ基礎トシテ考慮スベキ
モノデアラウト思ヒマスルノデ製鉄業ノ場
合ニ於テハ今日ノ現狀竝ニ鐵鐵價ノ實際
ヲ無視イタシマシテ、専ラ鐵加工業ノ爲メ
ノミヲ圖ラムト致シマシテモ、或ハ及バザ
ルヤウナ憾ミガアルガ爲ニ、已ムヲ得ズ此
原則ニ反シマシテ、今回ノ關稅引上ノ施設
ヲ見ザルヲ得ザルニ至ッタ次第デアリマス、

尙ホ鐵ノ原料ト致シマシテハ、仰セノ如ク
只今ハ多分八幡ナドニ於テ操業ノ關係カラ
致シマシテ、多ク南洋ノ鐵礦石ニ依ッテ居ル
ノデアラウト思ヒマス、御案内ノ如ク、現
在日本ノ製鉄業ガ需用イタシマス原料ノ悉
クヲ内地ニ求メマシテモ、供給不足デア
ルガ爲ニ、勢ヒ滿鮮支那ノ鐵礦石ニ依ラザ
ルヲ得ザルコトデアリマスガ、此點ニ於テ日
本ノ鐵鐵業ガ必シモ獨立安固ノ位置ニ居ラ
ヌト云フコトガ、或ハ言フテ言ハレヌコト
ハナイカ存ジマセヌケレドモ、大體帝國ノ
國防ノ第一線ト致シマシテ、滿鮮支那ヲ包
含シテ居ル全線ヲ國防ノ第一線トシテ守ラ
ナケレバナラス關係ニ相成ッテ居リマスル
ガ爲ニ、此點ニ付テハ先ヅ内地竝ニ第一線
圈内ノ地方ヲ同一視スルト云フコトニ考ヘ
テ行カナケレバナラスト思フノデアリマ
ス、就キマシテハ更ニ進シデ此日本ノ製鐵
事業ヲ大觀イタシマシタ場合ニ、只今男爵
ノ仰セノ如クニ滿鮮支那ヲ一貫シテ居ル見
地ニ付テ斯様ノ將來ヲ考ヘナケレバナラス
ト云フコトニ付テハ、是亦全ク御同感デ
ゴザイマス、昨日モ大河内子爵カラ其邊ノ
御尋ガゴザイマシタカラ、私ハ結局日本製
鐵業ト言ハズ、何レノ産業ニ相當リマシテモ
之ヲ大所高所カラ觀察ヲ致シ、之ヲ將來ノ

形勢ニ付テ考ヘテ見マスルノニ、結局所謂
極東ノ「ブロック」經濟ト申シマスカ、斯ノ如
キ意味ノ見地ニ付キマシテ考ヘナケレバナ
ラスノデアリマシテ、今日世界國際間ノ經
濟時局ニ付テ考ヘマシテ、而シテ其將來ヲ觀
察イタシテ見マスルノニ、結局世界ハ大キ
ナ「ブロック」經濟ニ分レテ參ルコトと思ヒ
マス、其場合ニ於テ我帝國ノ産業ノ基礎ヲ確
立セムガ爲ニハ、勢ヒ極東ノ經濟「プロッ
ク」ト云フガ如キモノヲ定メマシテ、之ニ
依ッテ世界ノ經濟戰ニ對抗シテ行ク外ハナ
イノデアラウカト云フヤウナコトヲ考ヘル
次第デアリマスカラ、我製鐵業ノ將來ニ於
テモ固ヨリ只今斯波男爵ノ仰セノ如ク内
地、滿鮮、支那ヲ包括イタシマシタ見地ニ
付テ、將來ヲ考ヘナケレバナラスト云フコ
トハ全ク御同感デアルノデアリマス

○子爵井上匡四郎君 承ハル所ニ依リマス
ト、今回ノ關稅改正ノ目的デアリマスル所ノ
印度鐵ニ付キマシテ、此印度ノ製鐵所ニモ
日本ノ或者ノ投資ガ相當アルヤニ聞及ンデ
居リマス、政府ノ方ノ御調査ハドウ云フ程
度ニナッテ居リマスカ

○政府委員(福田庸雄君) 御答申上ゲマ
ス、印度ノ鐵鐵業ニ對スル日本ノ投資ハ主
トシテ「バーン」鐵鐵會社ニ對シテ行ハレテ

居ルモノデアリマシテ、其會社ノ資本金總額ハ千五百万圓「ルビー」ト承テ居リマス、其中日本ノ關係ノ投資ガ幾何アルカ、是ハ一部外人名義ノモノニナッテ居ルモノモアルサウデ、其邊正確ニハ判明イタシ兼ネマシガ、相當信憑スベキ材料ニ依リマシテ取調ベマシタ所、大體判明イタシテ居リマス所ハ二百萬圓内外デハナイカト斯ウ云フ風ニ心得テ居リマス

○子爵井上匡四郎君 商工大臣ニ御尋イタシタイデスガ、此投資ハ私ノ聞及ビマシタ所デハ「バーン」製鐵會社ガ設立當時ニ於テ既ニ二十年バカリノ前ト存ジマスルガ、日本ノ製鐵業ガ甚ダ幼稚デアッタ時分ニ、内地ニ安イ鉄鐵ヲ輸入スルト云フ目的ヲ以テ、相當危險ヲ持テ投資シタモノデアルト考ヘラレルノデアリマスガ、之ガ圖ラズシテ現在ニ於テハ却テ日本ノ産業ヲ妨ゲルヤウナ甚ダ面白クナイ結果ヲ來シタト云フヤウニアルノデアリマス、是ハ其當時カラ考ヘマスト云フト、或ハ歡迎スベキ日本ノ海外投資ト考ヘルコトガ出來タノデハナイカト考ヘマスルガ、是等ニ付テ商工大臣ハドウ云フ御見解ヲ御持チデアリマスカ

○國務大臣(男爵山久萬吉君) 井上子爵ノ御尋ニ對シマシテ、私ノ只今ノ御尋ノコ

トニ付キマシテノ感想ヲ一ツ申上ゲテ見タイト思ヒマス、私モ實ハ其投資家トハ個人ニ於テ非常ナ親ミヲ持ッテ居ル者デアリマス、從テ當時ソレ等ノ關係者ガ印度ノ鉄鐵事業ニ向ッテ投資イタシマスルコトニ付テハ深キ同意ヲ表シマシテ、ソシテ話ヲ致シタコトモアルノデアリマス、端ナク今回只今子爵ノ仰セニナリマシタ通りニ、其投資關係ガ日本ノ重要産業ノ危機ヲ誘導イタシマス原因ニ相成リマシタニ付キマシテハ、私ハ公私ノ巷ニ立チマシテ頗ル辛イ想ヒヲ致シテ居ル譯デアリマス、此間中カラ種々ナル陳情ヲモ承リマシテ、ソレ等ノ投資關係ニ對スル私情的ナ感じノ起ラナイ譯デアアリマセスガ、何様此商工行政ノ衝ニ當リマシテ、今回ノ關稅引上ノ問題ニ際會イタシマシタ時分ニ、私ト致シマシテハ所謂大義親ヲ減スル切々ナル痛ミヲ感じテ居ル譯デアリマス、ト申シマスノハ是ハ井上子爵ニ御話シ申上ゲルコトハ如何ニモ釋迦ニ說法デ萬々御承知ノコトデアラレル譯デアリマスカラ、之ヲ申上ゲマスコトモ異ナモノデアリマスケレドモ、暫ク此日本ノ製鐵事業ト云フモノガ國家的ニドウ云フ意義ヲ持ッテ居ルカト云フヤウナコトヲ、此間中考ヘテ居ッタノデアリマスガ、御案内ノ如ク此日本

ノ製鐵事業ト申シマスルモノガ、今日ノ國家的意義ヲ持ツニ至リマシタ事情ハ、今日ヤ昨日ニ發シマシタ譯デハゴザイマセヌノデ、御案内ノ如ク我國ノ製鐵業ハ世界大戰ノ爲ニ刺激致サレマシテ、顧ミレバ大正五年ノ五月デゴザイマシタカ、時ノ農商務大臣ノ諮問ニ應ゼムガ爲ニ、製鐵調查會ト云フガ如キモノガ設ケラレマシテ、或ハ多分子爵モ其委員ノ御一人デアラセラレナカッタカト思ヒマスガ、其調査會ノ審議ノ結果ト致シマシテ、所謂製鐵業獎勵法ト云フモノガ制定セラレルコトニ相成ッタノデゴザイマス、而シテ此製鐵獎勵法ガ制定イタサレマシタ結果、我國ノ製鐵業ハ頗ル盛況ヲ呈シマシテ、殆ド戰前ニ倍加スルノ生産額ヲ產ムニ至リマシタ譯デアリマシタガ、是ガ一朝世界大戰ノ休戰ト相成リマシテ、局面一轉イタシマシテ、斯業ガ忽チ衰微ノ微ヲ現ハシマシテ、業者ニ異常ナル不安ヲ持來スト云フヤウナコトニ相成リマシタ結果、當時或ハ價格ノ調節、輸入ノ制限、或ハ關稅ノ引上等ト云フヤウナ方法ニ依ッテ、斯業ノ救済ヲ叫ブト云フヤウナコトニ局面ガ變リマシタ譯デゴザイマス、其時ニ當ッテ原内閣ノ下ニ、大正十年ノ二月デアラウカト思ヒマスルガ、臨時財政經濟調查會ト云フモノ

ガ設ケラレマシテ、製鐵業ニ係ル根本方策ト云フ題目ノ下ニ、斯業ノ現狀並ニ將來ニ對スル審議ガ開始サレマシタノデアリマス、此時ニ當ッテ、我國製鐵業ノ生産ハ未ダ以テ一般ノ需要ヲ充タスニ足りマセヌノデ、此調査會ハ其時ノ事情ニ鑑ミマシテ、即チ製鐵業、當時ノ事情ニ對シテハ、暫ク此事業ニ保護ヲ與ヘテ其發達ヲ圖ラナケレバナラス、ソレガ爲ニハ一時需要者ニ不便ヲ加フルコトガアラウトモ、ソレハ國家將來ノ福利ヲ持來スベキ徑路ト致シマシテ、誠ニ已ムヲ得ザルコトデアルカラ、此際ハ官民一致シテ我が鐵鋼ノ自給自足ヲ圖ル爲ニ、大ニ努力ヲシナケレバナラヌト云フ決議ヲ答申ヲ致シマシタニ付キマシテ、其際若干ノ關稅引上ヲ行ッタト云フ譯デアリマス、其後大正十三年ノ年末デアリマシタト思ヒマスガ、又政府内ニ製鐵業調査會ト云フモノガ設ケラレマシテ、此調査會デハ先以テ我國ノ製鐵業ガ果シテ經濟的ニ成立チ得ベキモノデアラカドウカト云フヤウナ研究ヲ始メマシタノデアリマシタガ、其研究ノ結果我國ノ製鐵業ハ之ヲ自立セシムベキ可能性ハアルケレドモ、今日ノ如ク徒ニ救済保護ト云フガ如キモノヲ目的トシテ考ヘルコトニナルト、到底斯業ノ永遠ノ

國策ヲ確立スル所以デナイ、之ガ根本方策ヲ立テンガ爲ニハ、斯業自體ガ其内容ノ整理ト作業ノ向上ヲ圖ツテ、尙ホ進シデハ八幡製鐵所ヲ中心トシテ、官民一體ノ合同事業ニマデ進メナケレバナラヌト云フヤウナ意味ノ答申ヲ致シマシテ、此時初メテ製鐵業ノ合同案ト云フモノガ世間ニ現ハルルニ至ッタノデアリマス、政府ハ此調査會ノ答申ニ基キマシテ、大正十五年銑鐵ニ對シテ關稅ヲ引上グベキ案ヲ考ヘマシタガ、當時ハ印度ノ報復ヲ恐レマシタ爲ニ、已ムナク補助金交付ト云フ制度ヲ設ケマシテ、關稅引上ノ方法ニ代ヘマシテ、唯鋼ニ付テ現行ノ關稅引上ヲ行ヒマシタ譯デアリマス、ソレト共ニ矢張り斯業合同ノ一助ト致シマシテ、官民同業者カラ成ル所ノ鐵鋼協議會ト云フヤウナモノガ開設セララルコトニ相成ッタノデアリマス、ト云フヤウナ徑路ヲ經マシテ、製鐵事業ト云フモノハ一種ノ國家的意義ヲ有ツタ事業ト致シマシテ、即チ他ノ一般工業ト異、タ取扱ヲ國家カラ受ケテ居ルノデアリマス、而シテ之ヲ受クル所以ノ事情モ亦自カラ明白デアリマスルノデ、今日ニ於テハ業者ガ厚キ國家ノ保護ニ慣レマシテ、稍、其内容ノ整理ヲ怠、テ居リハセヌカト云フヤウナ觀察モ、下シテ下サレヌコ

トハナイノデアリマスルケレドモ、何様累年ノ悲境ヲ閱シマシテ、業者モ已ムナク其内容ノ整理ヲ圖ツテ、生産原價ノ低減ニ努メテ居ルヤウデアリマスル、殊ニ輪西ヲ初メ兼二浦、釜石ト云フガ如キ所デハ、ソレゾレ最近ニ至リマシテ新ニ千數百萬圓ノ資本ヲ投ジテ、設備ノ改善ヲ圖リ、作業能率ノ向上ニ努メテ居ルヤウナ狀況デアリマシテ、必シモ業者ガ其爲スベキヲ爲サズシテ、徒ニ政府ノ保護ニ慣レ晏如ト致シテ居ルト云フ譯デハナイノデアリマスルガ、同時ニ業界ノ大勢ハ差當リ印度銑ノ脅威ト國際經濟ノ行詰リ等ニ際會致シマシテ、殆ド何等カ新ナル局面ニ向ッテ現狀ヲ打開シテ行カナケレバナラヌ窮狀ニ沈淪致シテ居ルノデアリマス、即チ自家ノ反省ニ俟ッテ此難局ヲ切開イテ行カナケレバナラヌト云フ事情デハアリマスルケレドモ、元々國家ガ他ノ加工工業ト異、タ見地ノ下ニ事業自立ヲ援助イタシテ參リマシタ關係上、是ハ國家ト致シマシテモ業者ヲ鞭撻イタシマシテ、出來ルダケ此上國家ノ保護ニ馴レシメザルコトヲ努ムルト同時ニ、又彼等ガ自立向上ノ一路ニ向ッテ進ンデ行クヤウニ鞭撻ヲ加ヘナケレバナラヌコトニ相成ッテ居リマスノデアリマスカラ、私ハ如何ニモ四圍ノ事情ニ

付テハ公私切ナイ考ニモ相成ル譯デアリマスケレドモ、兎モ角モ國家ガ、今申上ゲマシタ通りニ、力ヲ舉ゲテ獎勵保護ヲ致シタ此事業ヲ、有終ノ美ヲ濟サシムベク努力スベキコトガ、又國家ノ義務デアラウト思フガ爲ニ、暫ク各種ノ事情ニハ瞑目イタシマシテ、此一路ニ邁進イタシタイト考ヘテ居ルノデアリマス、此事情ハドウゾ御諒察ヲ願ヒマス

○子爵井上匡四郎君 只今商工大臣ノ内地製鐵政策ニ對スル縷々御話ヲ承ハリマシテ、御話ノ通り官民協力ノ結果今日ノ發達ヲ得タト云フコトハ、國家トシテ慶賀ニ堪ヘヌ次第デアアルノデアリマスルガ、併ナガラ又此國家ノ政策ハ斯ノ如ク確定セザリシ以前ニ於テ、矢張り是モ國家ニ利益ヲ與ヘル目的ヲ以テ、海外ニ相當ノ投資ヲシ、其投資ノ目的ハ、其目的ニ於テハ成功シテ居ルモノデアアルノガ、一旦國家ノ政策ガ變リマシタ爲ニ、非常ナ打撃ヲ受ケルト云フコトハ、是ハ將來國民ノ海外發展ノ上カラ考ヘマシテモ、政府トシテモ御考慮ヲ要スルコトデハナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、商工大臣ハ私情ニ於テハ忍ビザル所ハアルガ、暫ク涙ヲ吞ンデ國家ノ爲ニ犠牲ニスルヨリ仕方ガナイト云フヤウナ御考ノヤウデ

アリマスガ、是ハ商工大臣ノ御考トシテ承ハッテ置キマス、次ニ製鐵業ト關聯シテ當然考ヘナケレバナライモノハ、石炭業デアルト考ヘルノデアリマス、此戴キマシタ表ニ、生産費ノ直接費ノ中デ、二十八圓ト云フヤウニ、二十二圓、八割バカリト云フモノハ原料費デアリマス、此原料費ノ中ノ又大キナ部分ハ、是ハ石炭デアルト考ヘルノデアリマスガ、此鞍山ノ製鐵所ノ二十二三圓ト云フコトハ、大體御認メニナッタヤウナ風ニ聽取リマシタ、此二十二三圓ト二十八圓ノ間ニ於テハ、主トシテ原料費ト云フモノニ於テ是ガ出來ルノデアラウト思ヒマスルガ、若シ内地ノ石炭ヲ非常ニ安クスルコトガ出來シタナラバ、或ハ内地ノ製鐵業ト云フモノハ、又違ッタ形ヲ茲ニ取ッテ來ルノデアリカト云フ考モ起ラナイデハナイカト思ヒマス、要スルニ此鞍山製鐵所ノ二十二圓ト云フモノノ内容ヲ茲ニ御示シ下サレマシタヤウナ生産費分ケニシテ、項目分ケニシテ御示シテ願フト云フト、餘程ソレハ參考ニナリマスダラウト思ヒマス、又此原料費ノ二十二圓ノ細目ニ付テ御指示ヲ仰ギタイノデアリマス、次ニ又現在ノ鑛業界ト云フモノハ、空前ナ、世界的ナ萎靡ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、屢、炭鑛業者ニ於テモ

悲鳴ヲ日夜懸ヘラレテ居ルノデアリマス、

是等ノ炭鑛業ニ於キマシテモ、又其他ノ多

クノ鑛業ニ於テモ、茲ニ計算サレテ居ルヤ

ウナ金利デアリマシタナラバ、固定資本ニ

對スル利廻リノ償却ト云フヤウナモノヲ、

此産業ノ悲惨ナ場合ニ綽々トシテ餘裕ヲ

持ッテ營業シテ居ルモノト云フモノハ、何レ

ノ鑛業ニ於テモ、産業ニ於テモ、非常ニ少

イノデハナイカト思ハレル、製鐵業ト最モ

密接ナ關係ヲ持ッテ居リマスル炭鑛業ニ付

キマシテ、大體標準的ナ生産費ト云フモノ

ヲ御示シヲ願ヒタイト思フノデアリマス、

而シテ其生産費ガ市價ニ於テ斯ノ如ク金利

固定資本、償却ト云フヤウナモノヲ支拂ッテ

居ルノデアルカドウカ、大體ノ標準的ノモ

ノヲ御示シヲ願ヒタイト思ヒマス、若シ出

來マスナラバ、ソレガ滿洲ニ及ビマシテ滿

洲ノ狀態ヲモ御説明ヲ願ヘレバ結構ト思ヒ

マス

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 井上子爵

ノ前回ノ御尋ニ對シマシテ、チヨット補足ヲ

致シテ置キマス、只今重ネテ御言葉ガアリ

マシタガ私が前段申上ゲマシタノハ、私自

身ガ公ケノ立場カラ申上ゲマシタノデアリ

マシテ、若夫レ私ノ立場カラ申上ゲマセ

マスル二百萬圓内外ノ資金、此資金ヲ關係

者ニ於テ善後ノ處置ト致シマシテ考ヘベキ

餘地ガ多クアラウト思ヒマス、私モソレ等

ノ人ヲ知ッテ居リマスルガ故ニ、自分トシテ

モ其考ヲ申シテ見タイト思ウテ居ルノデア

リマスルガ、ソレハ印度ノ鉄鐵ヲ必シモ日

本ニ輸入イタシマセヌデモ、之ヲ世界ノ市

場ニ求メテ必シモ其餘地ナキニアラズト思

ヒマス、又其關係シテ居リマスル印度ノ鉄

ヲ原料ト致シテ、内地ノ鋼ノ加工業ヲ起ス

ト云フコトモ考ヘラレル、私自身私ノ立場

カラ考ヘマスレバ色々此二百萬圓ノ投資ノ善

後處置ト致シマシテハ、色々考ヘラレルコト

ガアラウト思ヒマスカラ、ソレハ別途ニソ

レ等ノ人ノ爲ニ考ヘテ見タイト思ウテ居ル譯

デアリマス、ソレデ先ニハ公ノ立場カラ、

今度私ノ立場カラチヨット御尋ニ對シマシ

テ御答辯ヲ申上ゲテ置キマス

○政府委員(福田庸雄君) 只今御尋ネニ與

カリマシタ鉄鐵ノ生産費ノ内譯ニ付キ、原料

費ヲ幾ラニ見テ居ルトカ云フ點ニ付テ御答ヲ

申上ゲマス、原料費ハ御手許ニ差上ゲマシ

タ材料ニ依リマシテ總計二十二圓トナッテ

居リマスガ、此内ニ鐵鑛ノ費用ヲ九圓六十

錢ト見積リテ居リマス、ハ鐵鑛ノ一噸當リ

噸ヲ製造スルノ必要スル鑛石ノ數量一六噸

ト斯ウ云フ風ニ見テ九圓六十錢、斯ウ算出

イタシマシタ「コークス」ニ付キマシテハ、

其鉄鐵ヲ一噸造リマスノ必要スル「コーク

ス」ノ使用數量ヲ〇・九五噸、一噸弱ト見テ

居リマス、サウシテ「コークス」ノ單價ハ十

二月ニ見積リテ居リマス、サウシテ「コーク

ス」ヲ製造スルニ必要ナ石炭ノ單價ハ約七圓

五十錢、斯ウ云フコトニ致シテ居リマス、

サウシテ「コークス」製造ノ際ニ生ジマスル

副產物ノ値段ハ、此「コークス」ノ値段カラ控

除イタシマシテ、結局其副產物ノ値段ヲ控

除イタシマシタ「コークス」ノ鉄鐵一噸當

リノ使用量ニ對スル値段ガ十一圓四十錢、

斯ウ云フ風ニ見テ居リマス、ソレカラ石灰

石其他ヲ約一圓、斯ウ云フ風ニ見テ居リマ

ス、ソレカラ其他ノ費目ハ、作業費、動力

費三圓五十錢、修繕、償却……作業費、動

力費ガ三圓五十錢、ソレカラ營業費ヲ約二

圓五十錢、斯ウ云フ風ニ見テ居ルノデアリ

マシテ、此金額ガ約二十八圓ニナッテ居リマ

スガ、原料費ダケデ申シマス、只今申上

ゲマシタ中ノ鐵鑛ト、「コークス」ト、石灰

石其他デ、ソレダケデ二十二圓ニナルノデ

ゴザイマス

ハドウナル……ト呼ブ

○政府委員(福田庸雄君) 内地ノ石炭ノ生

產費其他ニ對スル御尋ネデアッタト存ジマ

スガ、其石炭ノ生産費ハ、御承知ノ通り其

山ノ機能、又炭層ノ狀態其他ニ依ッテ色々ニ

變化イタシマスノデ、ソレヲ全國ニ互リマ

シテ正確ニ算出イタシマスコトハ甚ダ困難

ダト存ジマス、大體其主ナル山ノ最近ニ於

ケル生産狀態カラ推シマシテ、調査イタシ

マシタ結果ニ依リマス、是ハ九州ト北海

道ト又相違ガアリマスガ、山元ニ於キマ

シテ五圓十五錢位ニ付イテ居ルヤウニ推算

イタシテ居リマス、是ハ戰前前ノ……從前

ヨリ餘程高クナッテ居リマスガ……歐洲大

戰前ヨリモ餘程高ク付イテ居リマスガ、御

承知ノ通り石炭ノ生産費ニ於テハ勞銀ガ過

半ヲ占メマスノデ、其勞銀ガナカノ舊ニ

復セナイノガ此山元生産費ノ騰貴シタ……

他ニモ原因ガアリマスガ、ソレガ主ナル原

因デアルト考ヘテ居リマス、ソレカラ市場

ニ持ッテ參リマシテ、此山元デ五圓幾ラノ炭

ガ市場ニ持ッテ來ドウナルカト、斯ウ云フ

コトヲ申シマス、是モ山ノ位置ニ依ッテ

色々違ヒマスガ、大約、假ニマア横濱マデ

持ッテ來ルト致シマシテ、色々ナ費用ヲ計算

ナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス、是モ其内汽車賃トカ云フモノハ戦争前ニ比ベマスレバ約倍ニナッテ居リマスシ、ソレカラ港ニ於ケル積込、積卸等ノ諸費用ハ、是モ勞銀ガ矢張り大部分ヲ占メテ居リマシテ、ソレガ思フヤウニ下リマセヌ爲ニ、相當戰爭前ニ比シテ高クナッテ居リマスノデ、此程度ノ市價ハ誠ニ已ムヲ得ナイノヂヤナイノカト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居リマス

(子爵井上匡四郎君「滿洲ノ……」ト呼フ)

○政府委員(福田庸雄君) 滿洲ノ石炭ニ付キマシテハ、何レ拓務當局カラ又御話ガ……拓務當局ノ方ノ説明ノ方ガ宜シイダラウト思ヒマスガ、私共ノ見マス所デハ、大體ノコトヲ申上ゲマス、此撫順炭ガ内地ニ参リマス値段ハ、撫順炭ノ山元ノ費用ハ無論内地炭ニ比シテズト低イト思ヒマスガ、運賃其他ノ諸掛リヲ加算イタシマシテ、内地ニ持ッテ参リマス際ニハ、只今申上ゲマシタ内地ノ炭ト大差ハナイト云フヤウナ數字ニ相成ルヤウニ承知イタシテ居リマス、委細ノコトハ拓務當局カラ御聴取リヲ願ヒタイト思ヒマス

○政府委員(北島謙次郎君) 鞍山鉄ノ原價ニ付キマシテ大體御説明申上ゲマス、原料

費ハ十八圓六十八錢六厘、全體ニ於キマシテ……サウシテ其内デ燒結鐵ガ一噸ニ付キ四圓三十錢五毛、鐵礦石ガ三圓六錢、ソレカラ「コークス」ガ九圓二錢五厘、石灰石ガ一圓八十五錢、ソレカラ作業費ト致シマシテ全體デ二圓七十錢バカリニ計上シテ居リマス、其内譯ハ餘リ細カクナリマスノデ省略シテ置キマス、ソレカラ總掛費、是ハ間接費、是ハ一圓四十六錢八厘、ソレカラ償却費ト致シマシテ三圓二十三錢五厘、ソレカラ特別給與費一圓四十三錢五厘、合計イタシマシテ支出二七圓五十二錢七厘、之ニ對シマシテ收入ガ多少アリマスガ、ソレヲ差引イタシマシテ、差引鞍山ニ於ケル製鐵ノ原價ガ二十四圓三十二錢、是ハ昭和六年度ノ滿鐵ノ決算ニ依ル數字デゴザイマス、是ハ、内地ニ持ッテ参リマス場合ニハ、更ニ運賃其他ノ費用ガ必要ナ譯デアリマス、サウ云フモノヲ合算イタシマス、合計三十五圓五十七錢一厘ト云フコトニナッテ居リマス

左様御承知ヲ願ヒマス

○男爵赤松範一君 私ハ今井上子爵ガ御尋ネニナリマシタ生産原價ニ付テ、チヨットモウ少シ御尋ネシタイト思ヒマス、間接費二圓五十錢ト云フノヲ今マデ上ゲテアリマスガ、此間接費ト云フノハ、ドウモ非常ニ割合ガ多イヤウニ思フノデスガ、御調べノ方法ハ、ドウ云フ所ニ據ッテ居リマスルカ、ソレヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス、尙ホ井上子爵ガ今仰セラレタ通り、固定資本ニ對スル利廻若クハ此償却ト云フノハ、是ハ新規ニ此事業ヲ起スヤウナ場合ニハ、是ハ當然生産原價トシテ、計上シナケレバナラヌモノデアリマスケレドモ、今日現存シテ居ルモノヲ唯維持シテ行クト云フノニ今日ノ財界ノ總テノ状態ハ、中ミ資本ニ對スル利廻ナドヲ計算シテ居ラレルヤウナ場合デナイノデスカラ、鉄鐵ノ生産原價トシテ資本ニ對スル利廻若クハ償却ヲ計上サレルト云フコトハ、此場合ハ穩カデアアルマイカト私ハ考ヘマス、兎ニ角此間接費ノ取調ノ内容ヲ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(福田庸雄君) 其間接費ノ内容ニ付テ御答ヘ申上ゲマス、其間接費ニ二圓五十錢ト計上イタシマシタノハ、民間各社ノ實績ヲ標準ト致シマシタノデゴザイマシテ、此内譯ヲ申シマス、營業費ガ一圓ト、ソレカラ工場ノ諸掛ガ一圓五十錢ト斯ウ云フ標準ニナリマス、ソレカラ此固定資本ニ對スル利廻ニ對スル御意見デゴザイマスガ、是ハ現下ノ情勢ニ鑑ミマシテ、又御尤モナ御意見ダト承知イタシマスガ、此點ニ

付キマシテハ先程申上ゲマシタ通り、此會社ノ現在ノ投下資本ニ對シマスレバ、假ニ値上リヲ生ジマシテモ利廻ハ非常ニ低クナリマス、況ンヤ此實際ニ於テ鉄鐵ノ時價ヲ引上ゲルト云フコトハ、頗ル困難ナ事情ニアリマスノデ、實際問題ト致シマシテハ、恐ラク斯ウ云フ計算ニ依リマシテ、鉄鐵ニ對スル稅ヲ加重イタシマシテモ、今マデ非常ナ赤字ヲ出シテ居ラタ會社ガ其收支ガトントンニナレバ、先ヅ上々ト云フヤウナ所デヤナカラウカト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、此生産費ノ出シ方ト致シマシテハ、觀念上苟モ事業經營ヲスルノニ、全然利益ヲ見ナイト云フヤウナコトヲ前提ト致シマシテ、事業ノ生産費ヲ算出スルノハ、却テ合理的デアアルマイト、斯ウ云フ考カラ致シマシテ、一應斯ウ云フ算盤ヲ出シタト云フコトニ相成ルノデアリマス

○森平兵衛君 商工大臣ガ御出デニナリマスノデ、商工大臣ニ御尋ネヲ致シマス、昨日モ豫算總會デ輸出ニ對スル、輸出獎勵ニ對シマスル商工大臣ノ御方針ヲ承ツタノデ、誠ニ力強ク考ヘテ居ル次第デアリマス、先ヅ第一ニ御尋ネヲ致シタイノハ、前刻カラ質問應答ヲ承ハリマス、内地製鐵業ハ、國ノ基礎工業、國防上ニモ必要デアルト云フ

コトヲ續々御話シニナッテ居リマスガ、私共モ之ニ付テハ、勿論賛成、是ハ是非保護シテ、以テ立ッテ行カナケレバナラヌト云フコトヲ考ヘル一人デアリマス、内地ニ相當ノ製鐵事業ガ出來ル爲ニ、印度ノ輸入鉄鐵ニ於テモ、例ヘバ「ダンピング」ヲ致シマシテモ、廉ク輸入出來ルモノト心得テ居ルノデアリマス、當業者ノ方カラ聞イテ見マスト、昨年ハ印度鉄鐵ガ約十五万噸バカリヨリ輸入ヲシナカッタヤウニ聞イテ居ルノデアリマス、今年ハ爲替ノ關係トカセノ關係デ是ヨリハ餘程減ルドラウト云フヤウナ見込ダト云フヤウニ當業者ハ申シテ居ルノデアリマス、之ヲ事實トシテ御質問ヲスルノデアリマスガ、若シモ是ガ違テ居リマシタラ、ドウカ御許シヲ願ヒタイト思ヒマス而シテ之ニ對スル十五万噸ニ對シテ今回約一噸ニ四圓二三十錢ノ増稅ヲスル、關稅ノ引上ヲスルト云フコトデアリマスカラ十五万噸ト云フコトヲ標準ニシマスレバ關稅ノ引上ハ六十萬圓餘リニ過ギナイト思フノデアリマス、私ハ前刻大藏當局ニモ御質問イタシマシタノデアリマスガ、斯ノ如キ短期ノ議會ニ國家ノ産業ト重大ノ關係ノアル輸入稅率、從量稅率ノ引上ヲスル、關稅ノ引上ヲスルト云フコトハ餘程御考慮ニナッ

テハドウデアルカ、寧ロ通常議會マデ御延期ニナッテハドウダト云フコトヲ申シテ御質問シタノデアリマスガ、大藏當局ノ御話デハ是ハ待テナイ、六ヶ月、七ヶ月ノ間デアルガ、各國ガ關稅ノ障壁ヲ設ケテ各、自國ノ産業若クハ自國ノ財政ノ確立ヲ期シテ居ルカラ日本モ躊躇スル譯ニイカヌ、一刻ヲ爭フモノダカラ短期ノ臨時議會ニ提出シタト云フ御答辯デアッタノデアリマス、併シ商工大臣トシテ既ニ此内地ニ六十萬噸ト云フ製鐵ノ「ストック」ガアルト云フコトヲ前刻カラ承ハルノデアリマス、ソレデ此六十萬噸ヲ處分スルト云フコトニ付テモ相當ノ期間ヲ私ハ要スルト思フ、然ルニ此短期間ノ臨時議會ニ鉄鐵ノ關稅ヲ引上ゲテ直グニ之ヲ防止セヌケレバナラヌト云フ緊急ヲ要スル點ガ何處ニアルカト云フコトヲ私ハ誠ニ了解ニ苦シムノデアリマス、必ズ此法案ガ兩院ヲ通過シマスレバ直グ公布、御實施ニナルモノト思フノデアリマスガ、サウスルト其六十萬噸ト云フモノハ非常ナ保護ヲ受ケテ直グニ相當ノ値上リヲスルモノダト私ハ思フノデアリマス、此事ニ付テ各社ガドウ云フヤウナ「バランス」ノ上ニ値段ヲ計上シテ居リマスカソレハ存ジマセヌ、存ジマセヌガ、直グニサウ云フコトニナッテ參リ

マスレバ此鐵製品ノ輸出ヲ阻害スルヤウナコトニナリハセヌカ、殊ニ此鐵製品ノ重モナモノハ鐵管トカ、大キナモノハ別デアリマスガ、小サイモノノ鐵製品ハ御承知ノ通りニ或ハ珐瑯鐵器ダトカ、或ハ其他電氣器具トカ、又ハ機械トカ、金物ノ小サイモノトカ云フヤウナモノハ殆ド中小工業ニ屬スル部分ガ多イノデアリマス、之ヲ保稅倉庫ヘ持ッテ行ッテ直グニ其處デ加工ヲシテ出スト云フコトハ出來ヌノデアリマス、ノミナラズ此鉄鐵ヲ使用スル者ニ付テハ、其他ニ或ハ國家ノ保護或ハ獎勵金或ハ免稅ト云フモノガ相當アルノデアリマスガ、一方ニ於テ是ダケノ關稅ガ又上リマスレバ非常ニ私ハ輸出ヲ阻害スルコトニナリハセヌカト斯ウ考ヘルノデアリマス、此點ニ付テ商工大臣ハ輸出ヲ獎勵セヌケレバナラヌト云フコトニ於テ一方御苦心ニナッテ居ルニ拘ラズ、昭和六年度ニ於キマシテハ約二千三百万圓或ハ昭和五年度ニ於キマシテハ二千五百万圓バカリノ此鐵製品並ニ機械類ニ於テ輸出ガ出テ居ルノデアリマス、非常ニ重大ナル輸出工業ト申シテ宜シイ、其中ノ大部分ガ中小ノ工業ニシテ之ヲヤッテ居ル、其中ノ金高ガドノ位ニナリマスカ分リマセヌガ、中小ノ商工業ヲ何カ救済セヌナラヌ、

保護セヌナラヌト云フ時ニ於テ此短期間位ガ待テヌ理由ガドウシテモ私ニハ見出ダスコトガ出來ヌノデアリマス、此點ニ於テ商工大臣ノ御高見ヲ承ハリタイト思フノデアリマス
○子爵片桐貞夫君 チョット關係イタシテ居リマスカラ序ニ御質問シテ一緒ニ御答辯ヲ願ヒタイ、唯今森君ノ御質問ニ對シテ關聯イタシテ居リマスガ滿洲ノ鉄鐵ニ對シテ生産費ガ三十五圓六十七錢一厘ト云フコトデアリマスガ若シ此關稅ガカカルモノト致シマスレバ如何様ニナルカ又承ル所ニ依リマスレバ現今滿蒙政策、色々問題ガアルノデアルカラ何カ外ノ方法ヲ以テ之ヲ保護ヲスルト云フヤウナコトニ、ソレハイカヌノデアリマスガ、ソレヲ伺ヒタイト思ヒマス
○國務大臣(男爵中島久吉君) 森君ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、是ハドウモ銘々ノ觀察ニ依ル次第デアリマスルノデ、森君ノ御尋ガ果シテ當ヲ得テ居ルカ私ノ見方ガ誤テ居ルカト云フヤウナコトハドウモ之ヲ事實ニ徵シテ後ニ知ル外ハナイノデアリマスガ、私ノ見ル所デハ此十五萬噸ノ印度鉄輸入ト云フコトハ成程額ニ於テハ即チ十五萬噸デアリマシテ、是亦年來漸減ヲ致シテ居ルノデアリマス、併シ此十五萬噸ノ印度鉄鐵

ノ爲ニ拂ヒマスル、内地鉄ノ犠牲ト云フモノハナカ／＼ヒドイノデアリマス、要スルニ印度鉄ノ移入ガ漸次低減ヲ致シテ居リマスル事實其コトガ印度鉄カラ蒙リマスル壓迫ヲ物語ルモノデアリマシテ、其事情ヲ一日モ早ク免除イタシマスルコトガ國家ノ爲ニ必要ナリト斯ウ云フ觀察ニ達シマシタノデアリマス、而シテ此鉄鐵關稅ノ引上ノ結果鉄鐵ガ上ガリ延イテ中小工業ノ所産デアルソレ等ノ輸出品ノ方ニモ及ブト云フヤウナ點ニ付キマシテハ、私ハ必シモ今回鉄鐵ノ引上ノ程度ニ鉄鐵ノ時價ガ上ガルト思ッテ居リマセスガ從テ之ヲ原料ト致シマスル中小輸出工業ニハ左程ノ影響ハナイモノデアルト斯ウ思ッテ居リノデアリマス、是ハ只今劈頭ニ申上ゲマシタ通り要スルニ見方ニ依ル譯デアリマスカラ、唯私がサウ云フ考ヲ持ッテ居リマスト云フコトヲ以テ御答辯ニ代ヘタイト思ヒマス

○政府委員(北島謙次郎君) 只今、今度ノ鉄鐵關稅引上ニ伴ッテ滿洲産ノ鉄鐵ニ當然關稅ノ増加額ダケ餘計課スルコトニナルカラ、ソレダケノ代價ガ加ハル譯デアルカラ之ニ對シテ何カ考慮シテ居ルカト云フ御質問ノヤウデアリマス、内地ノ鉄鐵ノ生産費ハ御手許ニ商工省カラ差上ゲテアリマスル

通り一噸ニ付テ三十五圓六十五錢見當ト云フコトニ相成ッテ居リマス、鞍山ノ鉄鐵ニ付キマシテモ先程申上ゲマシタ通りニ三十五圓五十七錢一厘ト云フコトニナッテ居リマシテ、内地ニ於ケル……内地ノ鉄鐵ト内地ニ於ケル滿洲ノ鉄鐵ノ到著ノ價格トハ略、現在ニ於テハトシ／＼ノ狀態ニ在ルノデアリマス、從テ今度關稅ガ一噸ニ付テ四圓三十三錢バカリ増稅ニナリマスレバソレダケ大體ニ於マシテ、生産者側ニ取リマシテ不利益ニナルト云フ風ニ一應考ヘラレルノデアリマス、從ヒマシテ此關稅ニ依ル負擔ノ増加ヲ何等カノ方法ニ依ッテ輕減スル必要ガアルデアラウト云フコトハ政府ト致シマシテモ十分考慮イタシテ居リマス、昨日豫算總會デモ實ハ應答ガアツカト思ッテ居リマシタルガ、次ノ通常議會ニ於テハ必要ナル經費ヲ豫算ニ計上イタシマシテ、要求スル運ビニナルデアラウト考ヘテ居リマス

○森平兵衛君 商工大臣ニモウ一度御尋ヲ致シマスガ、只今ノ御答辯ハ要スルニ觀察ノ……觀方ニ依ッテサウ考ヘラレルモノダト云フヤウナ御意味ノ御話デアリマシタガ、ソレモ承ハッテ置クコトニ致シマスガ、私ハ既ニ此「ストック」ガ六十萬噸アリ、六箇月ヤ七箇月デ是タケノ保護ヲ加ヘ、ナクテモ内地ノ製鐵業ガ是ガ破滅ニ陥ルコトガナイト云フ私ハ觀方ヲ持ッテ居ルノデアリマス、十五萬噸ニ對シテ非常ニ脅威ヲ受ケルト云フコトハ、是ハ私モ脅威ヲ受ケルト云フコトハ申上ゲルノデアリマセスガ、唯私ハ斯ウ云フヤウナ重大ナル問題ヲ此短期間ニ審議ヲスルト云フコトノ理由ヲ見出スノニ困ル譯デアリマスガ、此以上申上ゲルコトヲ見合ハスコトニ致シマシテ、モウ一點御尋ヲ致シマスルコトハ此鉄鐵竝ニ銅材ノ、是ハ從量稅ノ三割五分値上リデアリマスガ、斯ウ云フモノノ關稅ノ増率ノ爲ニ或ハ鐵道省トカ、陸海軍省ト云フヤウナモノニ相當此鐵鋼ヲ材料トシテ御使ヒニナッテ居リマスルガ、斯ウ云フ官廳ノ豫算ニ付テ大ナル影響ヲ及ボスモノデナイト云フ商工大臣ニハ御考ヲ有シテオ出デニナルカ、之ヲ御尋ネ致シマス

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 今調ベテ居リマスカラ後デ御示シヲ致シマス
○藤原銀次郎君 先刻御配付ヲ戴キマシタ此材料ニ依リマスト云フト鉄鐵十五萬噸輸入防壓ニ伴フ失業救済ノ延人員ガ此處ニ記載シテアリマスガ、此十五萬噸ト云フノハ何處カラ出マシタ數字デゴザイマセウカ、是ハ印度鉄鐵ノ輸入數量ヲ十五萬噸ト假定

シテ出マシタ數字デアリマスガ、此方ニ大藏省主稅局カラノ參考資料トシテ頂戴イタシテ居リマスル輸入額表ト云フモノガゴザイマス、之ニ依リマスト云フト大正十三年カラズット記載シテゴザイマシテ、昭和六年……五年ノ如キハ六十七萬……是ハ千斤デアリマスカラ約之ヲ四割リマスト矢張り十五萬噸ニハナラナイヤウニ思ヒマスガ、此十五萬噸ト云フ數字ハ何處カラ出タモノデアリマスガ、ソレヲチョット承リタイ、ソレカラ序デニ皆申上ゲマス、ソレカラ先刻來段々ニ色々同僚各委員ノ方カラノ御質問應答ヲ拜聽イタシテ居リマスルト云フト原料費ガ、鉄鐵ノ原料費ト云フモノ十二圓ト致シマシテ其中鑛石代九圓六十錢トスル、斯ウ云フヤウナ御話デアリマシタ、是ハ段々考ヘテ見マスト云フト鑛石代ノ中ニハ人夫賃トカ、陸揚賃トカ其外工場内ノ運搬賃トカ、サウ云フヤウナモノハ皆勞力費ガ這入ッテ居ルコトト存ジマス、尙ホ其上ニ鑛石代ハ或ハ滿洲カラ持ッテ來ルトカ、或ハ南洋カラ持ッテ來ルトカ總テ皆運賃ガ掛テ居ル、運賃ヲ含シテ居ルモノデゴザイマス、若シ是ハ日本ノ船デ持ッテ參リマスレバ其運賃モ日本ノ勞働ノ需要ニナルノデアリマス、運賃即チ日本ノ船ノ勞働者ノ賃銀

其他ニナルノデアリマス、ソレカラシテ陸揚貨、工場内ノ運搬貨、斯ノ如キモノハ皆勞力ニナルノデアリマス、勞力ノ需要ニナルノデアリマス、ソレデアリマスカラ此四圓六十錢ヲ鑛石代トシテゴザイマスガ、此中大部分ハ勞力費ト見テ差支ナイト思ヒマス、ソコデ假ニ此計算ヲ極ク容易ニスル爲

ニ此二十八圓ノ中ノ九圓六十錢ガ鑛石代デアリマスカラ此中若干ノ工場内ノ運搬費ヲ引イテ約八圓ト云フモノヲ工場ノ鑛石代トシテ、是ハ日本ノ船デ持ッテ來ナイデ外國船デ持ッテ來ル、サウシテ外國ノ鑛石ヲ使フモノトシテ此八圓ダケハ日本ノ勞働者ノ賃銀ニ何等關係ナイ、日本ノ勞働力需要ニ何等ノ關係ナイモノト看做シテ差引二十圓ト云フモノガ是ガ總テ色ミナ形式ニ依リマスルガ、總テ此勞力費デアルト存ジマス、色ミ間接ニ使ハレテ居ルモノモアリマスシ、直接ニ使ハレテ居ルモノモアリマスシ、或ハ石炭代トシテ使ハレテ居ルモノモアリマスシ、或ハ汽車ノ運賃トシテ使ハレテ居ルモノモアルシ、或ハ知識階級ノ勞働者ノ給料、賞與其他ニ使ハレテ居ルモノモアリマセウシ、總テ兎ニ角此勞力ニ換算スルモノデアラウト存ジマスカラ、之ヲ同ジ二十圓ト假定イタシマスレバ十五萬噸ニ對シテ約六百

萬圓斯ウナル、サウスルト云フト之ヲ極ク大ザッパニ此處デ勘定ヲ明白ニスル爲ニ、簡單ニスル爲ニ一人一日一圓宛ノ勞力費ニ之ヲ換算スレバ六百萬ノ失業救済ニナルト云フヤウナ工合ニ簡單ニ見ラレル、ソコデ私共ハ始終斯ウ云フ風ニ換算シテ實際ニ當嵌メテ勘定シマスト云フト大差ナク實際ノ數字ニ是ガブツカルノデアリマス、ソレデアリマスカラ之ヲ先ヅ六百萬ノ失業救済ニナルト、斯ウ存ジマスガ、政府ノ御調ニ依リマスト云フト、之ヲ百五十萬圓ト御勘定

ニナッテ居リマスカラ、百五十萬人ト申シマスト丁度一人當リガ六百萬ノデナク三百萬人、即チ三百萬圓トナリマスカラ、二十圓デ十五萬噸デアリマスカラ、三百萬人ニナル、即チ三百萬圓ニナルカラ一日ノ給料ヲ一圓トシテ丁度三百萬人ト云フ勘定ニナル、ソレガ政府ノ御調ニ依ルト百五十萬人ト云フコトニナッテ居リマス、丁度一人當リガ二圓ノ勘定ニナッテ居リマスカラ、先ヅ百五十萬人以上三百萬人以内ノ失業救済ガ出來ルモノト、斯ウ看做ナシテ私ハ差支ナイモノデヤナイカト思ッテ居リマス、所デサウスルト此十五萬噸ニ對シテ斯ウ云フ譯ニナルノデアリマスガ、是ガコチラノ大藏省ノ御調査ニ依ルト云フト二十萬噸近クニナッ

テ居ルヤウニ存ジマスガ、其十五萬噸ト申シマスガ正シイノデアルカ、又ハ此二十萬噸ト云フノガ正シイノデアルカ、其邊モ承リタイ、又其百五十萬人以上三百萬人位ノ失業救済ニナルノデハナイカト私共ハ考ヘテ居リマスガ、其邊ニ付テ商工省ノ御考ヲ承ハッテ見タイト思ヒマス

○政府委員(北島謙次郎君)

御答ヘ申上ゲ

マス、只今此十五萬噸ノ計算ノ基礎ニ付テ御尋デゴザイマシタガ、此十五萬噸ハ印度カラ輸入セラレル鉄鐵ノ數量ヲ假ニ一番少イ昨年度ノ實蹟ニ依ッテ計算イタシマシタノデゴザイマス、之ヲ前三箇年位ノ平均ニ見マスレバ、二十四萬噸ニナルノデゴザイマスガ、マア一番低イ數字ヲ掲ゲテ十五萬噸ト斯ウ致シマシテ、假ニ茲ニ御目ニ掛ケタ次第デゴザイマス、ソレカラ其所要勞力ノ數字ハ御話ノ通り茲ニ掲ゲマシタノハ、比較的分イ易イ勞力ノ需要ノミヲ算出イタシマシタノデゴザイマシテ、是等ノ諸原料ノ途中ニ於ケル運送ニ要スル勞力、或ハ更ニ廻リマシテ、石炭ヲ掘ル際ニハ坑木モ要ル、鋼鐵ニ付テモ同ジデアリマスガ、坑木ノ伐採ニドウ云フ人間ガ何人カ要ルカ、或ハソレヲ運搬スルノニ何人ノ人間ガ要ルカ、サウ云フ風ニ此原料費ノ内譯ヲ勞力ニ要ス

ル部分ニ換算シテ參リマシタナラバ、只今御話ノヤウニ是ガ一日ニ一圓位ノ平均勞力ト致シマスレバ、矢張り三百萬ト云フヤウナコトニナルノデヤナイカト想像イタシテ居リマス、ソレカラ序デニチヨット申上ゲテ置キマスガ、御承知ノ通り此鉄鐵ヲ製造イタシマスレバ、之ニ伴ヒマシテ莫大ナル副產物ガ出テ參リマス、ソコデ此副產物モ御承知ノ通り化學工業及軍需品ノ工業ニ必要缺クベカラザルモノデゴザイマシテ、産業上、國防上、最も必要ナル幾多ノ原料ヲ此副產物ニ係ッテ產出スル譯デゴザイマスガ、假ニ此副產物工業ガズット最後迄行ハレル

モノト致シマスレバ、其勞力ノ需要ハ非常ニ莫大ナ數量ニ上ルト云フコトニ計算イタサレテ居リマス、或ハ染料會社ノ實蹟ニ依リマス、石炭千噸ヲ「ボイラー」ニ燃シテ仕舞ヘバ、一日三十人ノ人ヲ要スルノミダ、所ガソレヲ第一次ノ副產物ニ加工イタシマスレバ六百人ノ勞働者ヲ養フニ足ル、ソレカラ更ニソレヲ最後ノ副產物、所謂完全ナル染料トシテ精製品ニマデ加工イタシマスレバ、千四百人ノ人ヲ養ヒ得ル、斯ウ云フヤウナ數字ニナッテ居リマシテ、要スルニ其直接間接ノ諸般ノ材料ヲ合セマスレバ、莫大ナル失業救済ニナルト私共ハ考ヘテ居リ

マス

○森平兵衛君 チョット只今副産物ニ付テ

御説明ガアリマシタガ、序デニ御尋ヲ致シ
タイト思ヒマスガ、副産物ハ何ミデアリマ
スカ、製鐵一噸ニ付テドレダケガ出來ルカ、
又價格ガ凡ソドレ位デ賣レルモノカト云フ
コトヲ、序デニ御伺ヒ致シタイト思ヒマス
○政府委員(北島謙次郎君) 此問題ハ大分
技術的ノ問題ニ互リマスノデ、丁度製鐵所
ノ技術官ガ御見エニナッテ居リマスカラ、其
方カラ申上ゲマス

○國務大臣(男爵中島久萬吉君) 森君ノ先

程ノ御尋デゴザイマシタガ、今回ノ關稅引
上ニ依リマシテ官廳ノ豫算ニドウ云フ影響
ガアルカ、ソレニ付テノ私ノ考ハドウカト
云フ御尋デアリマスガ、幸ニ茲ニ數字ガゴ
ザイマスノデ、ソレヲ申上ゲマシテ、其影
響ノ點ヲ御了承ヲ戴キタイト思ヒマス、此
度ノ鐵鐵關稅引上ニ依リマスル此官廳用鋼
材及ビ鐵鐵ノ值上リ額ヲ申上ゲマスルト、
今回ノ引上ゲニ依リマシテ、鋼材ニ依ル官
廳用ノ值上リ額ハ八十万圓ト我々ハ見テ居
リマス、ト申シマスハ此昭和三、四、五年
ノ平均ニ依リマシテ、内地生産ノ鋼材ノ中
デ官廳へ販賣イタシタモノガ三十七万四千
六百十四噸デゴザイマス、先刻ノ見方ガ違

フト云フ點ガ茲ニアルノデアリマスガ、今
回ノ關稅引上ゲニ依リマシテ鋼材ニ付テノ
噸當リ值上リヲ我々共ハ先ヅ二圓十四錢程
度ト心得テ居ルノデアリマス、即チ是ハ約
八十万圓ノ值上リト相成ル譯デアリマス、
ソレカラ鐵鐵ノ關係ニ於テハ一箇年ノ官廳
竝ニ公共團體ノ使用量ガ約十五萬噸ト見マ
シテ、今回ノ關稅引上ゲニ依リマス噸當リ
ノ值上リガ、我々共ハ之ヲ二圓ト見テ居リ
マスガ、其值上リ總額ガ三十萬圓、斯ウ云
フ風ニ睨ンデ居ル譯デアリマス、斯様ナ數
字デゴザイマスノデ大シタ影響ハナイト存
ズルノデアリマス

○森平兵衛君

只今ノ商工大臣ノ御答辯ハ
要スルニ官廳用ダケデアリマスガ、或ハ府
縣市町村ト云フヤウナ地方ノ公共團體ヲモ
含メテデゴザイマスガ、是ハ國ノ御管理ニナッ
テ居ル所ダケト解釋シテ宜シイノデスカ、
○政府委員(福田庸雄君) チョット私カ
ラ……公共團體モ含メテ……大體從來ノ實
績カラ推算イタシマシタ數字デゴザイマス
○男爵斯波忠三郎君 公共團體ヲ含ムノデ
スカ
○政府委員(福田庸雄君) 公共團體ヲ含メ
テ……

○男爵斯波忠三郎君 公共團體ヲ含メ

テ……サッキノ「スチール」ノ八十万圓ト云
フノハ、含メテノ話デスカ

○政府委員(福田庸雄君) 御答ヲ申上ゲマ

ス、大體此數字ハ製鐵所ノ販賣先、其他カ
ラ推定ヲ致シタ數字デゴザイマスガ、民間以
外ノ販賣數量ヲ抑ヘタノデアリマス、自然
官廳ノミナラズ公共團體モ入ッテ居ルノデ
ヤナイカト推測イタシテ居リマス

○森平兵衛君

ソレデハ商工當局ニ御尋ヲ
致シマスノハ數字ダケデアリマス、前刻印
度鉄輸入値段調ト云フモノヲ戴イテ居リマ
スルガ、是ハ爲替ノ相場ガアッテ昨年ノ何
デアリマスガ、本年ノ何カ、年號ガ書イテ
ナイノデアリマスルガ、ドウ云フコトニ承
知シテ宜シイノデアリマスルカ、又其御答
ノ時分ニ本年ノ一、二、三ノ對米、是ハ對
米ノ爲替ノ率ガ書イテナイノデアリマス
ガ、對米、對印ノ爲替ノ率ノ平均價額デ結構
デスカ、ドウゾ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス
○政府委員(福田庸雄君) 御答ヘ申上ゲマ
ス、只今御手許ニ差上ゲテアリマス此「ル
ビー」ノ相場ハ、先程チョット御説明申上ゲマ
シタ通り、此百二十「ルビー」ト云フノハ、
大體今年ノ一月カラ三月マデノ平均ニ近イ
爲替相場デゴザイマス、ソレカラ最近ノ此
「ルビー」ノ相場ハ百十五六「ルビー」ニナッ

テ居リマス、再禁止直前ニ於キマシテノ極
端ナ例ヲ茲ニチョット御示シヲ致シマシタモ
ノデゴザイマシテ、是ハ御承知ノ通りテゴ
ザイマス、百九十「ルビー」ニナッテ居リマ
ス

○森平兵衛君 對米ハ……

○政府委員(福田庸雄君) 對米爲替相場デ

申シマス、是ハ又英米ノ關係ガゴザイマ
スガ、御承知ノ通り、先ヅ三十三弗位ノモ
ノガ百二十「ルビー」位ト承知イタシテ居リ
マス

(子爵井上匡四郎君 發言ノ許可ヲ求
ム)

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) チョット申上

ゲマス、副産物ノ説明ヲ……

○説明員(野田鶴雄君) 製鉄事業ニ依リマ
シテ、石炭ヲ使用シマス其石炭カラ取レマ
ス副産物ノ種類及ビ量ニ付テ大體申上ゲマ
ス、出マス數量ガ、或モノハ非常ニ少量デ
ゴザイマスカラシテ、鉄鐵百萬噸ヲ造リマ
ス爲ニ出來マス副産物ガ、色々石炭ノ種類
其他ニ依ッテ違ヒマスガ、大體ノ數字デ申
上ゲマス、鉄鐵百萬噸作リマス爲ニ「ベンゾ
ール」ガ九千噸「ベンゾール」ノ説明マデ申
上ゲルコトハ少シ行キ過ギマスデゴザイマ
スガ御存ジノナイ方ノ爲ニ附加ヘマス、「ベ

ンゾール」ハ主ニ染料、ソレカラ自動車、飛行機ノ燃料「ガソリン」ノ代リニナリマシテ「ガソリン」ヨリモ約二割位強イノデアリマス、我ガ陸海軍ノ飛行機ノ燃料ハ「ガソリン」バカリデナク必ズ此「モーターベジゾール」ト申シマスモノヲ附加ヘテ居リマス、尙ホ「モーターベジゾール」ダケデ自動車ヲ動かシテ居リマスノハ、四國ノ高知縣、極ク山岳ノ多イ地方デゴザイマシテ「モーターベジゾール」デナイト自動車ガ動カスト運轉手ガ申シテ居ル位利用サレテ居リマス、次ハ「トルオール」是ハ二千七百噸、「トルオール」ト申シマスノハ一番利用サレマスノハ、火藥ノ原料デアリマス、歐羅巴大戰中「テイ・エヌテイ」ト申シマス火藥爆藥ヲ彈丸ノ中ニ入レテ使ヒマシテ、殆ド英吉利ハ其火藥バカリデ戰サヲシタ、ソレハ此「トルオール」ヲ硝酸化イタシマシテ「アンモニウム」ノ硝酸化シタモノヲ混ゼテ使ッタノデアリマス、ソレガ「テイ・エヌテイ」ト申シマスノハ「トリニトロトルオール」ト云フ「トルオール」一番上ノ「テイ」ヲ取ッタノデアリマス、其次ガ「キシロール」六百噸、是ハ色色ナモノヲ溶カシタリ塗料ナドニ使ヒマス、其次ハ「ソルベントナクサ」二千噸、是ハ人造樹脂其他溶劑塗料ナドニ使ヒマス、	「クレオソート」、二万噸、是ハ木材ノ防腐ニ使ヒマシテ、八幡ノ製鐵所デハ内地ノ需要以上ヲ充テシテ居リマス、マダ日本デ木材ヲ全部防腐劑ヲ用キテヤル程ニ行ッテ居ナイモノト見ユマシテ、是ハ亞米利加ニモ輸出シテ居マス、其次ハ「ビツチ」、矢張り「デルタービツチ」ト申シマス、アノリ黒イ塊リデアリマス、是ガ四万噸、是ハ各種ノ塗料、ソレカラ近頃東京デモ大分使ハレテ居リマスガ、「ビツチ」デ石ノ壞シタノヲ固メマシテ、道路ノ舗裝ニ使ッテ居リマス、尙ホ此「ビツチ」ヲモウ一遍乾溜イタシマシテ「ビツチコークス」ト云フモノヲ造ッテ居リマス、是ハ養蠶ナドノ煖房ナドニ使ヒマス、或ハ病院等ノ煖房ナドニ用キラレテ居リマス、近頃百貨店アタリデ灰ノナイ炭、無灰炭トシテ賣ラレテ居リマス、其次ハ「ナフタリン」、是ハ御存ジノ如ク防蟲劑、香料等デアリマス、ソレガ四千五百噸、ソレカラ石炭酸、是ガ三百噸是ハ無論防腐劑デゴザイマスシ、近頃ノ「ベークライト」ノ原料ニナリマス、火藥ノ原料ニナリマス、「ピクリン酸」ハ石炭酸ヲ硝酸化シタモノデゴザイマス、藥品ニモナリマスシ、火藥品ニモナリマス、其次ハ「アンスラシン」ガ六百噸、是ハ染料デ「アリザ	リン」種ノ染料ノ原料デゴザイマス、不幸ニシテマダ日本ノ染料工業ガ「アリザリン」ヲ全部消化スルマデニ行ッテ居リマセヌノデ、八幡ノ製鐵所デハ大部分ガ貯藏サレテアル恰好デアリマス、但シ是ハマダ日本デ、今度ノ稅制ノ中ニモ出テ居リマスガ「カーボンプラック」ト申シマスガ、ソレノ原料ニモナリ、尙ホ飛行機ノ襲來ニ對シマスル防禦トシテ、工場ナドヲ全部隠シテ空カラ見えナイヤウニシマスノニハ是ガ非常ニ有効ダト云フコトヲ、昨年ノ八月ノ防空演習デ驗シマシテ、非常ナサウ云フ方ニハ貴重品ト我ミハ考ヘテ居リマス、ソレカラ最後ニ、取レマス順序ハ一番先ニ取レルノデアリマスガ、硫酸「アンモニウム」、是ガ一万六千噸バカリ取レマス、各價格ハ非常ニ變動ガゴザイマシテ……チョット申上ゲルノヲ忘レマシタガ、ソレカラ銑鐵ヲ……是ハ石炭カラノ副產物デゴザイマス、銑鐵ヲ造リマス爲ニ「スラッグ」ガ出マス、「スラッグ」、日本語デ「ノロ」ト申シマスガ、金屎ト云フヤウナ言葉モ使ッテ居リマスガ、「スラッグ」デアリマスガ、之ニハ鐵分ガ全然這入ラナイ「アルミナ」及「ライム」、「シリカ」、サウ云フモノノ塊ヲ火山カラ出マス何ント申シマスカ、「ラバ」見タイナモノデゴザイマス、此「スラ	グ」カラ「セメント」ガ出來マス、八幡ノ製鐵所デハ年五十萬樽ヅ、「セメント」ヲソレカラ造ッテ居リマス、燒カズニ白煉瓦ガ出來マス、此「スラッグ」ヲ……マダ熔ケテ居リマス「スラッグ」ヲ水中ニ落シマシテ、ザクザクノ砂見タイナモノニシテ、ソレニ約一割ノ燒イタ石灰ヲ加ヘマシテ固メマスト、其儘デ白煉瓦ト同様サモノニナリマス、北九州地方製鐵所ノ事務所、其他アスコノ邊デ白イ煉瓦ノ家ガアリマスノハ、總テ此製鐵ノ「スラッグ」煉瓦デゴザイマス、其外ニ鐵道ノ「スリーパー」ノ下ニ敷キマス「バラス」等モ此「スラッグ」カラ出來ル、ソレ等ヲ極ク大雜把ニ勘定イタシマシテ、銑鐵百萬噸ニ付テ先ヅ五百萬圓位ノモノガ取レルト思ッテ居リマス、相場ハ其時ニ依ッテ非常ニ變動ガゴザイマスルカラシテ違ヒマスガ、製鐵所ノ副產物トシテ約五百萬カラ六百萬圓位ヲ何時デモ取ッテ居リマス、ソレハ單ニ出來マシタ「スラッグ」ハ例ヘバ「セメント」ニシマストカ、硫酸「アンモニウム」ニシマストカ云フヤウナ費用ハ無論其中カラ引カナケレバナリマセヌ、ソレガ約極ク大雜把ニ申上ゲテ百五十萬圓位引キマス、假リニ六百萬圓取レルトシマスト四百五十萬圓ノ利益ガアリマスト云フコトデ、ソレヲ大體生産費
--	---	--	--

ナドハ「コークス」代カラ差引キマス、鉄鐵
代カラ差引イテ勘定イタシマス

○男爵斯波忠三郎君 チョット今ノニ附加

ヘテ御尋ネシタイノデスガ、只今技監ノ御
話デスガ、今ノ御話ハ何デスカ、百万噸
「ビッグ」ヲ造レバソレダケノモノガ出ル筈
ト云フコトデゴザイマス

○政府委員(福田庸雄君) サウデアリマ
ス、實際製鐵所ノ方カラ百万噸割出シタモ
ノデアリマス

○男爵斯波忠三郎君 製鐵所ノ實際ノ產出
額ハドノ位アリマスカ、是ハチョット今數字
ヲ御讀上ゲ下サルヨリハ後デ表カ何カニデ
モシテ戴キタイノデアリマス、モウ一ツ御
願シタイノハ製鐵所以外ノ鉄鐵工場デス
ネ、ソコデハドノ程度マデヤッテ居リマス
カ、其點ヲチョット序ニ一ツ……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 井上君質問ハ
長ウゴザイマスカ

○子爵井上匡四郎君 明日商工省ノ質問ヲ
續ケラレマスカ、明日ニ願ヒマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 簡單ナラ今宜
シウゴザイマス

○子爵井上匡四郎君 私ハ出來レバ明日ニ
願ヒタイ

○森平兵衛君 私簡單ナ問題デアリマスカ

ラチョット……

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハドウ

ゾ……

○森平兵衛君 先刻商工省ノ方ノ御話ヲ聞
キマス、鞍山站ノ方デハ鉄鐵ノ生産費ガ
約二十四圓餘リト云フヤウニ承ツタノデア
リマス、サウシマスルト政府ガ茲ニ御提案
ニナリマシタ三十五圓六十五錢ト云フモノ
ハ是ハ内地ノ分デアラウト思ヒマス、内地
ノ鉄鐵ノ生産費ハ鞍山站ノ滿洲ノ生産費ト
約ソコニ十圓バカリノ差ヲ生ズルノデアリ
マスガ、是ハ主トシテ生産費ガ高イ爲ニ十
圓ノ差ヲ生ズルモノデアリマセウカ、チョッ
ト數字ノコトデアリマスカ、政府委員カラ
宜シウゴザイマス

○政府委員(北島謙次郎君) 先程鞍山站ノ
鉄鐵ノ生産費ヲ申上ゲマシタガ、鞍山ニ於
ケル地元ノ生産費ハ二十四圓三十二錢デア
リマスガ、阪神ニ持ッテ參リマス、運賃保
險料輸出税、彼是十圓七十錢バカリアリマ
シテ、結局三十五圓五十七錢一厘ト云フコ
トニナリマス、内地ノ方ハ三十五圓六十五
錢デアリマス、其間ハ殆ド僅カノ差デアリ
マス

○森平兵衛君 ソレハ内地ヘ持ッテ來ル運賃
諸掛リヲ入レル爲ニサウ云フコトニナリマ

スカ、鞍山站ノ場所デアレバ二十四圓三十
二錢、此政府カラノ御提案ノ三十四圓六十
五錢ハ是ハ内地ノ生産費デアリマスカ、ソ
コニ十圓ノ差ガ出來マスカ、是ハ運賃バカ
リデハナイヤウニ思ヒマスガ、是ハ拓務省ノ
關係デナク商工省ノ關係デアリマスカ、商
工省カラ一ツ御答辯ヲ願ヒタイ

○政府委員(福田庸雄君) 只今御手許ニ差
上ゲデアリマス、此生産費ニ依リマシテ御
覽ニナリマス通り、原料費トソレカラ其他
製造費間接費ヲ入レマシタ工場ニ於ケル所
謂生産費ニ償却費ヲ加ヘタモノハ二十九圓
五十錢ニ付イテ居リマス、ソレニ該當スル
部分ガ先程拓務當局カラ御説明ニナリマシ
タ二十四圓三十二錢デ鞍山ニ於ケル二十四
圓三十二錢ト云フ數字ニ該當スル所デアリ
マシテ、結局之ヲ比較イタシマスレバ、約
五圓ホドノ相違ガ出來テ居ル、斯ウ云フ風
ニ御了解願ヒマス

○森平兵衛君 モウ一點數字ノ問題デアリ
マスガ、鉄竝ニ鋼材ノ關稅ヲ御引上ニナリ
マシテ、之ヲ原料トスル機械其他ノ鐵製品
ノ關稅ヲ其儘ニシテアルヤウニ思ハレマス
ルガ、是ハドウ云フ見解カラサウ云フコト
ニナッテ居リマスカ、或ハ又私ノ誤リカモ分
リマセヌ、チョット御尋ネ致シマス……私ノ

言フコトガ分ッテ居リマスカ、分リマセナン
ガラモウ一應申上ゲマス、私ハネ、鉄鐵ニ
今度ハ二十六割カ幾ラカ、ソレカラ鋼材
ニハ三割五分ト云フ値上リヲ爲サツタノデア
リマスルガ、ソレヲ原料トスル機械、或ハ
其他ノ鐵製品ノ輸入ニ對スル關稅ノ改正ガ
ナイヤウニ思ハレマスルガ、ソレハドウ云
フモノカ、斯ウ云フコトヲ御尋シタノデア
リマス、委員長ノ御都合デ明日デ結構デス
○男爵斯波忠三郎君 今日ハ續ケテ御ヤリ
ニナリマスカ、若シ御續ケニナリマスカナラ
バ私ハ質問ガアリマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) チョット御待
チ下サイ、今日ハモウ此質問デ終リタイト
思ヒマス

○政府委員(竹内可吉君) 御答ヘ申上ゲマ
ス、鐵竝ニ鋼材材料ト致シマス品物ハ御承
知ノ通り、御質問ノ如ク非常ニ多數ニ及ン
デ居リマス、其今回引上ニナリマスル部分
ハ是等ノ機械又ハ鐵製品ニ加算イタシマシ
テ、是等ノ關稅ヲ引上ゲ致シマスルノガ是
ガ普通デゴザイマス、ソレデ今回ハソレ等
ノ計算ヤッテ見タノデゴザイマス、所ガ一
方他ノ法案トシテ提出サレテ居リマスル從
量稅ノ稅率ニ關スル法律案ノ中デ、從量稅ニ
關シマスルモノハ現在ノ稅率ノ三割五分ガ

一律ニ引上ニナルノデアリマス、從ヒマシテ
其方ヘスツカリ吸收サレルノデアリマス、其
外ニ更ニ定率法ヲ改正スル實際上ノ必要ガ
ナイト考ヘタノデゴザイマス、尙ホ從量稅
デアリマセヌモノニ付キマシテハ若干此從
價稅ノモノガアルノデアリマスルガ、ソレ等
ノモノハ多ク二割若クハ三割ト云フ比較
高イ稅率デアリマシテ、其品物デ鐵ノ影響
ヲ受ケマスルモノハ極メテ微弱ナモノデア
リマスルガ爲ニ、特ニ是ハ改正シナカッタノ
デゴザイマス、別段ニ影響ハナイモノト考
ヘテ居リマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 今日ハ此程度
ニ止メテ置キマシテ散會イタシマス、明日
午前十時カラ開會イタシマス、ドウゾ御出
席ヲ願ヒマス

午後四時十四分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵兒玉 秀雄君
副委員長 男爵斯波忠三郎君
委員

公爵一條 實孝君
侯爵德川 義親君
子爵井上匡四郎君
子爵片桐 貞央君
森 賢吾君

男爵赤松 範一君

內藤 久寬君

稻畑勝太郎君

森 平兵衛君

藤原銀次郎君

菅澤 重雄君

北村宗四郎君

國務大臣

商工大臣 男爵中島久萬吉君

政府委員

法制局長官 堀切善次郎君

大藏政務次官 堀切善兵衛君

大藏參與官 上塚 司君

大藏省主稅局長 中島 鐵平君

農林參與官 松村 謙三君

農林省農務局長 小平 權一君

農林省山林局長 長瀬 貞一君

農林省水產局長 戶田 保忠君

農林省畜產局長 村上龍太郎君

農林書記官 田淵 敬治君

同 井野 碩哉君

商工政務次官 岩切 重雄君

商工參與官 松村 光三君

商工省工務局長 竹內 可吉君

商工省鑛山局長 福田 庸雄君

商工省貿易局長 寺尾 進君

商工書記官 北村保太郎君

拓務政務次官 堤 康次郎君

拓務省殖產局長 北島謙次郎君

拓務省拓務局長 郡山 智君

拓務書記官 杉田 芳郎君

朝鮮總督府政務總監 今井田清德君

關東廳財務部長 西山 左內君

樺太廳長官 岸本 正雄君

說明員

製鐵所技監 野田 鶴雄君